

ギニア国
コナクリ市小学校建設計画フォローアップ協力
調査報告書

2016年4月

独立行政法人
国際協力機構（JICA）

八千代エンジニアリング株式会社

資金
JR
16-015

序 文

独立行政法人国際協力機構は、ギニア共和国コナクリ市小学校建設計画にかかるフォローアップ調査を実施することを決定し、同調査を八千代エンジニアリング株式会社に委託しました。

調査団は、2014年6月から7月及び2016年1月から2月までギニアの政府関係者と協議を行うとともに、計画対象校における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本フォローアップ協力の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

2016年4月

独立行政法人国際協力機構
資金協力業務部
部長 佐々木 隆宏

要 約

要 約

① 国及びコナクリ市の概要

ギニア共和国（以下、ギニア国）は、西アフリカ西部に位置し、面積は 245,857 m²である。人口は、1,170 万人（2013 年 UNFPA）であり、人間開発指数（HDI）は 0.411（182 位）（UNDP、2015 年）と低く、一人当たり GNI も \$1,096（同、2011 PPP）と貧困度が高い。

2008 年 12 月コンテ大統領死去直後、カマラ大尉を中心とする「民主主義と発展のための国民評議会（CNDD）」がクーデターにより政権を掌握し、暫定軍事政権が発足し、混乱が続いた。2010 年 1 月、暫定国家統一政府が発足し、12 月にアルファ・コンデ大統領が就任した。2013 年 9 月に国民議会選挙が行われ、民主化プロセス移行期間が終了した。2015 年の選挙でアルファ・コンデ大統領が再選された。

2014 年 3 月にギニアで確認されたエボラ出血熱の流行は、その後、隣国のリベリア及びシエラレオネに急速に拡大し、WHO は、2014 年 8 月 8 日、西アフリカにおけるエボラ出血熱の流行が「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態（PHEIC）」であることを宣言した。ギニアでは、累計で 3,804 人が感染（疑い例を含む）、うち 2,536 人が死亡した。2015 年 12 月 29 日になり、WHO は、同国における流行終息宣言を発表した。

本調査も、このため 1 年以上の中断期間があり、2016 年 1 月再開した。ギニアは 90 日間の監視強化期間に入っていたが、2016 年 3 月 17 日、同国においてエボラ出血熱が再発生した。しかし、現在、症例数は激減し、国際的に感染が広がる可能性はほとんどなく、流行初期からのオリジナルの感染経路は、蔓延三カ国において既に断ち切れ、症例のような再発に対し迅速かつ効果的な対処能力を有し、接触者へのワクチン投与といった強力な封じ込め策も実施できている。

首都コナクリ市は、大西洋に突き出た半島にある。熱帯モンスーン気候で、雨季と乾季があり、5 月から 11 月が雨季であり、特に 7 月から 8 月の降雨量が多い（年間降水量は約 3,800 mm に達し、6 月から 10 月に集中する）。

② プロジェクトの背景、経緯及び概要

ギニア国では、中長期国家開発計画「ギニアビジョン 2010」（1996 年－2010 年）において教育セクターを最優先分野に位置づけて取り組んだ結果、初等教育総就学率が 1990 年の 32% から 1999 年の 61% に大幅に改善された。他方で、急激な就学率上昇と高い人口増加率（年平均 2.3%、1999 年、世銀）は、教室不足を深刻化させ、就学環境の悪化をもたらした。かかる状況の下、ギニア政府は、1 教室あたりの児童数の特に多い首都コナクリ市における小学校建設を日本政府に対して要請し、無償資金協力「コナクリ市小学校建設計画」（2002-2003 年）が実施された。無償資金協力「コナクリ市小学校建設計画」（1/2 期）（以下、「当初計画」という）としてコナクリ市内 11 校を対象に、111 教室等の建設、教室家具の整備が行われた（2004 年 3 月竣工）。

しかしながら、当初計画対象校の多くで雨漏りが生じ、漏水が激しい一部の学校では雨季における教室使用が不可能になっている。コナクリ市内の小学校の1教室当たり児童数は、標準45名を上回る82.6名(2011年)であるが、雨漏りにより当初計画による学習環境の向上とコナクリ市教室不足緩和が阻害されかねない状況にある。ギニア初等中等教育・識字省(以下、「教育省」という)は、学校施設の維持管理に努めているものの、維持管理・施設補修に係る活動が多く求められる中、予算制約により優先順位を付さざるを得ない状況にある。

かかる状況から、ギニア教育省は独立行政法人国際協力機構(JICA)に対し、当初計画対象校の屋根補修に関するフォローアップ協力を要請した。

③ 調査結果の概要とプロジェクトの内容

フォローアップ協力調査 (2014年7月)

現状から、屋根の部分補修程度では恒久的な雨漏り対策とならず、全面的な屋根の葺き替えが必要と判断された。補修で用いるアルミ亜鉛メッキ鋼板は、ギニア国内の学校を含む公共建築や一般建築で普及している。アルミ亜鉛メッキ鋼板は、耐久性があることに加え、軽量であるので現状の屋根フレームをそのまま利用することができる。屋根フレームは、鉄骨トラスの上にスチールの母屋を流し、長尺屋根材を母屋に固定している。スチール母屋材は、屋根の葺き替え時でなければ母屋材接触部分の塗装が行なえない。また、部材の肉厚が薄いので、耐久性の点からスチール母屋材の再塗装を行なうことが妥当である。トイレのスチール母屋材が破損し逸失している学校は、補完を行なう必要がある。トイレの鉄骨トラスの再塗装は必要ないものと判断された。

屋根補修工事内容・範囲、学校別優先順位、予算を検討した結果、調査対象全11校で上記の全内容が実施されることとなった。

改修工事概略数量 (11校)

No.	学校名	教室・校長室棟 屋根面積 (m ²)	トイレ 屋根面積 (m ²)
D1	Dixinn Centre 1	441	67
D7	Belle-Vue Marché	339	57
MM5	Carrière Centre	236	45
MM14	Carrière Cité 1	441	57
M2	Simbaya 1	564	57
M5	Dabompa	441	57
M7	Gbessia Cité 2	339	57
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	796	125
R2	Dar-es-salam	339	45
R3	Kaporo	339	45
R7	Sonfonia Gare	898	104
	合計	5,173	716

フォローアップ協力調査 追加調査 (2016年1月)

しかし、2016年1月の追加調査で、Dar-es-sulam (R2)校において教室棟及びトイレ棟の屋根の葺替えがギニア教育省により行われたことが確認されたことから、Dar-es-sulam (R2)校を計画対象校から除き、対象は以下の10校となった。

改修工事概略数量 (10校)

No.	学校名	教室・校長室棟 屋根面積 (㎡)	トイレ 屋根面積 (㎡)
D1	Dixinn Centre 1	441	67
D7	Belle-Vue Marché	339	57
MM5	Carrière Centre	236	45
MM14	Carrière Cité 1	441	57
M2	Simbaya 1	564	57
M5	Dabompa	441	57
M7	Gbessia Cité 2	339	57
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	796	125
R3	Kaporo	339	45
R7	Sonfonia Gare	898	104
	合計	4,834	671

また、本フォローアップ協力では、施工監理を行うコンサルタントが施設維持管理に係る技術指導を行う計画とする。

④ プロジェクトの工期及び概略事業費

フォローアップ協力調査 (2014年7月)

現地施工業者との契約後、工事開始までに、前払保証及び履行保証の取得、前払金の入金、屋根材調達、仮囲い、足場搬入が必要であり、それらに約1ヵ月を要する。

1校あたり、足場組立、既存屋根材撤去・処分、母屋材の既存屋根取付ボルト切断、母屋材錆び落とし・再塗装、アルミ亜鉛合金メッキ鋼板葺きに約15日間をそれぞれ要する。最終検査後、足場撤去、清掃がある。同時に3チームが施工する場合、1チームあたりの担当棟数が4から5棟となり、施工に計2.5ヵ月を要する。

完成検査は学校毎に実施すると想定し、全体工期は約3.5ヵ月である。母屋材錆び落とし・再塗装を省略した場合は、約1ヵ月短縮可能である。

屋根補修工事の概略数量・概算は以下のとおりと計算された。

工事費概算（11校）

	教室・校長室屋根	便所屋根	合計（百万円）
11校（母屋材再塗装）	51.2	7.2	58.4
11校（母屋材再塗装なし）	46.5	6.5	53.0

- ・ 積算時点： 2014年7月
- ・ 為替交換レート： 1ユーロ=141.57円（2014年4月～6月平均）
- ・ 施工期間： 2014年12月～2015年3月を想定
- ・ その他： 乾季の施工、工事期間中全階立ち入り禁止、仮設足場設置等の条件で積算した。

・ フォローアップ協力調査 追加調査（2016年1月）

1社2グループ同時作業が無難であると思われるが、1社3グループまで形成可能と考え、2ロット、合計6グループまで同時進行可能とし、工事期間を約3ヵ月とした。うち、工事準備期間は前調査と同様1ヵ月である。

全10校のアスファルト含浸繊維版屋根の教室・校長室・トイレをアルミ亜鉛合金メッキ鋼板に葺き替えるため、母屋材の再塗装を含め60.6百万円、母屋材再塗装無で55.0百万円を要する。

長期的メリットを考え、母屋材の再塗装を含めた実施とする。

工事費概算（百万円）（10校）

	教室・校長室屋根	便所屋根	合計（百万円）
10校（母屋材再塗装）	53.2	7.4	60.6
10校（母屋材再塗装なし）	48.3	6.7	55.0

- ・ 積算時点： 2015年12月
- ・ 為替交換レート： 1ユーロ=135.36円（2015年9月～11月平均）
- ・ 物価変動： IMFのインフレ率より、業者契約を2016年3月末として、当初積算時点（2014年7月）から、15.9%の上昇
- ・ 施工期間： 2016年4月～2016年6月を想定
- ・ その他： 乾季の施工、工事期間中全階立ち入り禁止、仮設足場設置等の条件で積算した。

⑤ プロジェクトの評価

(1) フォローアップ協力の前提条件

本プロジェクトを実施するために前提となる条件は以下のとおりである。

- ・ 政情不安・暴動等が起こらない。
- ・ 大規模な自然災害が起こらない。
- ・ エボラ出血熱等、健康・衛生に重大な影響を及ぼす事態がない。

(2) ギニア国側への提言・施設の維持管理方法についての提言

本プロジェクトを実施するために必要なギニア国側への提言は以下のとおりである。

- ・ 対象校・対象校舎が工業者に引き渡され、児童の移動、安全指導がなされる。
- ・ 対象校内の工事用アクセスが確保される。
- ・ 免税措置が取られる。
- ・ 対象校屋根に設置されているソーラーパネルなどが工事開始前に撤去される。

日常的施設維持管理に関し、破損したモルタル、建具、家具等の補修、再塗装を行い、日常清掃を行なう。また、トイレの維持管理を行う。

(3) フォローアップ協力の評価

以下のとおり、当初計画対象校において生じている雨漏りを補修することは、緊急性が高く、フォローアップ協力事業として妥当であると判断される。

- ・ コナクリ市では、不具合のある教室をすべて使用しても、教室数が不足しており、不具合である雨漏りを解消すると、教育環境改善に大きく貢献し、児童の学習意欲が向上する。
- ・ 直接の裨益対象は、10校、12棟、最上階43教室、2校長室の児童数約2,060人、教員45人である。さらに下層階の教室も上階からの雨漏りを避けることができる。
- ・ トイレの補修・再使用により、衛生環境が改善され、さらに男女別トイレの使用により女子児童の通学意欲が改善される。

目 次

序文

要約

目次

協力対象地域位置図

対象施設の状況写真

略語集

第1章 フォローアップ調査の概要

1-1 調査の背景及び目的 1

第2章 調査結果（現地調査： 2014年7月）

2-1 基本情報の確認 3

2-1-1 コナクリ市の教育分野の政策および教育施設 3

2-1-2 運営体制、施設維持管理体制および活動実績・計画 6

2-1-3 他ドナーの支援状況 8

2-2 調査対象施設の現状及び対応策 8

2-2-1 調査対象施設の現状 8

2-2-2 補修（もしくは改修）の妥当性の検討 9

2-2-3 対応策の検討 9

2-2-4 フォローアップ協力案 9

2-3 施工計画／調達計画の検討 10

2-3-1 施工方針／調達方針 10

2-3-2 施工・調達上の留意事項 10

2-3-3 建設関連基準の確認 11

2-3-4 ギニア国における公共事業の入札方法と手続 11

2-3-5 現地施工業者選定手続・入札手続 11

2-3-6 実施体制案 12

2-3-7 施設改修工程 13

2-3-8 施設維持管理技術指導 13

2-4 フォローアップ協力の概算事業費 16

第3章 追加調査結果（現地調査： 2016年1月）

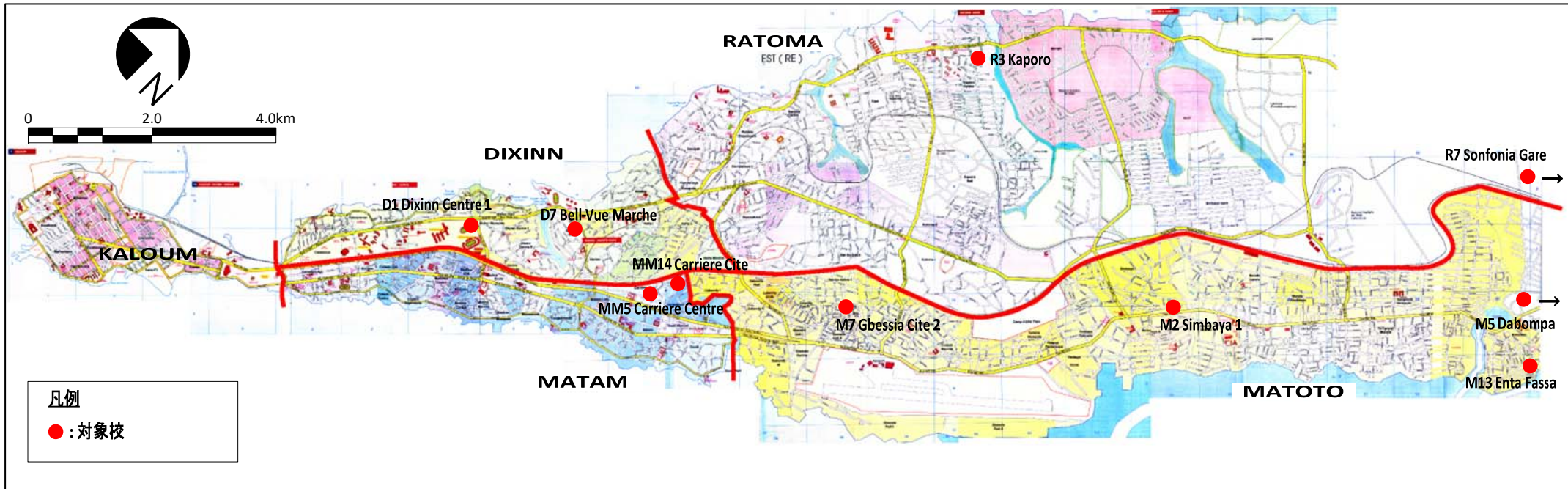
3-1 追加調査の背景	17
3-2 フォローアップ協力案の変更点	17
3-3 免税手続	18
3-4 フォローアップ協力の概算事業費	19

第4章 評価及びギニア国側への提言

4-1 フォローアップ協力の前提条件	20
4-2 ギニア国側への提言・施設の維持管理方法についての提言	20
4-3 フォローアップ協力の評価	20

別添資料

1. 調査団員の構成
2. 現地調査日程表
3. 相手国関係者リスト
4. 討議議事録（M/D）（仏語）
討議議事録（M/D）（和訳）
テクニカルノート（仏語）
テクニカルノート（和訳）
S/W（仏語）
S/W（和訳）
ギニア初等中等教育・識字省書簡(2016年2月)
5. 対象校の現況
6. 施設改修図面（案）
7. 対象校児童数（アンケート調査結果）



对象校位置图

ギニア国コナクリ市小学校建設計画フォローアップ協力
対象 10 校の現況 (2014 年 7 月)

D1 Dixinn Centre 1

概要： 屋根の劣化、雨漏りが激しく、上階教室は使用できない。軒先の劣化もひどい。穴空き各所あり。棟包みが全体的に垂れ下がっている。

生徒数 2728 人、2 部制でクラス数 32、1 クラス当たり生徒数は 85.3 人にもなる。教員数 48 人。



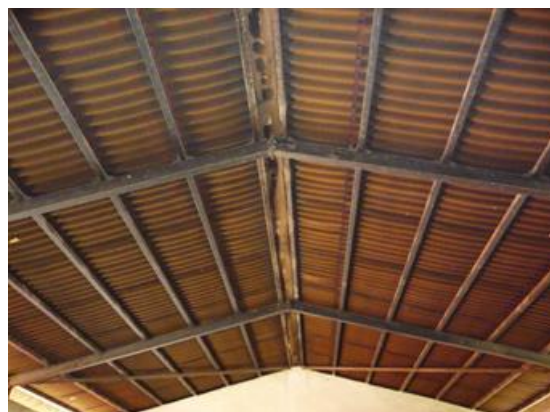
屋根材の劣化状況



廊下部分



教室内部 床



教室内部 屋根



教室内部 屋根



トイレの屋根

D7 Belle-Vue Marché

概要： 屋根が棟に達しているため、棟包みの損傷は少ない。補修箇所がある。

生徒数 1177 人、2 部制クラス数 20、1 クラス当たり生徒数は 58.9 人。教員数 27 人。



屋根材の劣化状況



廊下部分



教室内部 床



教室内部 屋根



教室内部 屋根



トイレの屋根

MM5 Carrière Centre

概要： 南側棟包みが約 2m 無くなっている。屋根に部分的に穴空きがある。学校敷地を囲うフェンスがなく、部外者が入り込む。

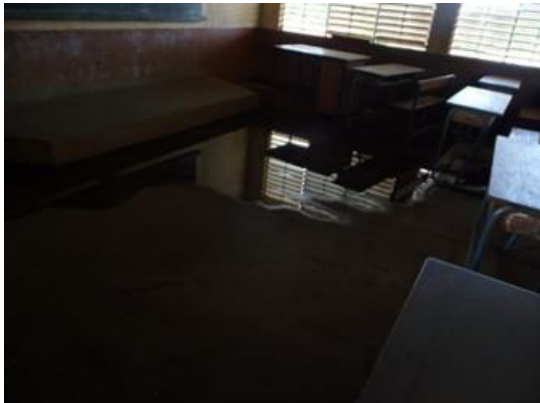
生徒数 1185 人、2 部制クラス数 20、1 クラス当たり生徒数 59.3 人。教員数 25 人。



屋根材の劣化状況



廊下部分



教室内部 床



教室内部 屋根



教室内部 屋根



トイレの屋根

MM14 Carrière Cité 1

概要： 屋根の劣化、穴あきがあり、雨漏りが激しい。トイレ屋根はほとんど破損し、母屋材も一部なくなっている。3 教室増築工事は、基礎部分までで5年前に中断されたままとなっている。

生徒数 896 人、2 部制クラス数 15、1 クラス当たり生徒数 59.7 人。教員数 26 人。



屋根材の劣化状況



廊下部分



教室内部 床



教室内部 屋根



教室内部 屋根



トイレの屋根

M2 Simbaya 1

概要： 屋根の劣化、雨漏りがある。テープでの補修があり、努力が認められるが解決になっていない。
トイレの棟包みが一部なくなっている。

生徒数 2928 人、2 部制クラス数 39、1 クラス当たり生徒数 75.1 人。教員数 55 人。



屋根材の劣化状況



廊下部分



教室内部 床



教室内部 屋根



教室内部 屋根（テープでの補修）



トイレの屋根

M5 Dabompa

概要： 屋根の劣化、雨漏りが激しい。棟包み陥没箇所が多い。別棟にソーラパネルがあり、教室と階段踊り場に電灯が取り付けられている。階段踊り場腰壁に大きなクラックがある。警備兼任の用務員がいて、清掃・保守をしている。生徒数 2593 人、2 部制クラス数 36、1 クラス当たり生徒数 72.0 人。教員数 68 人。



屋根材の劣化状況



廊下部分



教室内部 床



教室内部 屋根



教室内部 屋根



トイレの屋根

M7 Gbessia Cité 2

概要： 屋根の劣化、雨漏りが激しい。既存平屋4教室は2010年に屋根が吹き飛ばされ現在使用できない。教室数が少ないことから、降雨時は児童が早朝に登校し、床の水たまりを廊下に掃き出して使用している。生徒数1393人、2部制クラス数26、1クラス当たり生徒数53.6人。教員数38人。



屋根材の劣化状況



廊下部分



教室内部 床



教室内部 屋根



教室内部 屋根



トイレの屋根

M13 Enta Fassa (Koichiro Matsuura)

概要： 2棟とも屋根の劣化、棟包み破損個所が多く、雨漏りが激しい。2階部分に UNESCO 支援の図書室があり、電源供給のソーラーパネルが屋根上に設置されている。

生徒数 2200 人、2 部制クラス数 40、1 クラス当たり生徒数 55.0 人。教員数 56 人。



屋根材の劣化状況



ソーラーパネル



教室内部 床 雨水がたまる



教室内部 屋根 棟に大穴



校長室 屋根 補修



トイレの屋根

R3 Kaporo

概要： 屋根の劣化、雨漏りが激しい。屋根材の穴、棟包みの陥没が多数ある。

生徒数 1702 人、2 部制クラス数 30、1 クラス当たり生徒数 56.7 人。教員数 37 人。



屋根材の劣化状況



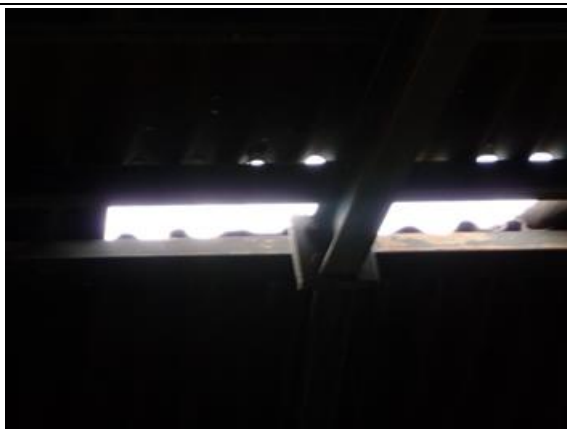
廊下部分



教室内部 床



教室内部 屋根



教室内部 屋根



トイレの屋根 劣化が激しい

R7 Sonfonia Gare

概要： 2棟とも屋根の劣化が激しく、穴から雨漏りがある。1棟屋根上に日本民間企業支援のソーラーパネルが設置されている。比較的維持管理状況がいい。世銀支援4階建て校舎のある中学校と接する。生徒数2728人、2部制クラス数32、1クラス当たり生徒数85.3人。教員数48人。



屋根材の劣化状況



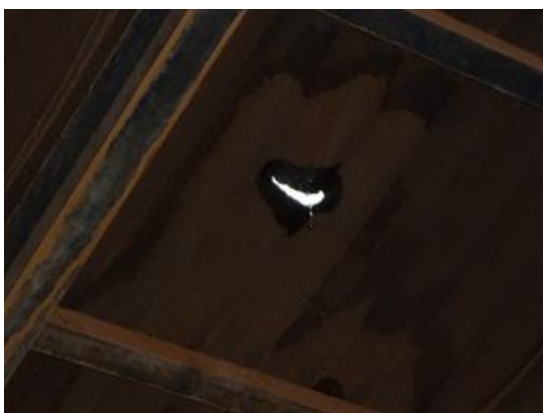
ソーラーパネル



教室内部 床



教室内部 屋根



教室内部 屋根



トイレの屋根

略 語 表

略語	仏語名	英語名	和訳名
APEAE	Association des Parents d'Elèves et des Amis de l'Ecole	Parents Associations	父母会
CDE	Comité de Développement de l'Ecole	Schools Development Committee	小学校開発委員会
DCE	Direction Communale de l'Education	City Office of Education	コミュン教育事務所
IRE	Inspection Régionale e l'Education	Regional Inspectorate of Education	コナクリ市教育局
DGPSDE	Direction Générale de la Planification des Statistiques et du Développement de l'Education	General Office of Planning, Statistics and School Development	統計計画・教育開発局
DSEE	Délégation Scolaires de l'Enseignement Elémentaire	Delegate of Elementary Schools	初等教育委員会
EP	Ecole Primaire	Primary School	小学校
PSE	Programme Sectoriel de Education	Education Sector Program	万人のための教育
GNF	Franc Guinéé	Guinean Franc	ギニアフラン
JICA	Agence japonaise de coopération internationale	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
MPCI	Ministère du Plan et de la Coopération Internationale	Ministry of Plan and International Cooperation	国際協力省
MEPU-A	Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation	Ministry of Prime Education and Literacy	初等中等教育・識字省
SNIES	Service National des Infrastructures et Équipements Scolaires	National Service for School Buildings and Equipment	公立学校施設機材局

第 1 章 フォローアップ調査の概要

第1章 フォローアップ調査の概要

1-1 調査の背景及び目的

ギニア共和国（以下、ギニア国）では、中長期国家開発計画「ギニアビジョン 2010」（1996年－2010年）において教育セクターを最優先分野に位置づけて取り組んだ結果、初等教育総就学率が1990年の32%から1999年の61%に大幅に改善された。他方で、急激な就学率上昇と高い人口増加率（年平均2.3%、1999年、世銀）は、教室不足を深刻化させ、就学環境の悪化をもたらした。かかる状況の下、ギニア政府は、1教室あたりの児童数の特に多い首都コナクリ市における小学校建設を日本政府に対して要請し、無償資金協力「コナクリ市小学校建設計画」（2002-2003年）が実施された。無償資金協力「コナクリ市小学校建設計画」（1/2期）（以下、「当初計画」という）としてコナクリ市内11校を対象に、111教室等の建設、教室家具の整備が行われた（2004年3月竣工）。

しかしながら、当初計画対象校の多くで雨漏りが生じ、漏水が激しい一部の学校では雨季における教室使用が不可能になっている。コナクリ市内の小学校の1教室あたり児童数は、標準45名を上回る82.6名（2011年）であるが、雨漏りにより当初計画による学習環境の向上とコナクリ市教室不足緩和が阻害されかねない状況にある。ギニア初等中等教育・識字省（以下、「教育省」という）は、学校施設の維持管理に努めているものの、維持管理・施設補修に係る活動が多く求められる中、予算制約により優先順位を付さざるを得ない状況にある。

かかる状況から、ギニア教育省は独立行政法人国際協力機構（JICA）に対し、当初計画対象校の屋根補修に関するフォローアップ協力を要請した。本フォローアップ調査は、当初計画対象校11校111教室の状況を確認し、雨漏りの原因を分析した上で、補修工事計画を含むフォローアップ協力計画を作成することを目的とする。

当初計画対象校11校はコナクリ市ディクシン地区、マタム地区、マトト地区、ラトマ地区に位置する（添付6 施設改修図面（案）参照）。対象校は次頁の表1-1のとおりである。

番号	学校名	地区	棟数	階数	最上階 教室数	校長室・ 倉庫	トイレ (ブース)
D1	Dixinn Centre 1	Dixinn	1	3	4	0	10
D7	Belle-Vue Marché	Dixinn	1	3	3	0	8
MM5	Carrière Centre	Matam	1	3	2	0	6
MM14	Carrière Cité 1	Matam	1	2	4	0	8
M2	Simbaya 1	Matoto	1	2	5	0	8
M5	Dabompa	Matoto	1	2	4	0	8
M7	Gbessia Cité 2	Matoto	1	3	3	0	8
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	Matoto	2	3, 3	4+3	1	18
R2	Dar-es-salam	Ratoam	1	2	3	0	6
R3	Kaporo	Ratoam	1	2	3	0	6
R7	Sonfonia Gare	Ratoam	2	2, 2	4+4	1	14
	合計		13			2	100

表 1-1 調査対象校概要

第2章 調査結果（現地調査：2014年7月）

第2章 調査結果（現地調査：2014年7月）

2-1 基本情報の確認

2-1-1 コナクリ市の教育分野の政策および教育施設

(1) 教育制度

ギニア国の学制は図2-1に示すように6-4-3制で、初等教育は小学校の6年間である。

年齢								
24	高等教育	大学	高等教育科学研究所 (ISSEG)	初等教員養成校 (ENI)	高等教育専門学校	中等専門学校	イラム高等学校	ノ ン フ ォ ー マ ル 教 育
23								
22								
21								
20								
19	中等教育	高等学校 (公立)	13 学 年			イラム高等学校		
18			12 学 年					
17			11 学 年					
16		中学校 (公立)	10 学 年			イラム中学校		
15			9 学 年					
14			8 学 年					
13			7 学 年					
12	初等教育	小学校 (公立)	6 学 年			イラム小学校		
11			5 学 年					
10			4 学 年					
9			3 学 年					
8			2 学 年					
7			1 学 年					
6	就学年前教育	幼稚園						
5								保育園
4								
3								

出所：国民教育科学研究省

図2-1 ギニア共和国の教育制度

(2) 組織・人員

初等・中等教育に関し、国のレベルでの行政は初等中等教育・識字省 (MEPU-A) であり、州（またはコナクリ特別市）視学官事務所、県教育事務所、コミューン（区）教育事務所がある。

教育省には、国家統制部、関連部、支援部、諮問機関があり、関連部の中に公立学校施設機材局 (SNIES) があり、公立学校の施設及び機材の整備・管理を行っている。本プロジェクトに係るギニア国実施機関は教育省であり、担当部局は公立学校施設機材局 (SNIES) である。SNIES は総務財務課、工事課、機材課、教育課からなる。(図2-3)

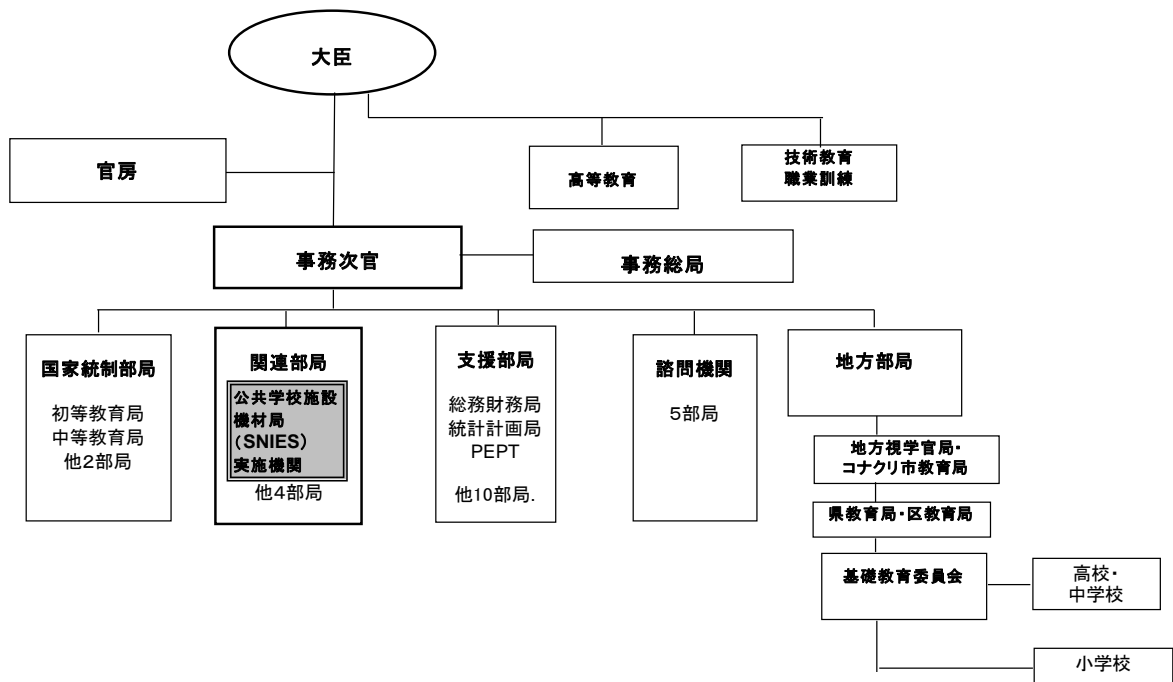


図 2-2 教育省 (MEPU-A) 組織図

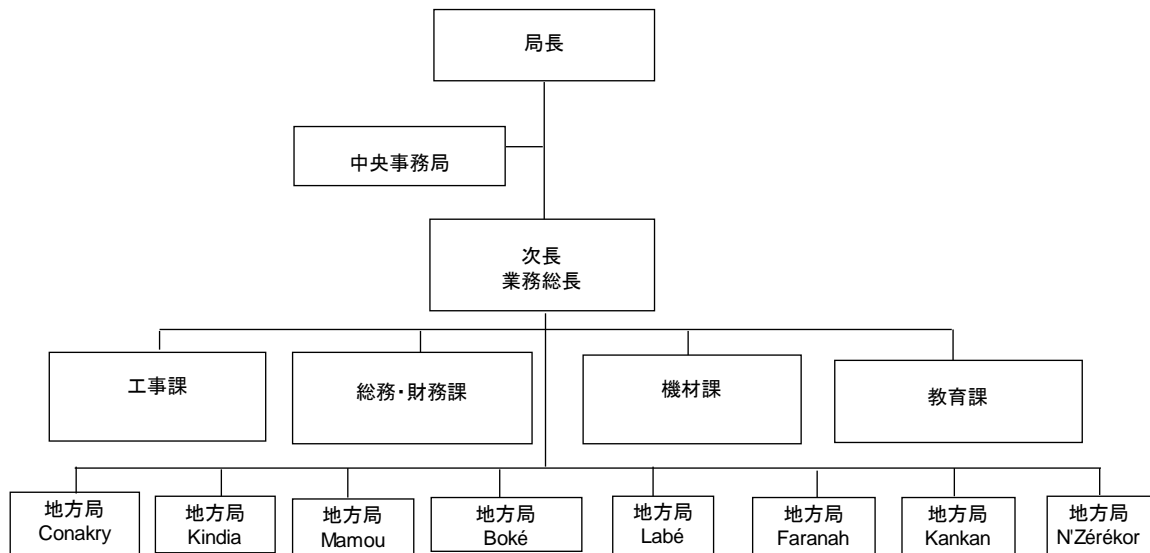


図 2-3 公立学校施設機材局 (SNIES) 組織図

(3) 対象校の児童数・教員数等

対象校の児童数、クラス数、教室数、教員数は次表のとおりであり、1クラスあたり児童数は、SNIESの基準である50人を超え、なかには80人を超える過密校がある。2部制であり、教室数は不足している。最近5年間の児童数はCarrière Cité 1校（MM14）を除き、増加している。1教員あたり児童数は学校により35人～57人であり、運営上問題ない。

表 2-1 児童数、1クラスあたり児童数、教員数、1教員あたり児童数

No.	学校名	児童数	クラス数	教室数	1クラスあたり児童数	教員数	1教員あたり児童数
D1	Dixinn Centre 1	1,500	33	24	45.5	35	42.9
D7	Belle-Vue Marché	1,177	20	10	58.9	27	43.6
MM5	Carrière Centre	1,185	20	12	59.3	25	47.4
MM14	Carrière Cité 1	896	15	8	59.7	26	34.5
M2	Simbaya 1	2,928	39	20	75.1	55	53.2
M5	Dabompa	2,593	36	18	72.0	68	38.1
M7	Gbessia Cité 2	1,393	26	13	53.6	38	36.7
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	2,200	40	20	55.0	56	39.3
R2	Dar-es-salam	1,667	26	13	64.1	37	45.1
R3	Kaporo	1,702	30	15	56.7	37	46.0
R7	Sonfonia Gare	2,728	32	16	85.3	48	56.8
	合計	19,969	317	169	63.0	452	44.2

表 2-2 最近5年間（2009年～2014年）の児童数

No.	学校名	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
D1	Dixinn Centre 1	1,150	1,255	1,350	1,550	1,500
D7	Belle-Vue Marché	807	895	1,108	1,151	1,177
MM5	Carrière Centre	1,198	1,316	1,354	1,306	1,185
MM14	Carrière Cité 1	916	908	970	938	896
M2	Simbaya 1	225	675	600	600	2,928
M5	Dabompa	1,790	1,853	2,099	2,345	2,593
M7	Gbessia Cité 2	1,139	1,128	1,323	1,427	1,393
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	1,533	1,632	1,721	1,840	2,200
R2	Dar-es-salam	1,080	1,160	1,210	1,497	1,667
R3	Kaporo	1,339	1,575	1,618	1,664	1,702
R7	Sonfonia Gare	2,109	2,223	2,395	2,626	2,728

(4) 小学校の基準

コナクリ市の公立小学校は2部制で運営され、午前8時から午後1時、午後1時30分から6時30分までである。学年は10月に始まり、6月に修了試験をもって終わり、7月から9月まで休暇である。なお、6月の修了試験は7月までかかることがある。

SNIESの基準では、都市部の小学校は1教室7メートル×9メートル(63㎡)で児童数50人、農村部では1教室6メートル×8メートル(48㎡)で児童数40人であり、廊下幅は2メートルである。

2-1-2 運営体制、施設維持管理体制および活動実績・計画

ギニア国政府は、小学校の円滑な運営管理、小学校間の交流、コミュニティ活動の支援等を目的とし、以下の組織・制度を設けている。

(1) 初等教育委員会 (Délégation Scolaire de l'Enseignement Élémentaire: DSEE)

2002年2月省令に基づき各地区に設置が義務付けられ、近隣の10~15の公・私立小学校を1単位とし、ギニア全国で380組織が設立されて活動している。DSEEの役割は以下のとおりである。

- ① 地区の教育分野の活動計画、評価を行う。
- ② 教員の監督・研修に関し、小学校長を支援する。
- ③ 小学校間の交流を促進する。
- ④ 行政機関、コミュニティ、父母等教育関係者間の連携を促進する。
- ⑤ コミュニティ活動を支援する。

委員長は、市及び県教育局の推薦で初等中等教育・識字省から任命される。委員会のメンバーは、教育顧問教員養成教官 (Conseiller Pédagogiques Maîtres Formateurs) から優先的に選出されるが、教育委員長、小学校長等からも選出される。なお、DSEEは円滑な任務遂行のため、教育諮問会議(構成:委員長、コミュニティ代表、小学校長、教員、児童、父母会、NGO)を設け、年2回以上開催することとなっている。

小学校において父母会の活動内容は①定期的な父母会の開催、②父母負担金の徴収と管理、③学校施設・資機材の修理・保全管理、④父母と児童に対する啓蒙、⑤学校及び児童の保障、⑥教師への物的・心的支援、⑦新学期開始前の学校清掃・整備・修理等である。

(2) 小学校開発委員会 (Comités de Développement d'Ecole: CDE)

小学校開発委員会(CDE)は、DSEEの管理の下、政府からの財政支援(世界銀行によるギニア小学校教育改善支援プログラム)を受けるための計画立案、教育の質的向上のための教員支援、学校とコミュニティ及び父母会との連携強化等を目的として各小学校単位で

組織化され、メンバーは9名（小学校長、父母会々長、教員3名、児童2名、コミュニティ代表2名）で構成される。全国の15%の小学校で計932のCDEが組織化されている。

小学校における父母会とCDEの構成、役割は計画では下表のとおりであるが、実際は、以下の一部が行われているのが実態である。

表2-3 父母会・学校開発委員会（CDE）の役割

組織	構成	役割
父母会 APEAE	父母 (学校の協力)	<ul style="list-style-type: none"> -学区制に基づくサイトの特定、および学校の土地の保護 -教室、囲い塀、トイレ、運動場、水栓の建設・設置、維持、改修 -学校の衛生環境の整備と保全 -運営委員会に対する教科書と奨学金の管理と配布 -地域社会の知識、ノウハウの刷新、学校への統合 -家具、教育資機材、教材、教科書の購入、製作、保全、維持管理 -学校資機材の購入と分配 -公平性に考慮した学齢児童の調査、児童募集 -児童身分証明書の作成 -成績簿の管理 -学業において困っている児童の引き受け -学校輸送の導入と管理 -野外慈善バザー、社会教育活動、レジャー活動の実施 -父母、コミュニティ、教員、児童を対象とした情報提供、啓蒙、研修 -家庭での児童のしつけ、補修等の企画 -コミュニティ教員の採用と契約締結 -教員の出勤、遅刻管理、報酬の管理 -児童間、教員と父母、および/または教員と児童間の争いへの対応 -児童、教員、父母に対する規律の遵守の促進 -学業（成績）の評価、分析 -教員の研修のサポート -学校の開発計画の策定 -学校関係者全てに対する市民教育 -コミュニティが参加した活動の報告
CDE	校長・教員、児童代表、父母会会長、地域代表、コミュニティ代表	<ul style="list-style-type: none"> -教室の整備 -教育に関する問題の解決 -児童のやる気の向上 -教育環境の改善

註：太字は学校施設維持管理に係る項目

学校開発委員会（CDE）の活動詳細計画は次表のとおりである。

表2-4 学校開発委員会（CDE）の活動詳細計画

No	分野	項目	備考
1	教室の整備	教材維持・保管のための機材購入	現場の教員が行う。
		教室家具購入 (児童用机椅子、椅子、簡易黒板)	
		特別科目用教科書購入	
		教授法専門教官の招聘	
2	教育に関する問題の解決	勉強を妨げる要因となる問題点について、研修を実施する。	学校は、教育問題を解決する専門教官を招聘できる。
3	児童のやる気の向上	児童にとって難しい分野、科目の試験をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・国語、理科、算数の試験を実施して、最優秀者を表彰する。 ・期末試験の結果も考慮する。
		昇級試験の際に優秀な児童を表彰する。そのための必要品を購入する。	
4	教育環境の改善	小規模な左官工事、建具工事を行う。(穴をふさぐ。開口部をふさぐ。窓に庇を設置する。机椅子、黒板、教員の机、椅子を修理する。)	左官、大工に工事を依頼する。

対象校の主な不具合は、校舎及びトイレの屋根の劣化、破損、雨漏りであり、それらの補修には施工業者による対応が必要である。他方で、床・壁モルタルの破損、壁等の再塗装、建具取り付け金具の破損、机・椅子の破損は、各対象校で見られるが、これらはギニア側で対応がなされるべきものである。対象校関係者に対し、屋根を含めた施設全体の維持管理強化に対する技術指導が必要であると考えられる。

国庫負担である教員給与、教科書、電気・水料金を除いた学校の運営維持管理費は主に父母会負担（父母から一定の負担金を徴収）及び寄付等で賄っている。父母負担金の資金管理は従来以上に計画性、透明性、徴収策の向上等が求められている。小学校開発委員会（CDE）は、広く学校、父母会、地域社会等から構成されることとなっている。

教育省のもと、各県及びコナクリ特別市の教育局、さらにその下の各区（コミューン）教育局があり、各学校管理・指導を行なっているが、総じて管理体制は脆弱である。教育省は、一層の学校運営維持管理向上のため、行政側と学校、父母会、地域社会等、学校関連組織の共同・連携を目指している。

2-1-3 他ドナーの協力

ギニア国における教室建設を行う主なドナーとして、UNICEF とプラン・ギニア（Plan Guinée）がある。UNICEF は学校建設を一般的に行わないものの、ギニアでは学校建設を行うドナーが少ないことから例外的に学校建設を実施しており、2009 年から 2012 年にかけて計 30 校を建設した。2010 年末以降、「教育のためのグローバルパートナーシップ（Global Partnership for Education）プログラム」のもと約 1,000 教室の建設が進められている。また、UNICEF は、2011 年から 2013 年にかけてプラン・ギニアに委託してゼレコレに計 400 教室を建設した。

プラン・ギニアは、ドイツ復興金融公庫（KfW）の教育セクター支援のもとで学校建設を実施している。ファラナの 3 県（ディンギライ、ダボラ、ファラナ）での 141 校の学校建設であり、第 1 期（2013 年 7 月～2015 年 6 月）として 88 校のうち 45 校が完成、第 2 期（2015 年 7 月～2017 年 6 月）として 53 校を建設する計画である。

2-2 調査対象施設の現状及び対応策

2-2-1 調査対象施設の現状

(1) 不具合の現状

当初計画対象校のうち Belle-Vue Marche 校（D7）、Symbaya 1 校（M2）及び Sonfonia Gare 校（R7）では比較的雨漏りが軽微であるが、他 8 校では雨漏りが激しく、雨期に授業ができない状況である。比較的雨漏りが軽微な上記 3 校でも、近い将来、雨期の授業に支障が生じるものと予測される。

床モルタルの破損やドアノブの破損等が見られるが、授業や学校運営に支障を来すものではない。壁のクラックは、竣工後 10 年以上を経過していることを考慮すれば概して良好

と言える。竣工から10年以上が経過し、壁・鉄骨等の再塗装の時期にあるが、同様に授業や学校運営に支障を来すものではない。

(2) 維持管理状況

日常維持管理は、父母会(APEAE)の協力を得て各学校により行われている。APEAEは、児童1人あたり年間5,000GNFから8,000GNFを保護者から徴収し、財源としている。清掃は主に児童により行われるが、学校によって警備・清掃を行なう用務員が配置されている。大規模な改修工事は、国家予算等による補助金により賄われるが、計画対象校における屋根補修のための補助金の確保は難しい状況にある。Symbaya 1校(M2)では、屋根の穴をビニールテープで塞いでいるが効果的ではなく、恒久的対策となっていない。

2-2-2 補修(もしくは改修)の妥当性、必要性の検討

床モルタルの破損、壁再塗装、建具修理は、直接授業に支障を及ぼすものではないが、雨漏りは、降雨時の授業に支障を生じさせている。また、トイレは、雨漏りにより使用ができなくなっている。屋根の改修は、雨季における授業環境の復旧、トイレ使用環境の復旧のため、妥当性、必要性のある工事である。

2-2-3 対応策の検討

現状から、屋根の部分補修程度では恒久的な雨漏り対策とならず、全面的な屋根の葺き替えが必要と判断される。補修で用いるアルミ亜鉛メッキ鋼板は、ギニア国内の学校を含む公共建築や一般建築で普及している。アルミ亜鉛メッキ鋼板は、耐久性があることに加え、軽量であるので現状の屋根フレームをそのまま利用することができる。

屋根フレームは、鉄骨トラスの上にスチールの母屋を流し、長尺屋根材を母屋に固定している。スチール母屋材は、屋根の葺き替え時でなければ母屋材接触部分の塗装が行なえない。また、部材の肉厚が薄いので、耐久性の点からスチール母屋材の再塗装を行なうことが妥当である。トイレのスチール母屋材が破損し逸失している学校は、補完を行なう必要があるが、トイレの鉄骨トラスの再塗装は必要ないものと判断される。

2-2-4 フォローアップ協力案

(1) 補修計画・設計

1) フォローアップ協力のスコープに係るオプション・協力内容の優先順位

補修対象校の検討においては、フォローアップ調査の協議議事録で確認された次の5校を優先することとする。

- Dixinn Centre 1校(D1)
- Carriere Centre 校(MM5)
- Dabompa 校(M5)

- ・ Gbessia Cite 校 (M7)
- ・ Enta Fassa (Koichiro Matsuura) (M13)

フォローアップ協力のスコープに係るオプションは次が考えられ、計画方針から優先順位付けを行なうと次表のようになる。

対象校	補修箇所	優先順位
全 11 校	校舎屋根、トイレ屋根の葺き替え (母屋材の再塗装を含む)	1
全 11 校	校舎屋根、トイレ屋根 (母屋材の再塗装を含まない)	2
全 11 校	校舎屋根の葺き替え (母屋材の再塗装を含む)	3
全 11 校	校舎屋根の葺き替え (母屋材の再塗装を含まない)	4
優先 5 校	校舎屋根、トイレ屋根の葺き替え (母屋材の再塗装を含む)	5
優先 5 校	校舎屋根、トイレ屋根 (母屋材の再塗装を含まない)	6
優先 5 校	校舎屋根の葺き替え (母屋材の再塗装を含む)	7
優先 5 校	校舎屋根の葺き替え (母屋材の再塗装を含まない)	8

2) フォローアップ協力内容

全 11 校の校舎屋根及びトイレ屋根の葺き替え (母屋材の再塗装を含む) とする。屋根材は、ギニア国の学校を含む公共建築で一般的に用いられており、耐久性のあるアルミ亜鉛合金メッキ鋼板 (0.6mm 厚) とする。本フォローアップ協力における工事では、既存のアスファルト含浸繊維板を撤去し、既存の母屋材 (軽量形鋼) をそのまま使用し、アルミ亜鉛合金めっき鋼板 (0.6 mm厚) を J バーで取り付ける。施工においては、建物外周に仮設足場を設置することとする。

3) 基本設計図

補修の基本設計図を、別添資料 6. 施設改修図面 (案) に示す。

2-3 施工計画／調達計画の検討

2-3-1 施工方針／調達方針

本フォローアップ協力における工事は JICA セネガル事務所が調達・契約する現地業者により行われる。本邦コンサルタントがフォローアップ協力実施段階では入札・施工監理を行い、品質管理・工程管理・安全管理を行う。

2-3-2 施工・調達上の留意事項

(1) 現地施工業者の現況

ギニア公共調達法で示されている必要書類が整っており、工程管理、品質管理の問題の

ない業者 8 社に関し、SNIES からリストとして提示された。同リストの現地業者の他、過去に本邦施工業者との工事経験がある業者等を加え、単価見積依頼、経験・施工所要期間の聞き取り等を行なった。

(2) 屋根材業者

ギニア国における屋根は、その多くが塗装鋼板、アルミ亜鉛合金メッキ鋼板（ガルバリウム鋼板）を使用している。同鋼板の製品加工販売を行っている大手業者 3 社を訪問し、加工工場内部、材料ストック状況を確認した。原材料は、インド、中国、ベルギー他、ヨーロッパ諸国から輸入されているが、屋根総面積 5,200 m²程度であれば原材料は常備されており、発注を受けてから数日から 1 週間でコナクリ市内の現場に届けることは可能であるとのことであった。

2-3-3 建設関連基準の確認

対象 11 校の屋根葺き替え工事は新築工事、大規模な改修工事ではなく、工事の届け出、許可等の手続きは必要ないことを SNIES に確認した。学校での工事開始の通知(notification)は、SNIES から業者に発行される。

2-3-4 ギニア国における公共事業の入札方法と手続

ギニア国における公共事業の入札は、一般競争入札、指名競争入札があり、手続等の詳細は公共調達法に定められている。

2-3-5 現地施工業者選定手続・入札手続

本フォローアップ協力における現地施工業者の調達は、応札業者は商業登録をし、納税していること、入札に対する銀行保証が必要とされる点等でギニア国の公共調達法を参考としつつ、JICA の規定に基づき実施される。現地施工業者の調達方法は、セネガル国またはギニア国における一般競争入札または指名競争入札が想定されるが、JICA の規定により JICA セネガル事務所により決定される。一般競争入札により現地調達を行う場合、本フォローアップ協力で想定する工事ではギニア国弱小業者を含む多数の応募が予想され、審査手続に多大の労力を必要とする恐れがある。

従って、本フォローアップ協役に係る現地施工業者を指名競争入札により調達、SNIES の推薦業者、本邦施工業者との工事経験がある業者で、次の条件にあてはまる業者とする。

- ・ ギニアの商業登録証（RCCM）を取得している。
- ・ 前年度の納税証明がある。
- ・ 銀行保証を取得できる。
- ・ コナクリ市又はコナクリ市周辺に本店又は支店が登録されている。
- ・ 会社資産証明で本案件規模（6 千万円）の（いつでも現金化可能な）資産があることの証明がある。

- ・ 財務証明 過去3年間のうち黒字決裁が1回以上であり累積赤字がない。
- ・ 年間売上額 過去3年間のうち本案件規模である6千万円以上の売り上げを1回以上有している。
- ・ 類似案件実績 本案件規模の施工実績を過去5年間で1件以上有している。
- ・ 過去5年間に民事訴訟を含め、行政訴訟、会社訴訟、機関訴訟等の訴訟問題を抱えていない。
- ・ 外国企業のプロジェクト等、品質管理が必要な工事の経験がある。

2-3-6 実施体制

(1) 責任・実施機関

ギニア側の責任・実施機関は、ギニア国初等中等教育・識字省、公立学校施設機材局である。

(2) 入札・施工監理コンサルタント

コンサルタントは、入札・施工監理コンサルタントとして JICA セネガル事務所が行う入札関連業務の技術的補佐や工事の施工監理を実施する。コンサルタントの施工監理業務は、工事の施工品質・工程・安全等の監理を行うとともに、建設会社を実施した毎月の工事出来高を査定・評価し、その内容を JICA セネガル事務所に報告する業務等も行う。

(3) 施工業者

JICA セネガル事務所の行う調達の結果、選定・契約された現地施工業者が本フォローアップ協力における施設改修工事を実施する。

(4) フォローアップ協力実施に係る体制図

上記(1)から(3)の実施担当者の相互関係は、下図のとおりである。

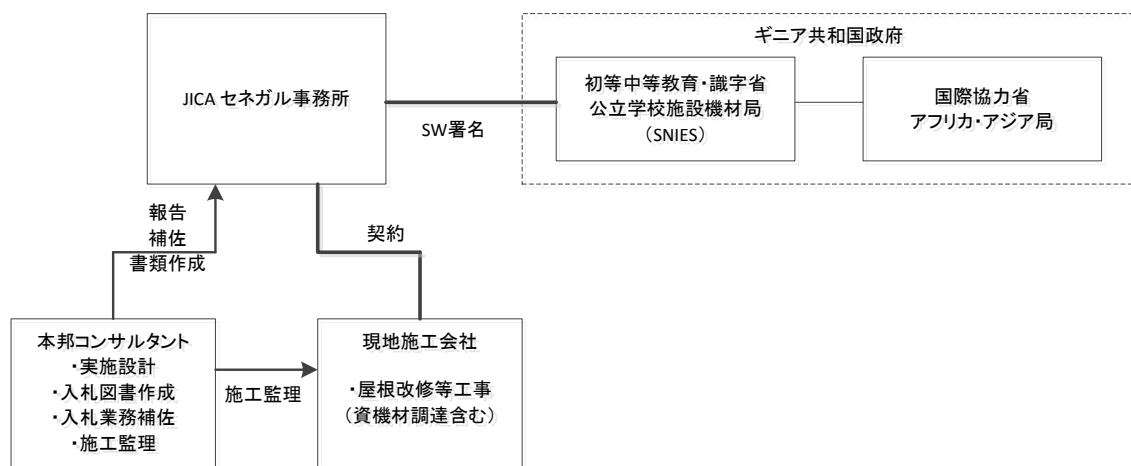


図 2-4 事業実施関係図

2-3-7 施設改修工程

現地施工業者との契約後、工事開始までに、前払保証及び履行保証の取得、前払金の入金、屋根材調達、仮囲い、足場搬入が必要であり、それらに約1ヵ月を要する。

1校あたり、足場組立、既存屋根材撤去・処分、母屋材の既存屋根取付ボルト切断、母屋材錆び落とし・再塗装、アルミ亜鉛合金メッキ鋼板葺きに約15日間をそれぞれ要する。最終検査後、足場撤去、清掃がある。同時に3チームが施工する場合、1チームあたりの担当棟数が4から5棟となり、施工に計2.5ヵ月を要する。

完成検査は学校毎に実施すると想定し、全体工期は約3.5ヵ月である。母屋材錆び落とし・再塗装を省略した場合は、約1ヵ月短縮可能である。以上から、概略事業工程は、以下のとおりである。

表 2-5 F/U 協カプロジェクトの暫定スケジュール

項目 / 月	7月	8月	9月	1	2	3	4	5	6
現地調査	■								
国内解析		■	■						
S/W 署名				▲					
入札公示				▲					
入札評価、業者契約					▲				
工事						■	■	■	■
維持管理短期訓練								▲	
竣工検査									▲

2-3-8 施設維持管理技術指導

コナクリ市における小学校では、総じて父母会の活動が活発で、地域の有力者・住民の理解も高く、学校の運営維持管理に努めている。他方で、施設の修理状況、トイレ清掃及びピットの汚物除去、学校全般の清掃等は、学校により差がある。

また、計画対象校における維持管理予算は、十分な金額とは言えないものの、収入・支出は帳簿に記帳され監査を受けているが、場当たりの支出している学校が多く、収入計画に基づく支出管理に係る実施指導が必要とされている。かかる現状から、本フォローアップ協力では、施工監理を行うコンサルタントが施設維持管理に係る技術指導を行う計画とする。

(1) 施設維持管理に係る技術指導の目標

本計画対象校における施設の運営維持管理が持続的かつ円滑に行われる。

(2) 施設維持管理に係る技術指導の成果

施設維持管理に係る技術指導の成果は以下に示すとおりである。

- ① 我が国の協力で過去に作成された施設維持管理マニュアルを改訂する。
- ② 本計画の学校建物（屋根、外壁、内壁、戸、窓、床等）及び便所の基礎的な構造が理解され、給水設備、囲い塀、校庭等を含めた学校全体の施設維持管理・衛生管理が持続的に行われる。
- ③ 維持管理の進捗・実績が把握され、計画的な資金管理がなされる。

(3) 施設維持管理に係る技術指導活動

(ア) ギニア教育省への説明

施設維持管理に係る技術指導は、基本的にギニア教育省初等教育局作成の総合ガイドラインに準拠する。コンサルタントは、施設維持管理に係る技術指導の狙い、目的、実施内容、活動スケジュールについてギニア教育省に説明し、理解を得る。

(イ) 我が国の協力で過去に作成された維持管理マニュアルの改訂

我が国の協力で過去に作成された維持管理マニュアルをもとに、父母会及び学校側の意見を聴取し、改訂する。特に、資金管理に係るマニュアルが過度に専門的との意見が関係者から出ているので、これを簡略化する。また、便所、給水・水の使用、衛生に係る設備維持管理事項を追加する。

(ウ) 対象校におけるオリエンテーション

対象校の父母会・地域社会及び学校管理者・教員に対して、オリエンテーションを実施し、施設維持管理及び資金管理等の重要性についての認識を深め、意識啓発を行う。

(エ) モデル校におけるワークショップ

同時期に、維持管理活動の普及・導入のため、ギニア教育省とコンサルタントは、施設維持管理及び資金管理等、学校運営維持管理システムのモデル近隣校を選定し、計画対象校の父母会・地域社会及び学校管理者・教員等によるモデル近隣校視察・モデル近隣校関連者との意見交換、問題共有、問題解決を目的としたワークショップを開催する。

(オ) 施設維持管理モニタリングに係るマニュアル作成

ギニア教育省は、コンサルタントと協議し、維持管理活動のモニタリングを行うためのマニュアルを作成する。コンサルタントがモニタリングに係るマニュアルの原案を作成し、それに基づき現地側のイニシアティブを引き出しながら現地タスクフォースにこれを作

成させる。それについてコンサルタント側で評価・コメント・フィードバックし、マニュアルを完成させる。

(4) 施設維持管理に係る技術指導の実施体制

本件施設維持管理に係る技術指導は、下表の役割分担により実施する。

表 2-6 施設維持管理技術指導に係る役割分担

活動	担当	邦人コンサルタント	アシスタント (コンサルタント備上)	ギニア教育省
本計画の組織		1名	1～2名	タスクフォースの選定 施設維持管理技術協力委員会の設置
本計画の運営方法		全体の進捗状況の管理	業務全体の管理	対象校へ連絡・指示
維持管理マニュアル		原則は既存の活用なるも 場合により改善案作成	作成	助言
本計画内容のリエンション	管理・指導		開催準備・説明	開催
維持管理セミナー			開催準備・説明	開催
モデル校見学			案内・進行・フォロー	主催
維持管理のフォローアップ			対象校でのワークショップ	対象校への連絡指示
維持管理モニタリングマニュアル		原案作成	作成	助言
その他		行政側との協議		各対象校維持管理活動の 監理・指導

2-4 フォローアップ協力の概算事業費

屋根補修工事の概略数量・概算は以下のとおりである。

改修工事概略数量

No.	学校名	教室・校長室棟 屋根面積 (㎡)	トイレ 屋根面積 (㎡)
D1	Dixinn Centre 1	441	67
D7	Belle-Vue Marché	339	57
MM5	Carrière Centre	236	45
MM14	Carrière Cité 1	441	57
M2	Simbaya 1	564	57
M5	Dabompa	441	57
M7	Gbessia Cité 2	339	57
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	796	125
R2	Dar-es-salam	339	45
R3	Kaporo	339	45
R7	Sonfonia Gare	898	104
	合計	5,173	716

工事費概算

	教室・校長室屋根	便所屋根	合計 (百万円)
11 校 (母屋材再塗装)	51.2	7.2	58.4
11 校 (母屋材再塗装なし)	46.5	6.5	53.0

- ・ 積算時点： 2014年7月
- ・ 為替交換レート： 1ユーロ=141.57円 (2014年4月～6月平均)
- ・ 施工期間： 2014年12月～2015年3月を想定
- ・ その他： 乾季の施工、工事期間中全階立ち入り禁止、仮設足場設置等の条件で積算した。

全11校のアスファルト含浸繊維板屋根の教室・校長室・トイレをアルミ亜鉛合金メッキ鋼板に葺き替えるため、母屋材の再塗装を含め58.4百万円、母屋材再塗装無で53.0百万円を要する。(ただし、エボラ出血熱流行により、物価上昇及び材料在庫の減少が想定される。)

ギニア側の負担は、M13、R7校の既設ソーラーパネルの撤去、屋根工事完成後の再接地の約12万円である。

第3章 追加調査結果（現地調査：2016年1月）

第3章 追加調査結果（現地調査： 2016年1月）

3-1 追加調査の背景

JICAは、2014年6月下旬から7月中旬にかけてF/U調査を実施し、F/U協力に係る基本計画を策定したが、2014年8月8日付でWHOが発したエボラ出血熱の感染拡大に係る非常事態宣言をうけ、F/U協力本体事業の実施を延期する必要性が生じた。ギニア国におけるエボラ感染症新規感染者数の減少をうけ、2016年12月に本F/U協力を正式に再開することとした。現地施工業者、資材・労務等の調達等について、2014年9月時点で作成の計画図書(案)内容の適否および改修計画該当校の現況等を確認する必要性が生じたことから、追加的に調査を行う必要性が生じた。

3-2 フォローアップ協力案の変更点

(1) 対象校の現状

現地調査において、Dar-es-sulam (R2)校において教室棟及びトイレ棟の屋根の葺替えがギニア教育省により行われたことが確認されたことから、Dar-es-sulam (R2)校を計画対象校から除くこととする。

(2) 施設改修工程

契約後、実質工事開始までに、履行保証及び前払保証の提出、前払金入金、屋根材調達・加工、仮囲い、足場搬入が必要であり、約1ヵ月を要する。

1校あたり、足場組立、既存屋根材撤去・処分、母屋材の既存屋根取付ボルト切断、母屋材錆び落とし・再塗装、アルミ亜鉛合金メッキ鋼板葺きに約15日間要すると判断される。最終検査後、足場撤去、清掃がある。

多くのグループを形成し、同時に工事を行えば、工期を短縮できるが、屋根工事のみを行なう現地業者は小規模なものが多く、財務・人員の能力が限られている。無理にグループを多くしようとする、未熟な職人が多く含まれてくるリスクが大きくなる。

1社2グループ同時作業が無難であると思われるが、1社3グループまで形成可能と考え、2ロット、合計6グループまで同時進行可能とする。以上から、F/U協力プロジェクトの工程は以下のとおりである。

表 3-1 F/U 協力プロジェクトの暫定スケジュール

項目 / 月	7月	8月	9月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
現地調査	■								
国内解析		■	■						
S/W 署名				▲					
入札公示				▲	■				
入札評価、業者契約					▲	■			
準備工事						■	■		
屋根改修工事							■	■	■
維持管理短期訓練								■	■
竣工検査									▲

3-3 免税手続

F/U 協力に従事する邦人コンサルタントの渡航計画を伝達し、F/U 協力の実施に関し、ギニア国内で課される関税、税、その他の税の徴収を免除すること、同手続を速やかに行うことをギニア側に要請し、了承を得た。本調査後、施工監理担当の業務従事者について資金協力業務部からセネガル事務所を通じ、ギニア側に通知する。

F/U 協力に係る資機材の関税及び付加価値税等の免除に関し、S/W 及び JICA セネガル事務所からのレターに基づいて手続が行われることを確認した。また、資機材の関税及び付加価値税等については工事着工前に必要な手続をとるようにギニア側に要請し、了承を得た。

本 F/U 協力における屋根葺き替え工事はギニア国内の資材を用いて行われるが、付加価値税の免除のためには、S/W 写・契約書（JICA・施工業者間）・資材リスト（品目、数量等が記載されたもの）・資材に係る見積書（付加価値税を免除した額が記載されたもの）を添付した JICA セネガル事務所からのレターを計画・国際協力省に対して発信（レター発信にあたり初等中等教育・識字省を経る必要は無い）、同レターをうけて計画・国際協力省から財務省に対して承認申請を行い、財務大臣による承認を得る必要がある。レターは、計画・国際協力省免税担当部門宛としつつ、アジア・アフリカ総局、初等中等教育・識字省及び財務省関連部局にも写を配布。手続には、JICA セネガル事務所からのレターオリジナルが必要。

3-4 フォローアップ協力の概算事業費

本フォローアップ協力の概算事業費は、建設費のみであり、屋根補修工事の概略数量・概算は以下のとおりである。

改修工事概略数量

No.	学校名	教室・校長室棟 屋根面積 (㎡)	トイレ 屋根面積 (㎡)
D1	Dixinn Centre 1	441	67
D7	Belle-Vue Marché	339	57
MM5	Carrière Centre	236	45
MM14	Carrière Cité 1	441	57
M2	Simbaya 1	564	57
M5	Dabompa	441	57
M7	Gbessia Cité 2	339	57
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	796	125
R3	Kaporo	339	45
R7	Sonfonia Gare	898	104
	合計	4,834	671

工事費概算

	教室・校長室屋根	便所屋根	合計 (百万円)
10 校 (母屋材再塗装)	53.2	7.4	60.6
10 校 (母屋材再塗装なし)	48.3	6.7	55.0

- ・ 積算時点： 2015 年 12 月
- ・ 為替交換レート： 1 ユーロ = 135.36 円 (2015 年 9 月～11 月平均)
- ・ 物価変動： IMF のインフレ率より、業者契約を 2016 年 3 月末として、当初積算時点 (2014 年 7 月) から、15.9% の上昇
- ・ 施工期間： 2016 年 4 月～2016 年 6 月を想定
- ・ その他： 乾季の施工、工事期間中全階立ち入り禁止、仮設足場設置等の条件で積算した。

全 10 校のアスファルト含浸繊維板屋根の教室・校長室・トイレをアルミ亜鉛合金メッキ鋼板に葺き替えるため、母屋材の再塗装を含め 60.6 百万円、母屋材再塗装無で 55.0 百万円を要する。

ギニア側の負担は、M13、R7 校の既設ソーラーパネルの撤去、屋根工事完成後の再接地の約 12 万円である。

第4章 評価及びギニア国側への提言

第4章 評価及びギニア国側への提言

4-1 フォローアップ協力の前提条件

本プロジェクトを実施するために前提となる条件は以下のとおりである。

- ・ 政情不安・暴動等が起こらない。
- ・ 大規模な自然災害が起こらない。
- ・ エボラ出血熱等、健康・衛生に重大な影響を及ぼす事態がない。

4-2 ギニア国側への提言・施設の維持管理方法についての提言

本プロジェクトを実施するために必要なギニア国側への提言は以下のとおりである。

- ・ 対象校・対象校舎が工業者に引き渡され、児童の移動、安全指導がなされる。
- ・ 対象校内の工事用アクセスが確保される。
- ・ 免税措置が取られる。
- ・ 対象校屋根に設置されているソーラーパネルなどが工事開始前に撤去される。

日常的施設維持管理に関し、破損したモルタル、建具、家具等の補修、再塗装を行い、日常清掃を行なう。また、トイレの維持管理を行う。

4-3 フォローアップ協力の評価

以下のとおり、当初計画対象校において生じている雨漏りを補修することは、緊急性が高く、フォローアップ協力事業として妥当であると判断される。

- ・ コナクリ市では、不具合のある教室をすべて使用しても、教室数が不足しており、不具合である雨漏りを解消すると、教育環境改善に大きく貢献し、児童の学習意欲が向上する。
- ・ 直接の裨益対象は、10校、12棟、最上階43教室、2校長室の児童数約2,060人、教員45人である。さらに下層階の教室も上階からの雨漏りを避けることができる。
- ・ トイレの補修・再使用により、衛生環境が改善され、さらに男女別トイレの使用により女子児童の通学意欲が改善される。

別 添 資 料

1. 調査団員の構成

1. 調査団員の構成

(1) フォローアップ協力調査 (2014年7月)

氏名	担当業務	所属
岩本 園子	総括	国際協力機構 セネガル事務所
丸山 隆央	計画管理①	国際協力機構 資金協力業務部
苗村 真喜子	計画管理②	国際協力機構 セネガル事務所
Abdoulaya SOW	協力企画	国際協力機構 セネガル事務所
柿平 康伸	技術監理	国際協力機構 セネガル事務所
南 直行	業務主任／建築計画	八千代エンジニアリング株式会社
車田 輝雄	調達事情／積算	八千代エンジニアリング株式会社
保坂 清人	通訳・翻訳	八千代エンジニアリング株式会社

(2) フォローアップ協力調査 追加調査 (2016年1月)

氏名	担当業務	所属
田中 香織	総括	国際協力機構 セネガル事務所
丸山 隆央	計画管理	国際協力機構 資金協力業務部
Abdoulaya SOW	協力企画	国際協力機構 セネガル事務所
車田 輝雄	調達事情／積算	八千代エンジニアリング株式会社
鈴木 源太郎	通訳・翻訳	八千代エンジニアリング株式会社

2. 現地調査日程表

2. 現地調査日程表

(1) フォローアップ協力調査 (2014年7月)

日順	月日	曜日	JICA	JICA	JICA	JICA	JICA	コンサルタント			
			セネガル事務所	本部	セネガル事務所	セネガル事務所	セネガル事務所	業務主任/建築計画	通訳	調達事情/積算	
			総括	計画管理1	計画管理2	協力企画	技術管理				
			岩本 園子	丸山 隆央	苗村 真喜子	Abdoulaye SOW	柿平 康伸	南 直行	保坂 清人	車田 輝雄	
1	6月29日	日	他用務対応	移動 [羽田 2215 →パリ 0400]				移動 [羽田 2215 →パリ 0400]			
2	6月30日	月	他用務対応	移動 [パリ 1100 →コナクリ 1700]				移動 [パリ 1100→コナクリ 1700]			
3	7月1日	火	国際協力省 表敬 教育省 (MPEUA) 機材局 インセプションレポート説明協議、ミニッツ協議、 教育省地方局 協議、サイト視察(D1, M7)				他用務対応。 教育省地方局協 議、サイト視察(D1, M7)		国際協力省 表敬 教育省機材局 インセプションレポート説明協議、ミニッツ協議、 教育省地方局 協議、サイト視察(D1, M7)		
4	7月2日	水	教育省 SIENSAミニッツ協議、 サイト視察 (M2, MM14, MM5)	サイト視察 (R2, M13, M5, R7, M2, MM14, MM15)	教育省 SIENSAミニッツ署名、 サイト視察 (M2, MM14, MM5)	サイト視察 (R2, M13, M5, R7, M2, MM14, MM15)	協力省 表敬、教育省 ミニッツ協議、 サイト視察 (M2, MM14, MM5)		サイト視察 (R2, M13, M5, R7, M2, MM14, MM15)		
5	7月3日	木	団内会議、ミニッツ署名 コナクリ発						団内会議、ミニッツ署名 サイト視察 (D7, R3)		
6	7月4日	金		移動[一パリ]				調達事情調査(コスト、現地業者等)			
7	7月5日	土		移動[東京着]				調達事情調査(コスト、現地業者等)			
8	7月6日	日					データ整理				
9	7月7日	月					SNIES、国際協力省協議、 調達事情調査(コスト、現地業者等)				
10	7月8日	火					対象校及び調達事情調査(コスト、現地業者等)				
11	7月9日	水					SNIES協議、Plan Guinee打合せ 調達事情調査(コスト、現地業者等)				
12	7月10日	木					UNICEF打合せ 調達事情調査(コスト、現地業者等)				
13	7月11日	金					SNIES協議、国際協力省打合せ、 サイト調査 (R2, R7, M5, M13)				
14	7月12日	土					レポート作成				
15	7月13日	日					レポート作成				
16	7月14日	月					レポート作成・補充調査				
17	7月15日	火					SNIES テクニカルノート案協議 レポート作成				
18	7月16日	水					教育省 補修計画等フィールドレポート説明協議、 テクニカルノート署名				
19	7月17日	木					コナクリーダカール便欠航				
20	7月18日	金					移動 コナクリーダカール→ AF719 2240→				
21	7月19日	土					→ 0610 パリ →				
22	7月20日	日					→東京着				

(2) フォローアップ協力調査 追加調査 (2016年1月)

日順	月日	曜日	JICA セネガル事務所	JICA セネガル事務所	JICA 本部	コンサルタント	
			総括	協力企画	計画管理1	調達事情/積算	通訳
			田中 香織	Abdoulaye SOW	丸山 隆央	車田 輝雄	鈴木 源太郎
1	1月25日	月	他用務対応		移動 [羽田 0030 → パリ 0530] [パリ 1110 → コナクリ 1810]		
2	1月26日	火	計画・国際協力省(MPCI) 表敬 教育省(MEPU-A) 表敬 S/W 説明、協議 公立学校施設機材局(SNIES) S/W 協議、入札図書説明、協議				
3	1月27日	水	他用務対応	S/W 協議、入札図書協議			
			S/W署名 団内会議	S/W署名 団内会議			
			移動[コナクリ→ダカール]				
4	1月28日	木			入札図書配布 業者説明会		
					移動[コナクリ 1945 → ダカール 2110]		
5	1月29日	金			セネガル事務所にて打ち合わせ 移動[ダカール	現場訪問(現況調査)	
6	1月30日	土			移動[→パリ 0620][ハ ^リ 1340	市場価格調査 移動[コナクリ 2310→]	
7	1月31日	日			移動[→ 東京 0935]	移動[→ ハ ^リ 0625 [ハ ^リ 2325 →]	
8	2月1日	月			移動[→ 東京 1925]		

3. 相手国関係者リスト

3. 相手国関係者リスト

<u>Organisation</u> 機関名	<u>Division/service</u> 部/課	<u>Fonction</u> 役職	<u>NOM et Prénom</u> 氏名
Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation (MEPU-A) 初等・中等・識字教育省	Secrétaire Général 事務次官		Soriba SYLLA ソリバ・シラ
	Service National des Infrastructures et Equipements Scolaires (SNIES) 公立学校施設機材局	Directeur Général 局長	Ibrahim CISSE イブライム・シセ
		Directeur Général Adjoint 副局長	Ibrahima Kalil TOURE イブライマ・カリル・トゥレ
		Chef du département des Opérations 運営部長	Mamadou Alpha DOUMBOUYA ママドゥ・アルファ・ドゥンブイ ヤ
		Ingénieur, Point Focal JICA エンジニア、JICA 案件担当	Abdoulaye Koïgaya SQUARE アブドゥライ・コイガヤ・スアレ
		Chef de la cellule des normes standards et gestion du patrimoine 財産規格・管理ユニット長	Abdoulaziz SOUMAH アブデラジズ・スマ
		Spécialiste en passation des marchés 契約締結専門官	Mamadou Aliou DIALLO ママドゥ・アリウ・ディアロ
		Chargé d'études à la passation des marchés 契約締結調査担当	Billo KOUYATE ビロ・クヤテ
	Direction Générale de la Planification des Statistiques et du Développement de l'Education (DGPSDE) 統計計画・教育開発局	Directeur Général 局長	Souleymane CAMARA スレマン・カマラ
		Expert principal en statistique de l'éducation 教育統計主任専門員	El Hadji Malick DIA エル・ハジ・マリック・ディア
Ministère de la Coopération Internationale 国際協力省	Direction Générale Afrique-Asie アフリカ・アジア局	Directeur Général 局長	Jean Mstho DORE ジャン・マト・ドレ
		Directeur Général Adjoint 副局長	Savané Aïssatou DOUKOURÉ サバネ・アイサトオ・ドオコレ
		Chef de la section Afrique-Asie アフリカ・アジア課課長	Almamy Moussa BAH アルマミー・ムサ・パー

<u>Organisation</u> 機関名	<u>Division/service</u> 部/課	<u>Fonction</u> 役職	<u>NOM et Prénom</u> 氏名
		Chef de la section Afrique-Asie アフリカ・アジア課課長	Oumar Sané ウマル・サネ
	Direction Générale de la Coordination des Aides Extérieures 諸外国援助調整局	Chef de Division de la Comptabilité et de la Réception des Aides Extérieures 会計・諸外国援助受領部部長	Bachir DIALLO バシール・ディアロ
		Chef de Section Réception 受領課課長	Mohamed SIDIBE モハメド・シディベ
Ecole Primaire Dixinn Centre 1 (D1)		Directeur 校長	Ibrahima Cherif Haïdra イブライマ・シェリフ・ハイドラ
Ecole Primaire BelleVue Marché (D7)		Directeur 校長	Hadja N'sina Touré ハディジャ・ンシナ・トゥレ
Ecole Primaire Carrière Centre (MM5)		Directeur 校長	Karifa CAMARA カリファ・カマラ
Ecole Primaire Carrière Cité 1 (MM14)		Directeur 校長	ALMAMY SEKOU MANSARE アルマニ・セクー・マンサレ
Ecole Primaire Symbaya 1 (M2)		Directeur 校長	Mamadou TOURE ママドゥ・トゥレ
Ecole Primaire Dabompa (M5)		Directeur 校長	AMARA FOFANA アマラ・フォファナ
Ecole Primaire Gbessia Cité 2 (M7)		Directeur 校長	Ramatoulaye CAMARA ラマトゥライ・カマラ
Ecole Primaire Enta Fassa (M13)		Directeur 校長	El Hadji Sékou TRAORE エル・ハジ・セクー・トラオレ
Ecole Primaire Enta Fassa (M13)		Directeur 校長 (交代)	Falik Keita ファリク・ケイタ
Ecole Primaire Dar-es- salam (R2)		Directeur 校長	Alseiny FOFANA アルセイニ・フォファナ
Ecole Primaire Dar-es- salam (R2)		Directeur 校長 (交代)	Ibrahima Kalil Sylla イブラヒマ・カリル・シラ
Ecole Primaire Kaporo (R3)		Directeur 校長	M'MAH RANGOURA ムマ・ラングラ
Ecole Primaire Sonfonia Gare (R7)		Directeur 校長	IBRAHIMA LALIL SYLLA イブライマ・ラルル・シラ

<u>Organisation</u> 機関名	<u>Division/service</u> 部/課	<u>Fonction</u> 役職	<u>NOM et Prénom</u> 氏名
PLAN Bureau National Conakry PLAN コナクリ事務所		Directeur du projet Education de base 基礎教育プロジェクト主任	Marius Yao BOATENE マリウス・ヤオ・ボアテン
UNICEF Bureau National Conakry ユニセフコナクリ事務所		Chef du programme éducation 教育プログラム主任	Gervais HAVYARIMANA ジェルヴェ・ハヴィヤリマナ
		Spécialiste en éducation 教育専門家	Mamadou Aliou DIALLO ママドゥ・アリウ・ディアロ
Agence Japonaise de CoopéJICA 独立行政法人国際協力機構	Bureau de la JICA au Sénégal セネガル事務所	次長	岩本 園子
		次長	田中 香織
		所員	苗村 真喜子
		企画調査員	柿平 康伸
		所員	Abdoulaye SOW

4. 討議議事録 / テクニカルノート / SW

PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS RELATIVES
L'ÉTUDE DE SUIVI
DU PROJET DE CONSTRUCTION ET D'ÉQUIPEMENT DES ÉCOLES PRIMAIRES
DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE
CONVENU ENTRE
LE GOUVERNEMENT DE LA RÉPUBLIQUE DE GUINÉE
ET
L'AGENCE JAPONAISE DE COOPÉRATION INTERNATIONALE

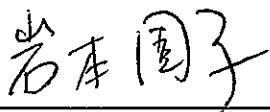
En réponse à la requête du Gouvernement de la République de Guinée (ci-après désignée la « Guinée »), l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée la « JICA ») a décidé de réaliser une Étude de suivi concernant le Projet de construction et d'équipement des écoles primaires dans la ville de Conakry en République de Guinée (désigné ci-après le « projet initial »), achevé en 2004.

Du 30 juin au 3 juillet 2014, la JICA a envoyé en Guinée une mission d'étude de suivi (ci-après désignée la « mission »), dirigée par Madame Sonoko IWAMOTO, chef de bureau à la JICA Sénégal.

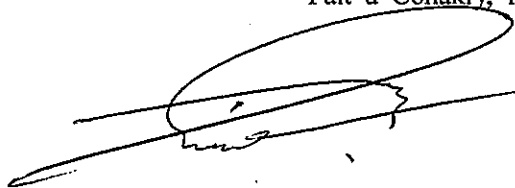
La mission a réalisé une étude sur le terrain dans les écoles construites dans le cadre du projet initial, et mené des consultations avec les personnes concernées du Gouvernement guinéen.

Au terme des consultations, le Gouvernement guinéen et la mission ont confirmé les points essentiels tels qu'indiqués dans le document ci-joint.

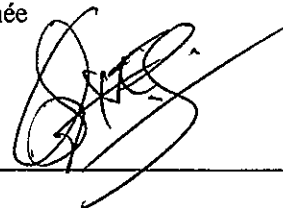
Fait à Conakry, le 3 juillet 2014



Sonoko IWAMOTO
Chef de la mission d'étude de suivi
Chef de bureau
JICA Sénégal



Ibrahima CISSE
Directeur Général du Service National des
Infrastructures et Équipements Scolaires
Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et
de l'Alphabétisation
République de Guinée



Oumar SANE
Chef de Division d'Asie du Sud-Est
Direction Général Afrique-Asie
Ministère de la Coopération internationale
République de Guinée

1. Le système de la coopération de suivi de la JICA

- 1-1 La coopération de suivi a pour objectif de rétablir les fonctions des installations et/ou des équipements en l'état où ils étaient à l'achèvement des travaux du projet initial. Par conséquent, son étendue est limitée aux installations/équipements qui ont été construits/fournis par le projet initial.
- 1-2 La coopération de suivi a pour objectif d'appuyer les efforts de maintenance et de gestion du pays bénéficiaire, et à ce titre, ses intrants sont limités à des éléments d'échelle réduite.
- 1-3 Une coopération de suivi ne peut être requise qu'une seule fois après l'achèvement du projet initial.
- 1-4 L'entrepreneur exécutant les travaux est sélectionné par la JICA par l'intermédiaire de formalités d'appel d'offres.
- 1-5 La construction et la fourniture sont supervisées par un consultant sélectionné par la JICA.
- 1-6 La partie guinéenne a compris le système de la coopération de suivi de la JICA tel qu'indiqué à l'Annexe 4.
- 1-7 En cas de mise en œuvre de la coopération de suivi de la JICA, la partie guinéenne prendra les mesures nécessaires indiquées à l'Annexe 1 pour une exécution fluide du projet.
- 1-8 Après l'achèvement de la coopération de suivi, la partie guinéenne aura la responsabilité d'entretenir et de gérer adéquatement les installations/équipements réhabilités.

2. Objectif de l'étude de suivi et du projet de coopération de suivi

- 2-1 L'objectif du Projet de coopération de suivi est de réhabiliter les toitures des écoles primaires construites par le projet initial. Le Projet de coopération de suivi permettra de rétablir et de maintenir les fonctions des installations.
- 2-2 L'étude de coopération de suivi a pour objectif de clarifier la requête du gouvernement guinéen, ainsi que de collecter les informations nécessaires à la prise de décision par la JICA quant à l'exécution du Projet de coopération de suivi.
- 2-3 La faisabilité du Projet de la coopération de suivi sera déterminée après une analyse supplémentaire effectuée au Japon.

3. Organismes responsables et organismes d'exécution

Les organismes responsables et les organismes d'exécution de la partie guinéenne sont le Service National des Infrastructures et Équipements Scolaires du Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation et la Direction Afrique Asie du Ministère de la Coopération Internationale.

4. Projet initial faisant l'objet du suivi

4-1 Nom du projet initial

Projet de construction et d'équipement des écoles primaires dans la ville de Conakry en République de Guinée (Phase 1/2)

4-2 Sites du projet

11 écoles de la ville de Conakry (conformément à l'Annexe 2)

n

9

4

5. Composantes du Projet de coopération de suivi

Les composantes provisoires du Projet de coopération de suivi sont les suivantes. Elles sont toutefois susceptibles de changer après une analyse supplémentaire au Japon. La JICA communiquera la décision finale à la partie guinéenne d'ici octobre 2014, par l'intermédiaire du bureau de la JICA au Sénégal.

(1) Principales composantes

1) Réhabilitation des toitures des salles de classe et des autres structures

2) Assistance technique

- Réalisation d'un manuel relatif à la maintenance et à la gestion des installations scolaires, y compris la maintenance et la gestion des toitures
- Mise en œuvre d'un stage de formation de courte durée dans les domaines de la maintenance et de la gestion des installations scolaires, y compris la maintenance et la gestion des toitures

(2) Critères de sélection, ordre de priorité pour la sélection des écoles faisant l'objet du Projet de coopération de suivi

L'ordre de priorité pour la sélection des écoles faisant l'objet du Projet de coopération de suivi est tel qu'indiqué ci-après. Parmi les écoles primaires ayant des installations dysfonctionnelles, celles où l'exécution des travaux présenterait des difficultés pour des raisons de sécurité publique, d'accessibilité, etc., seront exclues de l'objet du Projet de coopération de suivi. Seront également exclues les écoles pour lesquelles il serait difficile d'assurer les budgets et les effectifs nécessaires à la maintenance et à la gestion, même après que celles-ci aient été réhabilitées.

1) Ordre de priorité pour les écoles faisant l'objet du Projet de coopération de suivi

- a) Écoles primaires où des salles de classe, etc., inutilisables, parce qu'inondées à cause d'infiltrations d'eau pendant la saison des pluies
- b) Écoles primaires où des salles de classe, etc., présentant de légères infiltrations d'eau pendant la saison des pluies
- c) Écoles primaires où existent des dysfonctionnements autres que les infiltrations d'eau

2) Ordre de priorité pour les composantes faisant l'objet du Projet de coopération de suivi

Une réponse sera étudiée selon l'ordre suivant.

- a) Salles de classe devenant inutilisables parce qu'inondées à cause d'infiltrations d'eau pendant la saison des pluies
- b) Bureaux de directeur/magasins devenant inutilisables à cause d'infiltrations d'eau pendant la saison des pluies
- c) Dysfonctionnements des toilettes, dysfonctionnements autres que les infiltrations d'eau

h

g

h

6. Calendrier

Le calendrier provisoire du Projet de coopération de suivi est conforme à l'Annexe 3. Le calendrier est toutefois susceptible de changer après une analyse supplémentaire effectuée au Japon. La JICA communiquera la décision finale à la partie guinéenne d'ici octobre 2014, par l'intermédiaire du bureau de la JICA au Sénégal.

7. Principaux points à la charge de la partie guinéenne et de la JICA

La partie guinéenne et la JICA ont convenu de prendre les mesures nécessaires telles qu'indiquées à l'Annexe 1 pour une mise en œuvre fluide du Projet de coopération de suivi.

8. Constats préliminaires de l'étude de coopération de suivi

8-1 État d'utilisation, de maintenance et de gestion des installations

- (1) L'exécution du Projet initial avait pour objet d'atténuer l'état de saturation des salles de classe en réduisant le nombre d'élèves de 114 à 89 élèves par classe dans les écoles existantes. Il prévoyait aussi de limiter un effectif de 72 élèves par classe dans les écoles nouvellement construites. Les effectifs des élèves des écoles ciblées du projet initial, dans lesquelles l'étude sur le terrain a été effectuée dans le cadre de la présente étude, sont les suivants.

Le nombre d'effectif de l'école Dixinn Centre 1 en l'année scolaire 2013/2014

	CP1	CP2	CE1	CE2	CM1	CM2
Nombre de classe	7	6	5	5	6	4
Fille	193	171	164	103	98	91
Garçon	149	113	128	117	98	95
Effectif total	342	284	292	220	196	186

Le nombre d'effectif de l'école Gbessia Cité 2 en l'année scolaire 2013/2014

	CP1	CP2	CE1	CE2	CM1	CM2
Nombre de classe	4	4	4	4	5	5
Fille	102	135	138	134	100	145
Garçon	112	93	106	101	104	133
Effectif total	214	228	244	235	204	278

- (2) Dans les écoles visitées dans le cadre du projet initial (Dixinn centre1 et Gbessia Cité 2), la mission a constaté des effets positifs découlant du projet tels que l'augmentation du taux de recrutement au CP1 et aussi la réduction des effectifs pléthoriques au niveau de chaque salle de classe.
- (3) Malgré les efforts fournis par le Gouvernement guinéen dans le domaine de la maintenance et de l'entretien des écoles ; il reste beaucoup à faire et cela en raison des contraintes budgétaires et de priorisation des activités liées aux maintenances et aux entretiens.
- (4) La partie guinéenne a expliqué le système de ressources financières pour la gestion et maintenance des

Handwritten mark

Handwritten mark

Handwritten mark

infrastructures et équipement scolaire qui est basé sur :

- le budget de l'Etat :
- la subvention à partir du fonds commun :
- la cotisation de l'Association des Parents d'Elève et Ami de l'Ecole.

8-2 État des installations

Parmi les 11 écoles cibles du projet initial, les deux parties ont constaté que celles où l'urgence est forte sont les 5 ci-dessous. La mission a visité les écoles de Dixinn centre 1 et de Gbessia Cité 2 dont les salles de classe connaissent des infiltrations pendant la saison des pluies. Ainsi, ces 2 écoles connaissent des perturbations dans l'organisation des cours. Concernant l'état des installations de chaque école, le consultant continuera l'étude sur le terrain jusqu'au 17 juillet 2014 après le retour de la mission au Japon, et confirmera l'état des installations dans la Note Technique.

- Dixinn Centre 1 (bâtiment scolaire rez-de-chaussée et 2 étages, 12 classes ; toilettes)
- Carrière Centre (bâtiment scolaire rez-de-chaussée et 2 étages, 6 classes et toilettes)
- Dabompa (bâtiment scolaire rez-de-chaussée et 1 étage, 8 classes ; toilettes)
- Gbessia Cité 2 (bâtiment scolaire rez-de-chaussée et 2 étages, 9 classes ; toilettes)
- Enta Fassa (bâtiment scolaire rez-de-chaussée et 2 étages, 12 classes, bâtiment scolaire rez-de-chaussée et 2 étages, 9 classes [y compris bureau du directeur et magasin(s)] ; toilettes)

9. Autres points concernés

9-1 À propos du Projet de coopération de suivi

- (1) La mission a expliqué que la réhabilitation des toitures par le Projet de coopération de suivi sera la dernière mesure de réponse de la JICA concernant les infiltrations d'eau, et la partie guinéenne a indiqué son accord.
- (2) Concernant l'exonération des droits de douane, impôts, taxes et autres contributions en Guinée, dont bénéficieront les ressortissants japonais pour la fourniture de produits et de services relatifs au Projet de coopération de suivi, la mission a requis de la partie guinéenne la prise de mesures nécessaires avant l'avis public relatif au présent Projet de coopération de suivi, et la partie guinéenne a marqué son accord.
- (3) Concernant l'exonération des droits de douane, impôts, taxes, relative à l'achat de matériaux pour le Projet de coopération de suivi, la mission a requis de la partie guinéenne la prise de mesures nécessaires avant le démarrage des travaux, et la partie guinéenne a indiqué son accord.
- (4) La mission a requis de la partie guinéenne la mise à disposition, à l'étape de l'exécution du Projet de coopération de suivi, d'un bureau pour le consultant japonais au Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation, et la partie guinéenne a marqué son accord.

La partie guinéenne a marqué son accord sur le fait qu'un consultant japonais supervisera l'exécution des travaux à l'étape de la mise en œuvre du Projet de coopération de suivi, et que la JICA sélectionnera l'entrepreneur des travaux en tenant compte du code des marchés publics guinéen.

A

4

B

10. Calendrier provisoire

Août - septembre 2014 : Analyse au Japon
Octobre 2014 : Signature de l'étendue des travaux (E/T)
Octobre 2014 : Avis public d'appel d'offres
Novembre 2014 : Soumissions et contrat
Décembre 2014 - février 2015 : Travaux

Annexe 1 : Principaux points à la charge de la partie guinéenne et de la JICA

Annexe 2 : Liste des écoles cibles du projet initial

Annexe 3 : Calendrier provisoire concernant l'étude de la coopération de suivi et le Projet de coopération de suivi

Annexe 4 : Aperçu du système de la coopération de suivi



Principaux points à la charge de la partie guinéenne et de la JICA

	Élément	Points à la charge de la JICA	Points à la charge du gouvernement de la Guinée
1	Portail provisoire, clôture provisoire et montage des échafaudages dans les sites de travaux de réhabilitation des toitures et aux alentours	●	
2	Garantie d'un déchargement et de formalités douanières rapides lors du débarquement dans le port en Guinée		
	1) Transport maritime et aérien vers la Guinée des produits provenant du Japon ou de pays tiers	●	
	2) Exonération de taxes et de formalités douanières lors du débarquement au port		●
	3) Transport domestique depuis le port de débarquement jusqu'au site du Projet de coopération de suivi	●	
3	Accord pour l'entrée et le séjour, dans le pays bénéficiaire, des ressortissants Japonais travaillant à la fourniture des produits et des services relatifs au Projet de coopération de suivi		●
4	Exonérer les ressortissants Japonais des droits de douane, impôts, taxes et autres contributions qui pourraient être perçues en Guinée concernant la fourniture des produits et des services relatifs au Projet de coopération de suivi		●
5	Exonérer des taxes internes TVA et autres impôts en vigueur en République de Guinée concernant l'achat de matériaux		●
6	Effectuer la maintenance et la gestion des installations et/ou des équipements réhabilités par le Projet de coopération de suivi et utiliser ceux-ci adéquatement et efficacement		●
7	Parmi les coûts considérés nécessaires pour le Projet de coopération de suivi, prendre en charge l'intégralité des éléments autres que ceux à la charge de la JICA		●

Liste des écoles cibles du projet initial

No.	Nom de l'établissement	Nombre de salles de classe	Bureau du directeur/magasin	Toilettes (cabinets)	Lavabos/ nombre de robinets
D1	Dixinn Centre 1	12	Non	10	Non
D7	Belle-Vue Marché	9	Non	8	Non
MM5	Carrière Centre	6	Non	6	Non
MM14	Carrière Cité 1	8	Non	8	Oui/3
M2	Simbaya	10	Non	8	Oui/3
M5	Dabompa	8	Non	8	Non
M7	Gbessia Cité 2	9	Non	8	Non
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	21	Oui	18	Oui/3
R2	Dar-es-salam	6	Non	6	Oui/2
R3	Kaporo	6	Non	6	Non
R7	Sonfonia Gare	16	Oui	14	Oui/3
Total		111	2	100	5/14

A




Calendrier provisoire concernant l'étude de la coopération de suivi et le Projet de coopération de suivi

	2014-2015							
	Juillet	Août	Septembre	Octobre	Novembre	Décembre	Janvier	Février
Étude sur place	■							
Analyse au Japon		■	■					
Signature de l'E/T				▲				
Avis public appel d'offres				▲				
Évaluation des soumissions, contrat avec l'entrepreneur					▲			
Travaux						■	■	■
Formation de courte durée à l'entretien et à la gestion								▲
Inspection des travaux achevés								▲

A

B

Aperçu du système de la coopération de suivi

1 Grandes lignes de la coopération de suivi

1-1 Objectifs de la coopération de suivi

La coopération de suivi mise en place par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA) a pour but de fournir un soutien supplémentaire et complémentaire à la coopération antérieure du Japon (équipement fourni/acquis et installations construites dans le passé grâce à la coopération technique de la JICA ou à l'octroi d'aides par le Gouvernement du Japon). Après l'achèvement de la coopération japonaise, la responsabilité de maintenir et de gérer les équipements ou les installations de projets revient principalement au pays bénéficiaire. Cependant, de temps en temps, il y a des cas où le pays bénéficiaire a des difficultés pour l'entretien approprié en raison de problèmes financiers, organisationnels, et/ou techniques qu'il n'avait pas prévus. Il y a aussi des cas où les équipements ou les installations ne fonctionnent plus ou ne fonctionnent pas correctement en raison de catastrophes naturelles ou pour d'autres raisons. Dans de tels cas, la JICA aidera le pays bénéficiaire à réparer ou à réaliser des travaux de réhabilitation comme soutien supplémentaire, à restaurer ses fonctions, et assurera ainsi la prolongation de la vie des équipements/installations. De cette façon, la JICA continuera de contribuer à l'autosuffisance du pays bénéficiaire.

1-2 Projets éligibles pour la coopération de suivi

Les projets antérieurs, les organisations et les individus des homologues, les ex-participants, etc., qui sont éligibles pour la coopération de suivi sont décrits ci-dessous. En principe, les projets éligibles pour la coopération de suivi du type matériel sont ceux qui ont pris fin dans les quinze dernières années. En ce qui concerne la fourniture de pièces de rechange à des fins de réparation/remise en état, il convient de noter que les consommables tels que le papier d'impression, le toner, les pneus pour véhicules, le carburant, etc. ne sont pas inclus dans son principe.

Les projets, organisations et les ressources humaines éligibles pour la coopération de suivi sont les suivants :

Projets d'aide non-remboursable

- Aide financière non-remboursable pour les projets généraux et pour la pêche
- Aide financière non-remboursable pour augmentation de la production alimentaire (KR2) ; toutefois, seules les machines agricoles qui appartiennent aux organismes gouvernementaux sont admissibles pour la coopération de suivi.

Projets de coopération technique

- Matériel fourni par les projets de coopération technique (incluant l'envoi d'équipe des volontaires

japonais pour la coopération à l'étranger (JOCV), experts individuels, etc.) ou les installations construites sous lesdits projets de coopération

- Organisations des homologues et les homologues pour les projets de coopération technique ainsi que des experts individuels
- Organisations des homologues et les homologues pour les volontaires japonais pour la coopération à l'étranger (JOCV) et pour les volontaires seniors pour la coopération à l'étranger
- Ex-participants/stagiaires (incluant les individus qui ont participé au programme de formation dans le pays tiers, à l'exclusion des ex-participants de programme d'invitation des jeunes)
- Association des ex-participants/stagiaires
- Organisation de soutien au Japon pour des projets de coopération technique

1-3 Critères pour la sélection de projets

Lorsque le gouvernement du pays bénéficiaire souhaite la coopération de suivi, il va d'abord déposer une demande auprès du bureau local de la JICA. (S'il n'y a pas de bureau de la JICA dans le pays bénéficiaire, la demande doit être déposée auprès de l'Ambassade du Japon.)

Les critères de sélection d'un projet de demande de coopération de suivi sont expliqués succinctement ci-après :

- En règle générale, pas plus de 15 ans depuis la réalisation du projet de coopération ou d'octroi d'aide technique.
- L'arrière-plan, les problèmes etc. qui nécessitent la coopération de suivi doivent être clarifiées suffisamment dans la demande.
- La raison pour laquelle le pays bénéficiaire ne peut pas faire face à ces problèmes par ses propres efforts d'auto-assistance doit être clarifiée (informations détaillées et raisons concernant les questions liées à la maintenance et à la gestion des équipements ou des installations fournies par le Japon sont particulièrement importantes).
- Le projet demandé doit avoir de bonnes perspectives en termes de développement durable après l'achèvement de la coopération de suivi.
- L'état des objectifs originaux à atteindre et des règles de conformité établies ou promises dans les accords initiaux (minutes, procès-verbal des discussions, échange de notes, etc.) de projets initiaux (aide financière non-remboursable ou les projets de coopération technique) doivent être confirmés. Et la relation entre le statut susmentionné et le projet de suivi demandé doit être bien expliquée.
- Les implications du projet demandé avec le plan de mise en œuvre de projets de la JICA spécifique au pays doivent être bien clarifiées.
- Les éventuels résultats, les effets ou l'impact de la coopération de suivi doivent être bien clarifiées.
- Il ne doit avoir aucun impact négatif dû à l'exécution de la coopération de suivi particulièrement en cas de travaux de réhabilitation d'urgence à grande échelle qui sera administré par les initiatives et

~

~

~

gestion du bureau de la JICA à l'extérieur.

- Concernant les dépenses pour un projet de coopération de suivi, il convient de noter que chaque projet a sa propre limitation budgétaire. Une enquête devrait être formulée auprès du département de Suivi à la Direction régionale du Siège de la JICA Tokyo..

1-4 Dérroulement de la coopération de suivi

(1) Requêtes pour les projets de la coopération de suivi

Le pays partenaire est prié de soumettre une requête formelle en utilisant le formulaire d'application pour la Coopération de Suivi (en principe, rempli en anglais) conservé dans chaque bureau de la JICA à l'étranger. Par la suite, le bureau de la JICA à l'étranger ou le siège de la JICA va sélectionner les projets demandés. Toutefois, dans le cas de la fourniture d'équipements ou de pièces de rechange devant être achetés au Japon, même si le formulaire A4 doit être soumis à l'Ambassade du Japon ou au bureau de la JICA à l'étranger au moment de l'acquisition réelle, ce formulaire A4 n'a pas besoin d'être soumis avec le formulaire de requête. Il doit être présenté lorsque le projet demandé est officiellement adopté et les détails de pièces d'équipement, les spécifications et les quantités seront finalisés par la JICA.

(2) Sélection et adoption

Les projets de coopération du suivi qui (1) nécessitent l'étude dans le pays demandeur, (2) impliquent l'exigence importante des coûts, ou (3) ont besoin d'acheter du matériel au Japon seront adoptés par un comité de sélection de projets au siège de la JICA. En principe, le siège de la JICA informera son bureau à l'étranger de ses points de vue sur l'état de la demande dans les 2 mois après le dépôt de la demande. Pour les projets qui sont relativement de petite échelle, par exemple pour la réalisation des séminaires ou d'ateliers, de poursuivre des enquêtes ou des recherches en conformité avec la coopération d'origine de la JICA, et la réalisation d'un projet pour lequel les équipements pourrait être achetés sur place, la sélection et l'adoption des projets seront faites au bureau de la JICA à l'étranger sur la base des critères de sélection mentionnés ci-dessus.

(3) Mise en œuvre du projet, suivi et des relations publiques

Au stade de la mise en œuvre du projet, un bureau de la JICA à l'étranger ou une mission d'étude de suivi supervisera le projet de coopération de suivi sur place. L'organisation sélectionnée pour la coopération de suivi sera priée de préparer et soumettre des documents et des données pour clarifier l'état de la mise en œuvre et les résultats. En outre, les organisations concernées devront prendre la responsabilité de bien gérer les dépenses pour les séminaires, ateliers, études et recherches et d'autres activités financées de façon pertinente. Par ailleurs, il est souhaitable que la coopération soit largement diffusée parmi les peuples du pays bénéficiaire, au début et à la fin du projet.

(4) Rapport après la coopération de suivi

Après l'achèvement d'un projet de coopération de suivi, un rapport d'achèvement du projet doit être

préparé et soumis au bureau de la JICA à l'étranger. Habituellement, le rapport doit être présenté dans le mois qui suit l'achèvement. Toutefois, il y a des cas où la JICA demande la transmission de rapports sur une base régulière afin de suivre et évaluer les résultats de la coopération.

2 Mise en œuvre de l'étude

2-1 Statut de l'étude de suivi

L'étude de coopération de suivi sera conduite par la JICA, ou un consultant engagé par la JICA, s'il est considéré nécessaire de confirmer les détails de l'arrière-plan et du contenu d'un projet de coopération de suivi ayant été requis, ou s'il existe des ambiguïtés concernant ses méthodes de mise en œuvre et l'estimation des coûts. L'étude sera divisée en deux étapes, à savoir l'étude sur le terrain, réalisée dans le pays bénéficiaire, et la préparation, à titre de résultat de l'analyse effectuée au Japon. L'étude couvrira les éléments principaux suivants :

- Confirmation de l'arrière-plan du projet
- Confirmation du système de maintenance et de gestion mis en œuvre, et à appliquer, par l'organisme concerné du pays bénéficiaire
- Confirmations de l'état de non-fonctionnement/dysfonctionnement de l'équipement et des installations concernées
- Clarification des pièces détachées/composantes requises et confirmation de leur ordre de priorité
- Confirmation des mesures devant être prises par le pays bénéficiaire
- Confirmation des effets et des implications de la coopération de suivi
- Préparation d'un plan de coopération de suivi (plan de réfection/réhabilitation ; spécifications, plan d'action, etc.)
- Estimation des dépenses de la coopération de suivi
- Rapports/retour d'information à la JICA sur les leçons apprises et les propositions pour de futures coopérations, le cas échéant

Il est important que les deux parties comprennent qu'au stade de l'étude, aucun engagement n'est pris de la part de la partie japonaise concernant la réalisation de la coopération de suivi. Le rapport final sera utilisé par le Gouvernement japonais pour décider si oui ou non certaines composantes de la coopération de suivi seront exécutées par le système de l'aide financière non-remboursable.

FIN



(仮訳)

ギニア共和国コナクリ市小学校建設計画フォローアップ調査
に係る
ギニア政府と国際協力機構との間の
協議議事録

ギニア共和国（以下、「ギニア」と称す）政府からの要請に基づき、国際協力機構（以下、「JICA」と称す）は、2004年に完了したコナクリ市小学校建設計画（以下、当初計画と称す）に係るフォローアップ調査の実施を決定した。

JICAは、JICAセネガル事務所次長である岩本園子を団長として、フォローアップ調査団（以下、「調査団」と称す）をギニア国に2014年6月30日から7月3日にかけて派遣した。

調査団は、当初計画により建設された小学校への現地調査を行うとともに、ギニア国政府関係者との協議を行った。

現地調査及び協議の結果、ギニア国政府及び調査団は別添のとおり主要な事項を確認した。

2014年7月3日 コナクリ市

岩本 園子
フォローアップ調査団長
次長
JICA セネガル事務所

Ibrahima CISSE
公立学校施設機材局長
初等中等・識字省
ギニア共和国

Oumar SANE
東南アジア課長
アフリカ・アジア局
国際協力省
ギニア共和国

1. JICA のフォローアップ協カスキーム

- 1-1 フォローアップ協カは当初計画の完工時の状態に施設及び/または機材の機能を回復することを目的とする。従って、フォローアップ協カのスコープは当初計画により建設/調達された施設/機材に限られる。
- 1-2 フォローアップ協カは、受益国により維持管理の努力を支援することを目的とするので、その投入を小規模なものに限る。
- 1-3 フォローアップ協カは当初計画の完了後、一回のみ申請することができる。
- 1-4 施工業者は、入札手続を経て JICA により選定される。
- 1-5 建設及び調達は JICA により選定されるコンサルタントにより監理される。
- 1-6 ギニア側は付属書 4 のとおり JICA のフォローアップ協カスキームについて理解した。
- 1-7 ギニア側は、JICA のフォローアップ協カが実施される際には、プロジェクトの円滑な実施のため、付属書 1 に記載されたとおり必要な措置を講じる。
- 1-8 フォローアップ協カの終了後、ギニア側は修復された施設/機材を適切に維持管理する責任を負う。

2. フォローアップ調査及びフォローアップ協カプロジェクトの目的

- 2-1 フォローアップ協カプロジェクト（以下、「F/U 協カプロジェクト」と称す）の目的は、2004 年に当初計画により建設された小学校屋根を修復することである。F/U プロジェクトを通じ、施設の機能が回復され、維持されることが期待される。
- 2-2 フォローアップ調査（以下、「F/U 協カ調査」と称す）は、ギニア政府による要請を明確にし、F/U 協カプロジェクト実施に係る JICA の意思決定のために必要な情報を収集することを目的とする。
- 2-3 F/U 協カプロジェクトの実行可能性は、本邦におけるさらなる解析後に決定される。

3. 責任・実施機関

ギニア側の責任・実施機関は、ギニア国初等中等教育・識字省公立学校施設・機材局及び国際協力省アジア・アフリカ局である。

4. フォローアップの対象となる当初計画

- 4-1 当初計画のプロジェクト名
コナクリ市小学校建設計画（1/2 期）
- 4-2 プロジェクトサイト
コナクリ市 11 校（付属書 2 のとおり）

5. F/U 協カプロジェクトのコンポーネント

F/U 協カプロジェクトの暫定コンポーネントは以下のとおりである。しかしながら、コンポーネントは本邦におけるさらなる解析の後、変更される可能性がある。JICA は、JICA セネガル事務所を通じ、ギニア側に 2014 年 10 月までに最終決定を伝達する。

(1) 主要なコンポーネント

- ・ 教室等の屋根の修復
- ・ 技術支援
 - 屋根の維持管理を含む学校施設の維持管理に係るマニュアルの作成
 - 屋根の維持管理を含む学校施設の維持管理に係る短期研修の実施

(2) F/U 協カプロジェクト対象校の選定に係る選定基準・優先順位、修復方針

F/U 協カプロジェクト対象校の選定に係る優先順位は、以下のとおりである。施設の不具合のある小学校のうち、工事の実施が治安、アクセス等の理由により困難な小学校は、F/U 協カプロジェクトの対象から除く。また、修復を行ったとしても、維持管理に必要な予算・人員の確保が困難な小学校は対象から除外する。

1) F/U 協カプロジェクト対象校に係る優先順位

- ① 雨季に雨漏りにより教室等が水浸しとなり、使用不能になる教室等を有する小学校
- ② 雨季に軽度の雨漏りのある教室等を有する小学校
- ③ 雨漏り以外の不具合のある小学校

2) F/U 協カプロジェクト対象コンポーネントに係る優先順位

以下の順で対応を検討する。

- ① 雨季に雨漏りにより教室が水浸しとなり、使用不能となる教室
- ② 雨季に雨漏りにより使用不能となる校長室・倉庫
- ③ 便所、雨漏り以外の不具合

6. スケジュール

F/U 協カプロジェクトの暫定スケジュールは、付属書 3 のとおりである。しかしながら、スケジュールは本邦におけるさらなる解析の後、変更される可能性がある。JICA は、JICA セネガル事務所を通じ、ギニア側に 2014 年 10 月までに最終決定を伝達する。

7. ギニア側及び JICA による主要な負担事項

ギニア側及び JICA は、F/U 協カプロジェクトの円滑な実施のため付属書 1 に示されるとおり、必要な措置を講じることを合意した。

8. フォローアップ協カ調査における最初の確認事項

8-1. 施設の活用・維持管理状況

- (1) 当初計画では、計画の実施により、既存校における 1 教室あたりの児童数を 114 名から 89 名に減少させ、教室の過密状況を緩和させる計画であった。また、新設校において 1 教室あたり 72 名の児童が可能となることが計画された。今次調査において現地調査を行った当初計画対象校の児童数は、以下のとおり。(略)
- (2) 調査団は、当初計画の対象校のうち現地視察を行った 2 校 (Dixinn Centre 1, Gbessia Cite 2) に

において、当初計画により第一学年における就学率の向上や各教室の過剰な児童数の削減などの正のインパクトがあったことを確認した。

- (3) ギニア政府による学校施設の維持管理に係る努力にも関わらず、維持管理のために必要な活動が多数ある一方で予算制約により、維持管理に係る活動に優先順位を付さざるを得ない。
- (4) ギニア側は、学校施設・機材の維持管理に関し、以下の予算措置の方法があると説明した。
 - 国家予算
 - 共通資金からの補助金
 - 父母会による寄付金

8-2 施設の状態

両者は、当初計画の対象校 11 校のうち緊急度の高い小学校は以下の 5 校であると指摘した。調査団は、雨季に雨漏りが発生する教室を有する Dixinn Centre 1 及び Gbessia Cite 2 を視察した。雨季の雨漏りにより教室を使用できなくなるにより、それら 2 校では学校運営及び授業に支障が生じている。各小学校の施設の状態は、調査団帰国後、2014 年 7 月 17 日まで引き続きコンサルタントが現地調査を行い、テクニカルノートにおいて確認する。

- ・ Dixinn Centre1 校 (3 階建 12 教室棟、便所棟)
- ・ Carriere Centre (3 階建 6 教室棟、便所棟)
- ・ Dabompa 校 (2 階建 8 教室棟、便所棟)
- ・ Gbessia Cite 2 校 (3 階建 9 教室棟、便所棟)
- ・ Enta Fassa 校 (3 階建 12 教室棟、3 階建 9 教室棟 (校長室・倉庫を含む)、便所棟)

9. その他の関連事項

9-1 F/U 協力プロジェクトについて

- (1) 調査団は、F/U 協力プロジェクトによる屋根の修復は JICA による雨漏りに係る最後の対応策であることを説明し、ギニア側は了承した。
- (2) F/U 協力プロジェクトに係る物品及びサービスの提供に関し、ギニア国内で課される関税、税、その他の徴税を日本国民から免除することに関し、本 F/U 協力プロジェクトに係る公示前に必要な措置を講じることを調査団はギニア側に要請し、ギニア側はこれを了承した。
- (3) F/U 協力プロジェクトに係る資材の購入に関し、関税、税の免税について、工事着工前に必要な措置を講ずることを調査団はギニア側に要請し、ギニア側はこれを了承した。
- (4) F/U 協力プロジェクトの実施段階における本邦コンサルタントのための執務室を初等・中等・市民教育省内に確保するよう調査団はギニア側に要請し、ギニア側はこれを了承した。
- (5) ギニア側は、F/U 協力プロジェクトの実施段階における施工監理を本邦コンサルタントが行い、ギニア国の公共調達法を参照しつつ JICA が施工業者の選定を行うことを了承した。

10. 暫定スケジュール

2014 年 8 月～9 月： 国内解析

2014年10月： S/W署名

2014年10月： 入札公示

2014年11月： 入札・契約

2014年12月～2015年2月： 本体工事

付属書1 ギニア側及びJICAによる主要な負担事項

付属書2 当初計画の対象校リスト

付属書3 F/U協力調査及びF/U協力プロジェクトに係る暫定スケジュール

付属書4 F/U協カスキームに係る概要

ギニア側及びJICAによる主要な負担事項

	項目	JICAによる負担 事項	ギニア政府による 負担事項
1	屋根修復工事現場内及び周辺における仮入口及び仮囲い、足場の建設	●	
2	ギニア港における陸揚げの際の迅速な積み下ろし及び通関手続の保証		
	1) 本邦または第三国からギニアへの物品の海送及び空送	●	
	2) 港陸揚げにおける免税及び通関手続		●
	3) 港陸揚げからF/U協力プロジェクトサイトまでの国内輸送	●	
3	F/U協力プロジェクトに係る物品及びサービス提供に従事する日本国民が受益国に入国し、滞在することの同意		●
4	F/U協力プロジェクトに係る物品及びサービスの提供に関し、ギニア国内で課される関税、税、その他の徴税を日本国民から免除すること		●
5	資機材の調達に際しギニア国内で課される付加価値税及びその他の税金の免除		●
6	F/U協力プロジェクトにより修復された施設及び/または機材を維持管理し、適切かつ効果的に活用すること		●
7	F/U協力プロジェクトのために必要とされる費用のうち、JICAにより負担されるもの以外の全てを負担すること		●

当初計画の対象校リスト

No.	学校名	教室数	校長室/倉庫	便所 (ブース)	手洗洗場/ 水洗数
D1	Dixinn Centre 1	12	無	10	無
D7	Belle-Vue Marché	9	無	8	無
MM5	Carrière Centre	6	無	6	無
MM14	Carrière Cité 1	8	無	8	有/3
M2	Simbaya	10	無	8	有/3
M5	Dabompa	8	無	8	無
M7	Gbessia Cité 2	9	無	8	無
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	21	有	18	有/3
R2	Dar-es-salam	6	無	6	有/2
R3	Kaporo	6	無	6	無
R7	Sonfonia Gare	16	有	14	有/3
計		111	2	100	5/14

F/U 協カプロジェクトの概要

1 Outlines of the Follow-up Cooperation

1-1 Objectives of Follow-up Cooperation

The follow-up cooperation implemented by Japan International Cooperation Agency (JICA) has objectives to provide additional and supplementary support to the past cooperation of Japan (i.e., equipment supplied/procured and facilities constructed in the past through technical cooperation by JICA or grant aid by the Government of Japan). At the stage after the completion of Japanese cooperation, the responsibility for maintaining and managing the project's equipment or facilities lies primarily with the recipient country. However, occasionally there are some cases where the recipient country finds difficulties in appropriate maintenance due to its financial, organizational, and/or technical problems which it did not anticipate. There are also cases where the equipment or facilities do not operate or function properly due to natural disasters or other reasons. In such cases, JICA will assist the recipient country in repairing or conducting rehabilitation works as JICA's additional support, to restore their functions, and thus to secure the prolongation of the equipment's/facilities' life. In this way, JICA will further contribute to the self-reliance of the recipient country.

1-2 Eligible Projects for Follow-up Cooperation

The past projects, counterpart organizations, individual counterparts, ex-participants, etc., which may be eligible for follow-up cooperation are described below. In principle, eligible projects for hardware-type follow-up cooperation are those which ended within the past 15 years.

With regard to the supply of spare parts for repair/restoration purposes, it should be noted that consumables such as printing paper, toner, tires for vehicles, gasoline, etc. are not included in principle.

The projects, organizations, and human resources eligible for follow-up cooperation are as follows:

Grant Aid Projects

- Projects for general grant aid and fisheries grant aid
- Grant aid for increase of food production (2KR); however, only agricultural machinery that belongs to a government organization is eligible for the follow-up cooperation

Technical Cooperation Projects

- Equipment provided through a technical cooperation project (including Japan Overseas Cooperation Volunteers (JOCV) team dispatch, individual experts, etc.) or facilities constructed under the said cooperation project

- Counterpart organizations and counterparts for technical cooperation projects as well as individual experts
- Counterpart organizations and counterparts for Japan Overseas Cooperation Volunteers (JOCV) and Senior Overseas Volunteers
- Ex-participants (including individuals who participated in a third-country training program, but excluding ex-participants of Youth Invitation Program)
- Alumni associations of ex-participants
- Supporting organizations in Japan for technical cooperation projects

1-3 Criteria for Selecting Projects

When a recipient country's government desires follow-up cooperation, it will first file an application with the local JICA overseas office. (If there is no JICA overseas office in the recipient country, the application should be filed with the Japanese Embassy.)

The criteria for selecting a requested follow-up cooperation project are explained briefly as follows:

- As a rule, not more than 15 years shall have passed since the technical cooperation or grant aid project has finished.
- The background, issues, etc. which necessitate the follow-up cooperation must be sufficiently clarified in the application.
- The reason why the recipient country cannot cope with such issues with its self-help efforts must be clarified. (Detailed information and reasons concerning the issues related to maintenance and management of the equipment or facilities provided by Japan are particularly important.)
- The requested project must have good perspectives in terms of its sustainable development after the follow-up cooperation finishes.
- The status of the original achievement targets and compliance rules established or promised in the initial agreements (minutes, R/D, E/N, etc.) of the initial projects (grant aid or technical cooperation projects) must be well confirmed. And the relationship between the above-mentioned status and the requested follow-up project must be explained well.
- The implications of the requested project with the country-specific project implementation plan of JICA must be clarified well.
- The possible results, effects or impact of the follow-up cooperation must be clarified well.
- There must not be any negative impact by the execution of the follow-up cooperation project (especially in case of a large scale emergency rehabilitation work which will be administered by JICA overseas office initiatives and management).
- With regard to expenditures for a follow-up cooperation project, it should be noted that each project has its own budgetary limitation. An inquiry should be made to the Follow-up Division, Regional Department 1 of JICA Headquarters in Tokyo.

1-4 Follow-up Cooperation Flow

(1) Requests for Follow-up Cooperation Projects

The partner country is required to submit a formal request by using a Follow-up Cooperation Application Form (in principle, to be filled in English) kept at each JICA overseas office. Thereafter, the JICA overseas office or JICA Headquarters will select from the requested projects. However, in case of the supply of equipment or its spare parts to be procured in Japan, although Form A4 must be submitted to the Japanese Embassy or JICA overseas office by the time of the actual procurement, this A4 Form need not be submitted together with Application Form. It must be submitted when the requested project is officially adopted by JICA and the details of equipment items, specifications, and quantities are finalized by JICA.

(2) Selection and Adoption

The follow-up projects which (1) need study in the requesting country, (2) involve a large cost requirement, or (3) need to procure equipment in Japan will be adopted by a project selection committee at JICA Headquarters. In principle, JICA Headquarters will inform its overseas office of the views concerning the status of the request within two months after the submission of the application. With regard to projects that are relatively small-scaled, for instance for realizing seminars or workshops, continuing surveys or research in accordance with the original JICA's cooperation, and realizing a project for which equipment could be procured locally, the project selection and adoption shall be made at the JICA overseas office based on the above-mentioned selection criteria.

(3) Project Implementation, Monitoring and Public Relations

At the stage of project implementation, a JICA overseas office or a follow-up study mission monitors a follow-up cooperation project on site. The selected organization for the follow-up cooperation will be required to prepare and submit materials and data clarifying the implementation status and results. Furthermore, the concerned organizations will be required to take responsibility for managing properly the expenditure for the seminars, workshops, surveys and research, and other relevant financed activities. Furthermore, it is desirable that the follow-up cooperation be widely publicized among the people in the recipient country, at the beginning and completion of the project.

(4) Reporting after Follow-up Cooperation

Following the completion of a follow-up cooperation project, a report of the project's completion is required to be prepared and submitted to the JICA overseas office. Ordinarily, the report should be submitted within one month after completion. However, there are cases where JICA requests the submission of reports on a regular basis in order to monitor and assess the results of the cooperation.

2 Implementation of the Survey

2-1 Status of the Follow-up Study

The follow-up cooperation study will be conducted by JICA or a consultant commissioned by JICA when it is considered necessary to confirm the details of a requested follow-up cooperation project's background and contents, or if there are ambiguities concerning its implementation methods or cost estimation. The study will be divided into two stages, field survey carried out in the recipient country and preparation as the result of analysis carried out in Japan. The study shall cover the following main items:

- Confirmation of the background of the requested project
- Confirmation of maintenance and management system executed and to be applied by the agency concerned of the recipient country
- Confirmation of inoperative/defective conditions of the equipment and facilities concerned
- Clarification of the requested spare parts/components and confirmation of their order of priority
- Confirmation of the necessary measures to be taken by the recipient country
- Confirmation of the follow-up cooperation effects and implications
- Preparation of a follow-up cooperation plan (restoration/rehabilitation plan, specifications, action plan, etc.)
- Estimation of the follow-up cooperation expenses
- Reporting/feedback to JICA on the lessons learned and proposals for future cooperation if applicable

It is important for both sides to understand that at the stage of the study, no commitment is made from the Japanese side concerning the realization of the follow-up cooperation. The final report will be used to decide by the Japanese Government whether or not some components of the follow-up are executed in the scheme of Grant Aid.

END

NOTE TECHNIQUE
DE L'ÉTUDE DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION
ET D'ÉQUIPEMENT DES ÉCOLES PRIMAIRES
DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE

Après la signature en date du 3 juillet 2014 du procès-verbal des discussions relatives à l'étude de suivi du Projet de Construction et d'Équipement des Ecoles Primaires dans la Ville de Conakry, la mission d'étude de la JICA (ci-après désignée « la mission ») poursuit son étude à travers l'équipe du consultant (ci-après désignée « le consultant »).

Le Consultant a réalisé une étude sur le terrain dans les zones cibles, et mené des consultations avec les personnes guinéennes concernées. La présente Note Technique complète le contenu du procès-verbal des discussions signé le 3 juillet 2014 entre le Gouvernement guinéen et la JICA.

Au terme de l'étude sur le terrain et des consultations, les deux parties ont confirmé les points essentiels tels qu'indiqués dans le document ci-joint.

Fait à Conakry le 16 juillet 2014



Naoyuki MINAMI
Consultant en chef
Equipe du Consultant de la mission d'étude de suivi
Yachiyo Engineering Co., Ltd.



Ibrahim CISSÉ
Directeur Général du Service National des
Infrastructures et Équipements Scolaires
Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire
et de l'Alphabétisation
République de Guinée

1. Etat actuel des infrastructures des 11 écoles cibles et la maintenance et la gestion

Sur l'ensemble des 11 écoles cibles, la dégradation de la couverture est avancée en provoquant des infiltrations. L'état actuel des infrastructures et de leur gestion et maintenance est indiqué à l'Annexe 1.

Il existe un système de ressources financières pour la gestion et maintenance des infrastructures et des équipements scolaires qui est basé sur :

- le budget de l'Etat
- la subvention à partir du fonds commun
- la cotisation de l'Association des Parents d'Elève et Ami de l'Ecole (5.000 à 8.000 GNF par personne, taux de recouvrement de 40 à 80 %)

2. Contenu de la réhabilitation et ordre de priorité

La priorité est donnée au remplacement de la couverture afin de remédier aux infiltrations. Ainsi, le principe adopté est de conserver les charpentes existantes et de remplacer les tôles en fibre bitumée existantes par des tôles d'acier plaquées d'un alliage en aluminium-zinc (tôles aluzinc). Ces tôles ont une isolation thermique moins bonne et deviennent plus bruyantes lors de la pluie que les tôles en fibre bitumée, mais ceci ne pose pas de problèmes dans beaucoup de salles de classe existantes. Ainsi, des isolations thermiques ou des faux-plafonds ne seront pas mis en place.

En plus de l'ordre de priorité convenu dans le procès-verbal des discussions signé le 3 juillet 2014, le consultant a proposé les points ci-dessous qui ont été approuvés :

- Donner la priorité au remplacement de la couverture des salles de classe de l'ensemble des 11 écoles.
- La retouche de peinture sur les pannes est susceptible d'être revue à la baisse en priorité, voire supprimée.
- Au cas où la réhabilitation ne pourrait pas se faire sur l'ensemble des 11 écoles, les 5 écoles, dont l'urgence est la plus forte, mentionnées dans le procès-verbal des discussions signé le 3 juillet 2014 entre la JICA et la partie guinéenne [Dixinn Centre 1, Carrière Centre, Dabompa, Gbessia Cité 2, Enta Fassa (Koichiro Matsuura)] auront la priorité.

3. Mesures prises par les écoles pendant les travaux

Afin d'assurer la sécurité des élèves pendant les travaux de remplacement de couverture, le SNIES du Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation de la Guinée prendra des mesures nécessaires, en concertation avec les DCE et l'entrepreneur des travaux, telles que le déplacement des élèves dans des écoles avoisinantes en aménageant les horaires pendant la période des travaux.

4. Formalités pour l'exécution des travaux y compris le permis de construire

Etant donné que les travaux de remplacement de couverture des 11 écoles cibles ne sont ni des travaux de construction de nouveaux bâtiments ni une réhabilitation importante, les déclarations, les autorisations relatives aux travaux ne sont pas nécessaires.

5. Procédure de sélection des entrepreneurs des travaux

La sélection des entrepreneurs des travaux du présent Projet de coopération de suivi se fera conformément aux

règles de la JICA, tout en se référant au Code des marchés publics guinéen à l'égard de l'enregistrement au registre de commerce, de l'acquittement des impôts, et de la fourniture d'une garantie bancaire pour l'appel d'offres concernant des entrepreneurs soumissionnaires. Bien que la sélection des entrepreneurs des travaux soit envisagée par un appel d'offres ouvert ou restreint tenu au Sénégal ou en Guinée, un examen approfondi sera fait sur la base des règles fixées par la JICA et par une analyse effectuée au Japon.

Un avant-projet de la short-list établie par la proposition des deux parties est jointe à l'Annexe 2.

6. Exonération

Les travaux réalisés par le Projet de coopération de suivi de la JICA bénéficient de l'exonération des droits de douane et de la TVA, etc. des matériaux de construction. Ce point sera confirmé à nouveau dans l'Etendue des Travaux qui sera signée ultérieurement.

7. Principaux points à la charge de la partie guinéenne et de la JICA

La partie guinéenne et la JICA ont convenu de prendre des mesures nécessaires telles qu'indiquées à l'Annexe 3 pour une mise en œuvre fluide du Projet de coopération de suivi.

Dans les écoles Enta Fassa (Koiciro Matsuura) (M13) et Sonfonia Gare (R7), la mission a constaté la présence de panneaux solaires installés sur la toiture grâce à l'UNESCO et à une aide privée japonaise. Alors que le consultant a demandé à la partie guinéenne l'enlèvement de ces panneaux solaires avant l'avis d'appel d'offres relatif au présent projet de coopération de suivi, la partie guinéenne a affirmé que l'enlèvement et la remise en place des panneaux solaires installés dans les écoles Enta Fassa (Koichiro Matsuura) (M13) et Sonfonia Gare (R7) devraient être effectués par l'entrepreneur des travaux de réhabilitation de toiture dans le cadre de ces travaux. Partant du fait que l'enlèvement et la remise en place des panneaux solaires constituent en principe les points à la charge de la partie guinéenne, le consultant a fait cependant connaître à la partie guinéenne que la JICA ne pourra pas prendre la responsabilité de dysfonctionnements causés sur les panneaux solaires au cas où l'enlèvement et la remise en place des panneaux solaires seraient inclus dans le contrat passé avec les entrepreneurs locaux dans le cadre du projet de coopération de suivi. Ce point fera l'objet d'un examen approfondi par la partie japonaise après l'analyse effectuée au Japon.

8. Calendrier

Dans l'hypothèse de la réalisation des travaux de remplacement de couverture dans les 11 écoles, le calendrier provisoire du Projet de coopération de suivi est tel qu'indiqué à l'Annexe 4. Le calendrier est toutefois susceptible de changer après une analyse supplémentaire effectuée au Japon. La JICA communiquera la décision finale à la partie guinéenne d'ici octobre 2014, par l'intermédiaire du bureau de la JICA au Sénégal.

Annexe 1 Etat actuel des 11 écoles cibles

Annexe 2 Short-list des entrepreneurs des travaux

Annexe 3 Principaux points à la charge de la partie guinéenne et de la JICA

Annexe 4 Calendrier provisoire concernant l'étude de la coopération de suivi et le Projet de coopération de suivi

Etat actuel des écoles cibles

No.	Nom d'école	Bâtiments	Etat de toiture	Etat des infiltrations	Etat des latrines	Autres	Maintenance et gestion
D1	Dixinn Centre 1	R+2 4 SC au dernier étage	Tôles dégradées Faïtières déformées, Trous	Infiltrations importantes dans 4 SC (Utilisation impossible)	Tôles dégradées, infiltrations	Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
D7	Belle-Vue Marché	R+2 3 SC au dernier étage	Tôles dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite)	Infiltrations importantes dans 1 SC (Utilisation impossible) Infiltrations partielles dans 2 SC	Tôles dégradées, infiltrations	Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
MM5	Carrière Centre	R+2 2 SC au dernier étage	Tôles dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite)	Infiltrations importantes dans 1 SC (Utilisation impossible) Infiltrations partielles dans 1 SC	Tôles dégradées, infiltrations	Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
MM14	Carrière Cité 1	R+1 4 SC au dernier étage	Tôles dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite) Faïtières déformées, Trous	Infiltrations importantes dans 1 SC (Utilisation impossible) Infiltrations partielles dans 3 SC	Presque la totalité des tôles enlevées Quelques pannes disparues	Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
M2	Simbaya 1	R+1 5 SC au dernier étage	Tôles dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite)	Infiltrations partielles dans 5 SC Réparées avec des bandes adhésives Dégradation importante de la toiture des escaliers	Tôles dégradées, infiltrations Trous sur le faîtage	Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée Eclairages installés	Par les activités de l'APEAE
M5	Dabompa	R+1 4 SC au dernier étage	Tôles dégradées Faïtières déformées, Trous	Infiltrations importantes dans 4 SC (Utilisation impossible)	Tôles dégradées, infiltrations Tôles partiellement enlevées	Fissures sur les murs du palier des escaliers Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE Bien nettoyé par le gardien
M7	Gbessia Cité 2	R+2 3 SC au dernier étage	Tôles dégradées Faïtières déformées, Trous	Infiltrations dans 3 SC	Tôles dégradées, infiltrations	Chape de mortier cassée	Par les activités de l'APEAE Bien nettoyé par le gardien
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	2 bâtiments de R+2 3 & 4 SC au dernier étage Bureau de directeur	Tôles dégradées Faïtières déformées, Trous	Infiltrations importantes dans 4 SC (Utilisation impossible) Infiltrations partielles dans 3 SC	Tôles dégradées, infiltrations	Panneaux solaires installés Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
R2	Dar-es-salam	R+1 3 SC au dernier étage	Tôles très dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite)	Infiltrations importantes dans 3 SC (Utilisation impossible)	Pas de tôles de couverture	Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
R3	Kaporo	R+1 3 SC au dernier étage	Tôles très dégradées Faïtières déformées, Trous	Infiltrations importantes dans 2 SC (Utilisation impossible) Infiltrations partielles dans 1 SC	Tôles très dégradées	Chape de mortier cassée	Par les activités de l'APEAE
R7	Sonfonia Gare	2 bâtiments de R+1 4 SC au dernier étage x2 Bureau de directeur	Tôles dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite)	Infiltrations partielles dans 8 SC	Tôles dégradées, infiltrations	Panneaux solaires installés Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE Bien entretenu

Short-list des entrepreneurs des travaux (avant-projet)

N°	Nom des entrepreneurs	Numéro de téléphone (l'indicatif du pays est +224 pour tous les numéros)
1	ECR (Entreprise de Construction et de Rénovation) [FAMAY MULTI SERVICE]	669 010 763
2	ELECTE-GUI (Electricité - Commerce - Transport et Génie-Civil - Conakry)	664 423 152
3	EGUICEB (Entreprise Guinéenne de Construction et d'Entretien des Bâtiments)	664 355 500 / 622 092 998
4	EGUIMAPS (Entreprise Guinéenne Matériels Plomberie, Sanitaire et Réseaux)	622 410 100 / 664 410 100
5	PETROMAN ENGINEERING SARL	628 340 029
6	MARINEX	664 269 000 / 664 798 128
7	ECL (Entreprise de Construction LOKHMANE)	662 266 745 / 664 267 745
8	GMC (Guinéenne Mining Construction)	622 060 404
9	SOGUIBAT (Société Guinéenne du Bâtiment SARL)	663 119 692 / 669 028 286
10	SETRA (Société d'Etudes et de Travaux SARL)	664 33 31 91 / 622 21 15 43
11	CASTOR GUINEE SARL	664 282 810 / 628 681 503
12		




Principaux points à la charge de la partie guinéenne et de la JICA

	Éléments	Points à la charge de la JICA	Points à la charge du gouvernement de la Guinée
1	Portail provisoire, clôture provisoire et montage des échafaudages dans les sites de travaux de réhabilitation des toitures et aux alentours	●	
2	Garantie d'un déchargement et de formalités douanières rapides lors du débarquement dans le port en Guinée		
	1) Transport maritime et aérien vers la Guinée des produits provenant du Japon ou de pays tiers	●	
	2) Exonération des taxes et des formalités douanières lors du débarquement au port		●
	3) Transport domestique depuis le port de débarquement jusqu'au site du Projet de coopération de suivi	●	
3	Accord pour l'entrée et le séjour, dans le pays bénéficiaire, des ressortissants Japonais travaillant à la fourniture des produits et des services relatifs au Projet de coopération de suivi		●
4	Exonérer les ressortissants Japonais des droits de douane, impôts, taxes et autres contributions qui pourraient être perçues en Guinée concernant la fourniture des produits et des services relatifs au Projet de coopération de suivi		●
5	Exonérer des taxes internes TVA et autres impôts en vigueur en République de Guinée concernant l'achat de matériaux		●
6	Effectuer la maintenance et la gestion des installations et/ou des équipements réhabilités par le Projet de coopération de suivi et utiliser ceux-ci adéquatement et efficacement		●
7	Parmi les coûts considérés nécessaires pour le Projet de coopération de suivi, prendre en charge l'intégralité des éléments autres que ceux à la charge de la JICA		●
8	Evacuation des élèves des bâtiments pendant les travaux de réparation et instructions de sécurité à donner à leur égard	●	




Calendrier provisoire concernant le Projet de coopération de suivi

	2014-2015								
	Juillet	Août	Septembre	Octobre	Novembre	Décembre	Janvier	Février	Mars
Étude sur place									
Analyse au Japon									
Signature de l'E/T				▲					
Avis public appel d'offres				▲					
Évaluation des soumissions, contrat avec l'entrepreneur					▲				
Travaux									
Formation de courte durée à l'entretien et à la gestion								▲	
Inspection des travaux achevés									▲




ギニア共和国コナクリ市小学校建設計画フォローアップ調査 テクニカルノート

JICA のコナクリ市小学校建設計画フォローアップ調査団（以下、「調査団」と称す）は、2014 年 7 月 3 日の協議議事録署名後、コンサルタントチーム（以下「コンサルタント」と称す）は調査を継続中である。

コンサルタントは、対象地域において現地調査を行うとともに、ギニア国関係者との協議を行った。本テクニカルノートは、2014 年 7 月 3 日にギニア政府及び JICA 間で締結された協議議事録の内容を補うものである。

現地調査及び協議の結果、双方は別添のとおり主要な事項を確認した。

2014 年 7 月 16 日 コナクリ市

南直行
業務主任
フォローアップ調査団 コンサルタントチーム
八千代エンジニアリング株式会社

イブラヒム・スイセ
公立学校施設機材局長
初等・中等・識字教育省
ギニア共和国

1. 対象 11 校の施設現況と維持管理

対象 11 校はすべて屋根の劣化が進み、雨漏りをしている。各校の施設現況と維持管理を付属書 1 に示す。

学校施設・機材の維持管理に関し、以下の予算措置の方法がある。

- 国家予算
- 共通資金からの補助金
- APEAE（父母会）による寄付金（一人約 5000～8000GNF、徴収率 40～80%）

2. 補修内容と優先順位

最優先の課題は、雨漏りを防ぐための屋根の葺き替えであり、既存の屋根フレームはそのまま用い、既存のアスファルト含浸繊維板をアルミ亜鉛合金メッキ鋼板（ガルバリウム鋼板）に葺き替えることを基本とする。同工法による場合、アスファルト含浸繊維板より、断熱性が劣り、降雨時の雨の音が大きい。多数の既存の教室において問題となっており、断熱材や天井の設置は行わない。

基本的優先順位は、7月3日署名のミニッツのとおりであるが、さらにコンサルタントは次の条件を提案し同意された。

- 全 11 校の教室の屋根葺き替えを優先させる。
- 母屋材の再塗装の優先順位を下げ、省略することがある。
- 全 11 校ができない場合は、7月3日に JICA とギニア側で交わされた協議議事録で緊急度が高いと記述された 5 校 [(Dixinn Centre 1 校、Carriere Centre 校、Dabompa 校、Gbessia Cite 2 校、Enta Fassa (Koichiro Matsuura) 校)] を優先する。

3. 工事中の学校の対応

屋根葺き替え工事中の生徒の安全を図るため、コミュン教育事務所（DCE）を含むギニア側と施工業者が調整し、工事期間中、近隣の学校と授業時間を調整して生徒を移動するなど、ギニア初等中等教育省公立学校施設機材局は必要な措置を講じる。

4. 建設工事許可を含む工事に係る手続

対象 11 校での屋根葺き替え工事は新築工事、大規模な改修工事ではなく、工事の届け出、許可等の手続は必要ない。

5. 施工業者選定手続

本 F/U 協力プロジェクトにおける現地施工業者の調達は、応札業者は商業登録をし、納税していること、入札に対する銀行保証が必要などの点でギニアの公共調達法を参考としつつ、JICA の規定に基づき実施される。現地施工業者の調達は、セネガルまたはギニアにおける一般競争入札または指名競争入札が想定されるが、国内解析及び JICA の規定によりさらに検討される。

双方からの提案を合わせた業者ショートリスト案を、付属書 2 に示す。

6. 免税手続

JICA の F/U 協力プロジェクトにより実施される工事は、資機材の関税及び付加価値税等の免除が受けられる。後に署名が予定される Scope of Work で再確認する。

7. ギニア側及び JICA による主要な負担事項

ギニア側及び JICA は、F/U 協力プロジェクトの円滑な実施のため付属書 3 に示されるとおり、必要な措置を講じることを合意した。

M13 Enta Fassa (Koichiro Matsuura) 校と R7 Sonfonia Gare 校において UNESCO 及び日本の民間の支援によりソーラーパネルが屋上部に設置されていることを確認した。コンサルタントはギニア側に対し、それらソーラーパネルの撤去を本 F/U 協力プロジェクトに係る入札公示前に行うことを求めたところ、ギニア側は、M13 Enta Fassa (Koichiro Matsuura) 校と R7 Sonfonia Gare 校に設置されたソーラーパネルの取り外し・再設置は屋根施工業者が本 F/U 協力プロジェクトにおける工事の一環で施工すべきであると言った。ソーラーパネルの取り外し・再設置は本来ギニア側の負担事項であるが、仮に F/U 協力プロジェクトにおける現地施工業者との契約にソーラーパネル取り外し・再設置業務を含め、取外し・再設置に伴ってソーラーパネルに不具合が生じた場合の責任を JICA は負えないことをコンサルタントチームはギニア側に伝達した。本件の取扱いについては国内解析をふまえ、日本側においてさらに検討される。

8. スケジュール

F/U 協力プロジェクトの暫定スケジュールは、11 校の屋根葺き替え工事の想定で、付属書 4 のとおりである。しかしながら、スケジュールは本邦におけるさらなる解析の後、変更される可能性がある。JICA は、JICA セネガル事務所を通じ、ギニア側に 2014 年 10 月までに最終決定を伝達する。

付属書 1 対象校 11 校の現況

付属書 2 施工業者ショートリスト

付属書 3 ギニア側及び JICA による主要な負担事項

付属書 4 F/U 協力調査及び F/U 協力プロジェクトに係る暫定スケジュール

対象校の現況

No.	学校名	建物の状況	屋根の状況	雨漏りの状況	トイレの状況	その他	維持管理
D1	Dixinn Centre 1	3階建 最上部4教室	屋根材劣化 棟材のたわみ・穴	4教室 大きく雨漏り (使用不能)	屋根材劣化・雨漏り	床モルタル破損 ドアノブ破損	APEAE 活動
D7	Belle-Vue Marché	3階建 最上部3教室	屋根材劣化 (屋根材棟まで)	1教室 大きく雨漏り (使用不能) 2教室 一部雨漏り	屋根材劣化・雨漏り	ドアノブ破損	APEAE 活動
MM5	Carrière Centre	3階建 最上部2教室	屋根材劣化 (屋根材棟まで)	1教室 大きく雨漏り (使用不能) 1教室 一部雨漏り	屋根材劣化・雨漏り	ドアノブ破損	APEAE 活動
MM14	Carrière Cité 1	2階建 最上部4教室	屋根材劣化 (屋根材棟まで) 棟材のたわみ・穴	1教室 大きく雨漏り (使用不能) 3教室 一部雨漏り	屋根材ほとんどなし 母屋材一部不明	床モルタル破損 ドアノブ破損	APEAE 活動
M2	Simbaya 1	2階建 最上部5教室	屋根材劣化 (屋根材棟まで)	5教室 一部雨漏り テープ補修 階段屋根劣化激しい	屋根材劣化・雨漏り 棟に穴	床モルタル破損 ドアノブ破損 電灯設置	APEAE 活動
M5	Dabompa	2階建 最上部4教室	屋根材劣化 棟材のたわみ・穴	4教室 大きく雨漏り (使用不能)	屋根材劣化・雨漏り 一部屋根材取れている	階段踊り場袖壁クラック 床モルタル破損 ドアノブ破損	APEAE 活動 用務員がいて清掃 良好
M7	Gbessia Cité 2	3階建 最上部3教室	屋根材劣化 棟材のたわみ・穴	3教室 雨漏り	屋根材劣化・雨漏り	床モルタル破損	APEAE 活動 清掃等がきちんと 行われている。
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	3階建・2棟 最上部3・4教室 校長室	屋根材劣化 棟材のたわみ・穴	4教室 大きく雨漏り (使用不能) 3教室 一部雨漏り	屋根材劣化・雨漏り	ソーラーパネル設置 床モルタル破損 ドアノブ破損	APEAE 活動
R2	Dar-es-salam	2階建 最上部3教室	屋根材劣化激しい (屋根材棟まで)	3教室 大きく雨漏り (使用不能)	屋根材まったくなし	ドアノブ破損	APEAE 活動
R3	Kaporo	2階建 最上部3教室	屋根材劣化激しい 棟材のたわみ・穴	2教室 大きく雨漏り (使用不能) 1教室 一部雨漏り	屋根材劣化激しい	床モルタル破損	APEAE 活動
R7	Sonfonia Gare	2階建・2棟 最上部4教室 x2 校長室	屋根材劣化 (屋根材棟まで)	8教室 一部雨漏り	屋根材劣化・雨漏り	ソーラーパネル設置 床モルタル破損 ドアノブ破損	APEAE 活動 維持管理良好。

施工業者ショートリスト案

番号	業者名	電話番号(すべて国番号+224)
1	ECR (Entreprise de Construction et de Rénovation) [FAMAY MULTI SERVICE]	669 010 763
2	ELECTE-GUI (Electricité - Commerce - Transport et Génie-Civil - Conakry)	664 423 152
3	EGUICEB (Entreprise Guinéenne de Construction et d'Entretien des Bâtiments)	664 355 500 / 622 092 998
4	EGUIMAPS (Entreprise Guinéenne Materiels Plomberie, Sanitaire et Réseaux)	622 410 100 / 664 410 100
5	PETROMAN ENGINEERING SARL	628 340 029
6	MARINEX	664 269 000 / 664 798 128
7	ECL (Entreprise de Construction LOKHMANE)	662 266 745 / 664 267 745
8	GMC (Guinéenne Mining Construction)	622 060 404
9	SOGUIBAT (Société Guinéenne du Bâtiment SARL)	663 119 692 / 669 028 286
10	SETRA (Société d'Etudes et de Travaux SARL)	664 33 31 91 / 622 21 15 43
11	CASTOR GUINEE SARL	664 282 810 / 628 681 503
12		

ギニア側及びJICAによる主要な負担事項

	項目	JICAによる負担 事項	ギニア政府による 負担事項
1	屋根修復工事現場内及び周辺における仮入口及び仮囲い、足場の建設	●	
2	ギニア港における陸揚げの際の迅速な積み下ろし及び通関手続の保証		
	1) 本邦または第三国からギニアへの物品の海送及び空送	●	
	2) 港陸揚げにおける免税及び通関手続		●
	3) 港陸揚げからF/Uプロジェクトサイトまでの国内輸送	●	
3	F/U協力プロジェクトに係る物品及びサービス提供に従事する日本国民が受益国に入国し、滞在することの同意		●
4	F/U協力プロジェクトに係る物品及びサービスの提供に関し、ギニア国内で課される関税、税、その他の徴税を日本国民から免除すること		●
5	資材購入に際しギニア国内で課される付加価値税及びその他の税金の免税		●
6	F/U協力プロジェクトにより修復された施設及び/または機材を維持管理し、適切かつ効果的に活用すること		●
7	F/U協力プロジェクトのために必要とされる費用のうち、JICAにより負担されるもの以外の全てを負担すること		●
8	工事期間中の、生徒の移動などの安全に係る必要な措置	●	

ETENDUE DES TRAVAUX
DE LA COOPERATION DE SUIVI DU
PROJET DE CONSTRUCTION ET D'EQUIPEMENTS DES ECOLES PRIMAIRES
DANS LA VILLE DE CONAKRY EN REPUBLIQUE DE GUINEE

En réponse à la requête du Gouvernement de la République de Guinée (désignée ci-après « la Guinée »), l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désignée ci-après « la JICA ») a décidé de mettre en œuvre la Coopération de Suivi du « Projet de construction et d'équipement des écoles primaires dans la ville de Conakry en République de Guinée (désigné ci-après « le projet initial »), réalisé en 2004 dans le cadre de la coopération financière non remboursable du Japon.

La JICA a envoyé, en Guinée du 25 au 30 janvier 2016, une mission de consultation sur la coopération de suivi, conduite par Madame Kaori TANAKA, chef de bureau de la JICA au Sénégal (désignée ci-après « la Mission »).

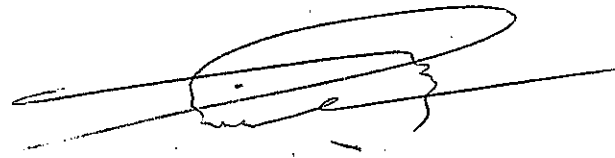
La Mission a tenu une série de discussions avec les responsables concernés du Gouvernement de la Guinée sur la base du Procès-Verbal des Discussions relatives à l'Etude de Suivi, signé en juillet 2014 et suivie d'une analyse au Japon. A l'issue des discussions, le Gouvernement guinéen et la Mission ont confirmé les points principaux mentionnés dans les documents ci-joints.

Le présent document porte sur l'étendue des travaux pour la Coopération de Suivi à réaliser sur la base de l'accord entre la Guinée et la JICA.


Fait à Conakry, le 27 janvier 2016



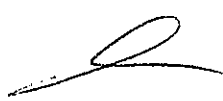
Kaori TANAKA
Chef de la Mission
Chef de Bureau
JICA au Sénégal



Ibrahim CISSE
Directeur Général du Service National des
Infrastructures et Equipements Scolaires
Ministère de l'Enseignement Pré-universitaire et
de l'Alphabétisation
République de Guinée



Jean Mathias DOUKO
Directeur Général Afrique-Asie
Ministère du Plan et de la Coopération
Internationale
République de Guinée



1. Système de la Coopération de Suivi de la JICA

- 1-1 La Coopération de Suivi a pour objectif de rétablir les fonctions des installations et/ou des équipements lors de l'achèvement des travaux du projet initial. Par conséquent, l'étendue de la Coopération de Suivi est limitée aux installations/équipements qui ont été construites/fournis dans le projet initial.
- 1-2 Etant donné que la Coopération de Suivi vise à appuyer les efforts du pays bénéficiaire dans le domaine de maintenance et de gestion, ses intrants sont limités à la petite envergure.
- 1-3 La Coopération de Suivi ne peut être demandée qu'une seule fois après l'achèvement du projet initial. La Mission a expliqué à la partie guinéenne que la réparation de couverture dans le cadre de la coopération de suivi de la JICA est la dernière mesure à prendre contre les infiltrations d'eau. La partie guinéenne a accepté cette explication.
- 1-4 L'entrepreneur chargé de l'exécution des travaux est sélectionné par la JICA à travers l'appel d'offres restreint.
- 1-5 Les travaux de construction sont supervisés par un consultant sélectionné par la JICA avec l'appui du SNIES et du MPCl.
- 1-6 La Partie guinéenne a compris le Système de la Coopération de Suivi tel qu'indiqué en Annexe 4 du Procès-Verbal des Discussions relatives à l'Etude de Suivi, signé en juillet 2014.
- 1-7 La Partie guinéenne s'est engagée à assurer la maintenance et la gestion adéquates des installations / équipements réhabilités après l'achèvement de la Coopération de Suivi.

2. Objectif de la Coopération de Suivi

L'objectif principal de la Coopération de Suivi est de réparer les couvertures de bâtiments et latrines construites dans le projet initial. Les fonctions rétablies des installations scolaires par la Coopération de Suivi sont attendues.

3. Organisme responsable et organisme d'exécution

Les organismes responsables et d'exécution de la Partie guinéenne sont le Service National des Infrastructures et Equipements Scolaires du Ministère de l'Enseignement Pré-universitaire et de l'Alphabétisation et la Direction Afrique Asie du Ministère du Plan et de la Coopération Internationale.

4. Etendue des Travaux

Les composantes et les écoles primaires faisant l'objet de la Coopération de Suivi sont présentées ci-après.

4-1 Ecoles cibles

Parmi les onze (11) écoles dans la ville de Conakry mentionnées ci-dessous, les écoles cibles sont celles dont les installations ont été construites dans le projet initial (1^{ère} phase) et sont mentionnées dans le tableau ci-après.

No.	Nom de l'école	Nom du quartier	Nbr. de bâtiments	Bureau du Directeur / Magasin	Latrines
D1	Dixinn Centre 1	Dixinn	1	Non	1
D7	Belle-Vue Marché	Dixinn	1	Non	1
MM5	Carrière Centre	Matam	1	Non	1
MM14	Carrière Cité 1	Matam	1	Non	1

CLY



JAD

M2	Simbaya	Matoto	1	Non	1
M5	Dabompa	Matoto	1	Non	1
M7	Gbessia Cité 2	Matoto	1	Non	1
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	Mátoto	2	Oui	2
R2	Dar-es-salam	Ratoam	1	Non	1
R3	Kaporo	Ratoam	1	Non	1
R7	Sonfonia Gare	Ratoam	2	Oui	2

4-2 Composantes de projet

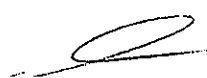
- La Coopération de Suivi consiste à remplacer la couverture de bâtiments et de latrines construits dans le projet initial : Le matériau à utiliser est, en principe, une tôle en acier plaqué d'aluminium et de zinc (6/10^{ème}). Les toits existants (panneaux de fibre enduit d'asphalte) sont enlevés, et la tôle en acier plaqué d'aluminium et de zinc (6/10^{ème}) est placée sur la ferme existante.
- Elaboration d'un manuel de maintenance et de gestion des installations scolaires, y compris la maintenance et la gestion des toits, ainsi que l'organisation d'une formation de courte durée.

5. Principaux points à la charge de la Partie guinéenne et de la JICA

- 5-1 La Partie guinéenne et la JICA ont convenu de prendre les mesures nécessaires à la mise en œuvre de la Coopération de Suivi, telles qu'indiquées dans l'Annexe 1.
- 5-2 En ce qui concerne les panneaux solaires installés sur la toiture des écoles d'Enta Fassa (M13) et de Sonfonia Gare (R7), la Partie guinéenne, au nom du Secrétaire Général du Ministère de l'Enseignement Pré-universitaire et de l'Alphabétisation, par la correspondance du 19 août 2014, a informé la JICA que ces panneaux solaires seront enlevés et réinstallés à la charge de la Partie guinéenne. La Mission a demandé à la Partie guinéenne de prendre en charge l'enlèvement des panneaux solaires avant la mi-mars 2016 et la réinstallation de ces panneaux solaires après les travaux de remplacement de couverture dans la Coopération de Suivi. La Partie guinéenne l'a accepté.
- 5-3 En ce qui concerne les produits et les services à fournir dans le cadre de la Coopération de Suivi, la Mission a demandé à la Partie guinéenne d'exonérer les ressortissants japonais des droits de douane, impôts et autres prélèvements fiscaux à imposer en Guinée et de prendre les mesures nécessaires à cette exonération avant la mi-février 2016. La Partie guinéenne (MPCI) l'a accepté.
- 5-4 En ce qui concerne les matériaux et matériels, etc. à procurer dans le cadre de la Coopération de Suivi, la Mission a demandé à la Partie guinéenne de prendre les mesures nécessaires à l'exonération des droits de douane, des impôts et de la TVA pour tout produit acheté en Guinée avant le démarrage des travaux prévus à la fin mars 2016. La Partie guinéenne (MPCI) l'a accepté.
- 5-5 La Mission a demandé à la Partie guinéenne de mettre à la disposition un bureau du Consultant japonais et d'assurer la salle de réunion dans le Ministère de l'Enseignement Pré-universitaire et de l'Alphabétisation pour le dépouillement des offres, etc. La Partie guinéenne l'a accepté.
- 5-6 La Mission a demandé à la Partie guinéenne d'affecter un homologue guinéen pour la Coopération de Suivi. La Partie guinéenne l'a accepté.

6. Autres points concernés

CCP



JMD

6-1 En ce qui concerne la visite des sites par les soumissionnaires après la distribution du Dossier d'Appel d'Offres, la Mission a transmis à la Partie guinéenne le calendrier et la coordination pour ladite visite. La Partie guinéenne l'a accepté.

7. Calendrier provisoire

Le calendrier provisoire de la Coopération de Suivi est mentionné dans l'Annexe 2. Cependant, ce calendrier peut être révisé à travers les discussions des deux parties en cas de situation imprévue.

Fin janvier 2016	: Distribution du Dossier d'Appel d'Offres
Début février 2016	: Visite des sites par les soumissionnaires
Début mars 2016	: Dépouillement des offres
Fin mars ~ Fin mai 2016	: Exécution des Travaux
Début juin 2016	: Inspection

Pièces jointes

Annexe 1 : Principaux points à la charge de la partie guinéenne et de la JICA ;

Annexe 2 : Calendrier provisoire de la Coopération de Suivi ;

Annexe 3 : Annexe 4 du Procès-Verbal des Discussions relatives à l'Etude de Suivi (juillet 2014) (copie) ;

Annexe 4 : Note Technique de l'Etude de Suivi (juillet 2014) (copie) ;

Annexe 5 : Lettre délivrée par le Ministère de l'Enseignement Pré-universitaire et de l'Alphabétisation (du 19 août 2014) (copie)

CLY




T911

Principaux points à la charge de la partie guinéenne et de la JICA

	Elément	Points à la charge de la JICA	Points à la charge de la Guinée
1	Préparation de portail provisoire et clôture d'enceinte provisoire ainsi que d'échafaudage dans les sites des travaux de réparation de couverture et aux environs	●	
2	Enlèvement et Réinstallation des panneaux solaires installés aux écoles d'Enta Fassa (M13) et de Sonfonia Gare (R7)		●
3	Déplacement des élèves des écoles cibles pendant les travaux		●
4	Mise à disposition d'un bureau du Consultant japonais (dans le MEPU-A), Permission pour l'utilisation de la salle de réunion du MEPU-A		●
5	Déchargement rapide au Port de Guinée lors du débarquement et dédouanement rapide		
	1) Transports maritime et aérien des produits à partir du Japon ou de pays tiers jusqu'en Guinée	●	
	2) Formalité douanière et dédouanement au Port de déchargement		●
	3) Transport intérieur du port de déchargement jusqu'aux sites de la Coopération de Suivi	●	
6	Accord pour l'entrée et le séjour des ressortissants japonais dans le pays bénéficiaire pour la fourniture des produits et des services dans la Coopération de Suivi		●
7	Pour les produits et les services à fournir dans la Coopération de Suivi, exonérer les ressortissants japonais des droits de douane, impôts et autres prélèvements fiscaux à imposer en Guinée		●
8	Pour les matériaux et matériels, etc. à procurer, prendre les mesures nécessaires à l'exonération des droits de douane, des impôts et de la T.V.A. (taxe sur la valeur ajoutée) de tout produit acheté en Guinée et des autres taxes à imposer		●
9	L'approvisionnement des entreprises pour les travaux de remplacement de couverture, et l'envoi d'un consultant pour la supervision des travaux	●	
10	Assurer la maintenance et la gestion des installations réhabilitées dans la Coopération de Suivi et Exploiter ces installations adéquatement et efficacement		●
11	Supporter tous les frais nécessaires à la Coopération de Suivi, à part les frais qui sont couverts par la JICA		●

004



T911

Calendrier provisoire de la Coopération de Suivi

	2016					
	Janvier	Février	Mars	Avril	Mai	Juin
Signature de l'Etendue des Travaux	▲					
Distribution du Dossier d'Appel d'Offres	▲					
Visite des sites par les soumissionnaires		▲				
Evaluation des offres, Conclusion du contrat avec l'entrepreneur			▲			
Exécution des Travaux				[REDACTED]		
Formation de courte durée sur la maintenance et la gestion						▲
Inspection						▲

Aperçu du système de la coopération de suivi

1 Grandes lignes de la coopération de suivi

1-1 Objectifs de la coopération de suivi

La coopération de suivi mise en place par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA) a pour but de fournir un soutien supplémentaire et complémentaire à la coopération antérieure du Japon (équipement fourni/acquis et installations construites dans le passé grâce à la coopération technique de la JICA ou à l'octroi d'aides par le Gouvernement du Japon). Après l'achèvement de la coopération japonaise, la responsabilité de maintenir et de gérer les équipements ou les installations de projets revient principalement au pays bénéficiaire. Cependant, de temps en temps, il y a des cas où le pays bénéficiaire a des difficultés pour l'entretien approprié en raison de problèmes financiers, organisationnels, et/ou techniques qu'il n'avait pas prévues. Il y a aussi des cas où les équipements ou les installations ne fonctionnent plus ou ne fonctionnent pas correctement en raison de catastrophes naturelles ou pour d'autres raisons. Dans de tels cas, la JICA aidera le pays bénéficiaire à réparer ou à réaliser des travaux de réhabilitation comme soutien supplémentaire, à restaurer ses fonctions, et assurera ainsi la prolongation de la vie des équipements/installations. De cette façon, la JICA continuera de contribuer à l'autosuffisance du pays bénéficiaire.

1-2 Projets éligibles pour la coopération de suivi

Les projets antérieurs, les organisations et les individus des homologues, les ex-participants, etc., qui sont éligibles pour la coopération de suivi sont décrits ci-dessous. En principe, les projets éligibles pour la coopération de suivi du type matériel sont ceux qui ont pris fin dans les quinze dernières années. En ce qui concerne la fourniture de pièces de rechange à des fins de réparation/remise en état, il convient de noter que les consommables tels que le papier d'impression, le toner, les pneus pour véhicules, le carburant, etc. ne sont pas inclus dans son principe.

Les projets, organisations et les ressources humaines éligibles pour la coopération de suivi sont les suivants :

Projets d'aide non-remboursable

- Aide financière non-remboursable pour les projets généraux et pour la pêche
- Aide financière non-remboursable pour augmentation de la production alimentaire (KR2) ; toutefois, seules les machines agricoles qui appartiennent aux organismes gouvernementaux sont admissibles pour la coopération de suivi.

Projets de coopération technique

- Matériel fourni par les projets de coopération technique (incluant l'envoi d'équipe des volontaires

CLP

—

Q 2

B

J 911

japonais pour la coopération à l'étranger (JOCV), experts individuels, etc.) ou les installations construites sous lesdits projets de coopération

- Organisations des homologues et les homologues pour les projets de coopération technique ainsi que des experts individuels
- Organisations des homologues et les homologues pour les volontaires japonais pour la coopération à l'étranger (JOCV) et pour les volontaires seniors pour la coopération à l'étranger
- Ex-participants/stagiaires (incluant les individus qui ont participé au programme de formation dans le pays tiers, à l'exclusion des ex-participants de programme d'invitation des jeunes)
- Association des ex-participants/stagiaires
- Organisation de soutien au Japon pour des projets de coopération technique

1-3 Critères pour la sélection de projets

Lorsque le gouvernement du pays bénéficiaire souhaite la coopération de suivi, il va d'abord déposer une demande auprès du bureau local de la JICA. (S'il n'y a pas de bureau de la JICA dans le pays bénéficiaire, la demande doit être déposée auprès de l'Ambassade du Japon.)

Les critères de sélection d'un projet de demande de coopération de suivi sont expliqués succinctement ci-après :

- En règle générale, pas plus de 15 ans depuis la réalisation du projet de coopération ou d'octroi d'aide technique.
- L'arrière-plan, les problèmes etc. qui nécessitent la coopération de suivi doivent être clarifiés suffisamment dans la demande.
- La raison pour laquelle le pays bénéficiaire ne peut pas faire face à ces problèmes par ses propres efforts d'auto-assistance doit être clarifiée (informations détaillées et raisons concernant les questions liées à la maintenance et à la gestion des équipements ou des installations fournies par le Japon sont particulièrement importantes).
- Le projet demandé doit avoir de bonnes perspectives en termes de développement durable après l'achèvement de la coopération de suivi.
- L'état des objectifs originaux à atteindre et des règles de conformité établies ou promises dans les accords initiaux (minutes, procès-verbal des discussions, échange de notes, etc.) de projets initiaux (aide financière non-remboursable ou les projets de coopération technique) doivent être confirmés. Et la relation entre le statut susmentionné et le projet de suivi demandé doit être bien expliquée.
- Les implications du projet demandé avec le plan de mise en œuvre de projets de la JICA spécifique au pays doivent être bien clarifiées.
- Les éventuels résultats, les effets ou l'impact de la coopération de suivi doivent être bien clarifiées.
- Il ne doit avoir aucun impact négatif dû à l'exécution de la coopération de suivi particulièrement en cas de travaux de réhabilitation d'urgence à grande échelle qui sera administré par les initiatives et

2

B

JMA

114

Handwritten signature

gestion du bureau de la JICA à l'extérieur.

- Concernant les dépenses pour un projet de coopération de suivi, il convient de noter que chaque projet a sa propre limitation budgétaire. Une enquête devrait être formulée auprès du département de Suivi à la Direction régionale du Siège de la JICA Tokyo..

1-4 Déroulement de la coopération de suivi

(1) Requêtes pour les projets de la coopération de suivi

Le pays partenaire est prié de soumettre une requête formelle en utilisant le formulaire d'application pour la Coopération de Suivi (en principe, rempli en anglais) conservé dans chaque bureau de la JICA à l'étranger. Par la suite, le bureau de la JICA à l'étranger ou le siège de la JICA va sélectionner les projets demandés. Toutefois, dans le cas de la fourniture d'équipements ou de pièces de rechange devant être achetés au Japon, même si le formulaire A4 doit être soumis à l'Ambassade du Japon ou au bureau de la JICA à l'étranger au moment de l'acquisition réelle, ce formulaire A4 n'a pas besoin d'être soumis avec le formulaire de requête. Il doit être présenté lorsque le projet demandé est officiellement adopté et les détails de pièces d'équipement, les spécifications et les quantités seront finalisés par la JICA.

(2) Sélection et adoption

Les projets de coopération du suivi qui (1) nécessitent l'étude dans le pays demandeur, (2) impliquent l'exigence importante des coûts, ou (3) ont besoin d'acheter du matériel au Japon seront adoptés par un comité de sélection de projets au siège de la JICA. En principe, le siège de la JICA informera son bureau à l'étranger de ses points de vue sur l'état de la demande dans les 2 mois après le dépôt de la demande. Pour les projets qui sont relativement de petite échelle, par exemple pour la réalisation des séminaires ou d'ateliers, de poursuivre des enquêtes ou des recherches en conformité avec la coopération d'origine de la JICA, et la réalisation d'un projet pour lequel les équipements pourrait être achetés sur place, la sélection et l'adoption des projets seront faites au bureau de la JICA à l'étranger sur la base des critères de sélection mentionnés ci-dessus.

(3) Mise en œuvre du projet, suivi et des relations publiques

Au stade de la mise en œuvre du projet, un bureau de la JICA à l'étranger ou une mission d'étude de suivi supervisera le projet de coopération de suivi sur place. L'organisation sélectionnée pour la coopération de suivi sera priée de préparer et soumettre des documents et des données pour clarifier l'état de la mise en œuvre et les résultats. En outre, les organisations concernées devront prendre la responsabilité de bien gérer les dépenses pour les séminaires, ateliers, études et recherches et d'autres activités financées de façon pertinente. Par ailleurs, il est souhaitable que la coopération soit largement diffusée parmi les peuples du pays bénéficiaire, au début et à la fin du projet.

(4) Rapport après la coopération de suivi

Après l'achèvement d'un projet de coopération de suivi, un rapport d'achèvement du projet doit être

1

9

JMD

CP

préparé et soumis au bureau de la JICA à l'étranger. Habituellement, le rapport doit être présenté dans le mois qui suit l'achèvement. Toutefois, il y a des cas où la JICA demande la transmission de rapports sur une base régulière afin de suivre et évaluer les résultats de la coopération.

2 Mise en œuvre de l'étude

2-1 Statut de l'étude de suivi

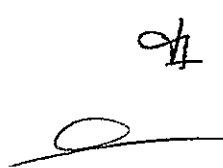
L'étude de coopération de suivi sera conduite par la JICA, ou un consultant engagé par la JICA, s'il est considéré nécessaire de confirmer les détails de l'arrière-plan et du contenu d'un projet de coopération de suivi ayant été requis, ou s'il existe des ambiguïtés concernant ses méthodes de mise en œuvre et l'estimation des coûts. L'étude sera divisée en deux étapes, à savoir l'étude sur le terrain, réalisée dans le pays bénéficiaire, et la préparation, à titre de résultat de l'analyse effectuée au Japon. L'étude couvrira les éléments principaux suivants :

- Confirmation de l'arrière-plan du projet
- Confirmation du système de maintenance et de gestion mis en œuvre, et à appliquer, par l'organisme concerné du pays bénéficiaire
- Confirmations de l'état de non-fonctionnement/dysfonctionnement de l'équipement et des installations concernées
- Clarification des pièces détachées/composantes requises et confirmation de leur ordre de priorité
- Confirmation des mesures devant être prises par le pays bénéficiaire
- Confirmation des effets et des implications de la coopération de suivi
- Préparation d'un plan de coopération de suivi (plan de réfection/réhabilitation ; spécifications, plan d'action, etc.)
- Estimation des dépenses de la coopération de suivi
- Rapports/retour d'information à la JICA sur les leçons apprises et les propositions pour de futures coopérations, le cas échéant

Il est important que les deux parties comprennent qu'au stade de l'étude, aucun engagement n'est pris de la part de la partie japonaise concernant la réalisation de la coopération de suivi. Le rapport final sera utilisé par le Gouvernement japonais pour décider si oui ou non certaines composantes de la coopération de suivi seront exécutées par le système de l'aide financière non-remboursable.

FIN

CCP



JPD

NOTE TECHNIQUE
DE L'ÉTUDE DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION
ET D'ÉQUIPEMENT DES ÉCOLES PRIMAIRES
DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE

Après la signature en date du 3 juillet 2014 du procès-verbal des discussions relatives à l'étude de suivi du Projet de Construction et d'Équipement des Ecoles Primaires dans la Ville de Conakry, la mission d'étude de la JICA (ci-après désignée « la mission ») poursuit son étude à travers l'équipe du consultant (ci-après désignée « le consultant »).

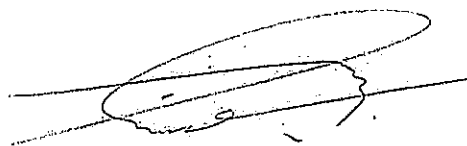
Le Consultant a réalisé une étude sur le terrain dans les zones cibles, et mené des consultations avec les personnes guinéennes concernées. La présente Note Technique complète le contenu du procès-verbal des discussions signé le 3 juillet 2014 entre le Gouvernement guinéen et la JICA.

Au terme de l'étude sur le terrain et des consultations, les deux parties ont confirmé les points essentiels tels qu'indiqués dans le document ci-joint.

Fait à Conakry le 16 juillet 2014



Naoyuki MINAMI
Consultant en chef
Equipe du Consultant de la mission d'étude de suivi
Yachiyo Engineering Co., Ltd.



Ibrahim CISSÉ
Directeur Général du Service National des
Infrastructures et Équipements Scolaires
Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire
et de l'Alphabétisation
République de Guinée



1. Etat actuel des infrastructures des 11 écoles cibles et la maintenance et la gestion

Sur l'ensemble des 11 écoles cibles, la dégradation de la couverture est avancée en provoquant des infiltrations. L'état actuel des infrastructures et de leur gestion et maintenance est indiqué à l'Annexe 1.

Il existe un système de ressources financières pour la gestion et maintenance des infrastructures et des équipements scolaires qui est basé sur :

- le budget de l'Etat
- la subvention à partir du fonds commun
- la cotisation de l'Association des Parents d'Elève et Ami de l'Ecole (5.000 à 8.000 GNF par personne, taux de recouvrement de 40 à 80 %)

2. Contenu de la réhabilitation et ordre de priorité

La priorité est donnée au remplacement de la couverture afin de remédier aux infiltrations. Ainsi, le principe adopté est de conserver les charpentes existantes et de remplacer les tôles en fibre bitumée existantes par des tôles d'acier plaquées d'un alliage en aluminium-zinc (tôles aluzinc). Ces tôles ont une isolation thermique moins bonne et deviennent plus bruyantes lors de la pluie que les tôles en fibre bitumée, mais ceci ne pose pas de problèmes dans beaucoup de salles de classe existantes. Ainsi, des isolations thermiques ou des faux-plafonds ne seront pas mis en place.

En plus de l'ordre de priorité convenu dans le procès-verbal des discussions signé le 3 juillet 2014, le consultant a proposé les points ci-dessous qui ont été approuvés :

- Donner la priorité au remplacement de la couverture des salles de classe de l'ensemble des 11 écoles.
- La retouche de peinture sur les pannes est susceptible d'être revue à la baisse en priorité, voire supprimée.
- Au cas où la réhabilitation ne pourrait pas se faire sur l'ensemble des 11 écoles, les 5 écoles, dont l'urgence est la plus forte, mentionnées dans le procès-verbal des discussions signé le 3 juillet 2014 entre la JICA et la partie guinéenne [Dixinn Centre 1, Carrière Centre, Dabompa, Gbessia Cité 2, Enta Fassa (Koichiro Matsuura)] auront la priorité.

3. Mesures prises par les écoles pendant les travaux

Afin d'assurer la sécurité des élèves pendant les travaux de remplacement de couverture, le SNIES du Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation de la Guinée prendra des mesures nécessaires, en concertation avec les DCE et l'entrepreneur des travaux, telles que le déplacement des élèves dans des écoles avoisinantes en aménageant les horaires pendant la période des travaux.

4. Formalités pour l'exécution des travaux y compris le permis de construire

Etant donné que les travaux de remplacement de couverture des 11 écoles cibles ne sont ni des travaux de construction de nouveaux bâtiments ni une réhabilitation importante, les déclarations, les autorisations relatives aux travaux ne sont pas nécessaires.

5. Procédure de sélection des entrepreneurs des travaux

La sélection des entrepreneurs des travaux du présent Projet de coopération de suivi se fera conformément aux

règles de la JICA, tout en se référant au Code des marchés publics guinéen à l'égard de l'enregistrement au registre de commerce, de l'acquittement des impôts, et de la fourniture d'une garantie bancaire pour l'appel d'offres concernant des entrepreneurs soumissionnaires. Bien que la sélection des entrepreneurs des travaux soit envisagée par un appel d'offres ouvert ou restreint tenu au Sénégal ou en Guinée, un examen approfondi sera fait sur la base des règles fixées par la JICA et par une analyse effectuée au Japon.

Un avant-projet de la short-list établie par la proposition des deux parties est jointe à l'Annexe 2.

6. Exonération

Les travaux réalisés par le Projet de coopération de suivi de la JICA bénéficient de l'exonération des droits de douane et de la TVA, etc. des matériaux de construction. Ce point sera confirmé à nouveau dans l'Etendue des Travaux qui sera signée ultérieurement.

7. Principaux points à la charge de la partie guinéenne et de la JICA

La partie guinéenne et la JICA ont convenu de prendre des mesures nécessaires telles qu'indiquées à l'Annexe 3 pour une mise en œuvre fluide du Projet de coopération de suivi.

Dans les écoles Enta Fassa (Koichiro Matsuura) (M13) et Sonfonia Gare (R7), la mission a constaté la présence de panneaux solaires installés sur la toiture grâce à l'UNESCO et à une aide privée japonaise. Alors que le consultant a demandé à la partie guinéenne l'enlèvement de ces panneaux solaires avant l'avis d'appel d'offres relatif au présent projet de coopération de suivi, la partie guinéenne a affirmé que l'enlèvement et la remise en place des panneaux solaires installés dans les écoles Enta Fassa (Koichiro Matsuura) (M13) et Sonfonia Gare (R7) devraient être effectués par l'entrepreneur des travaux de réhabilitation de toiture dans le cadre de ces travaux. Partant du fait que l'enlèvement et la remise en place des panneaux solaires constituent en principe les points à la charge de la partie guinéenne, le consultant a fait cependant connaître à la partie guinéenne que la JICA ne pourra pas prendre la responsabilité de dysfonctionnements causés sur les panneaux solaires au cas où l'enlèvement et la remise en place des panneaux solaires seraient inclus dans le contrat passé avec les entrepreneurs locaux dans le cadre du projet de coopération de suivi. Ce point fera l'objet d'un examen approfondi par la partie japonaise après l'analyse effectuée au Japon.

8. Calendrier

Dans l'hypothèse de la réalisation des travaux de remplacement de couverture dans les 11 écoles, le calendrier provisoire du Projet de coopération de suivi est tel qu'indiqué à l'Annexe 4. Le calendrier est toutefois susceptible de changer après une analyse supplémentaire effectuée au Japon. La JICA communiquera la décision finale à la partie guinéenne d'ici octobre 2014, par l'intermédiaire du bureau de la JICA au Sénégal.

Annexe 1 Etat actuel des 11 écoles cibles

Annexe 2 Short-list des entrepreneurs des travaux

Annexe 3 Principaux points à la charge de la partie guinéenne et de la JICA

Annexe 4 Calendrier provisoire concernant l'étude de la coopération de suivi et le Projet de coopération de suivi

Etat actuel des écoles cibles

No.	Nom d'école	Bâtiments	Etat de toiture	Etat des infiltrations	Etat des latrines	Autres	Maintenance et gestion
D1	Dixinn Centre 1	R+2 4 SC au dernier étage	Tôles dégradées Faitières déformées, Trous	Infiltrations importantes dans 4 SC (Utilisation impossible)	Tôles dégradées, infiltrations	Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
D7	Belle-Vue Marché	R+2 3 SC au dernier étage	Tôles dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite)	Infiltrations importantes dans 1 SC (Utilisation impossible) Infiltrations partielles dans 2 SC	Tôles dégradées, infiltrations	Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
MM5	Carrière Centre	R+2 2 SC au dernier étage	Tôles dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite)	Infiltrations importantes dans 1 SC (Utilisation impossible) Infiltrations partielles dans 1 SC	Tôles dégradées, infiltrations	Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
MM14	Carrière Cité 1	R+1 4 SC au dernier étage	Tôles dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite) Faitières déformées, Trous	Infiltrations importantes dans 1 SC (Utilisation impossible) Infiltrations partielles dans 3 SC	Presque la totalité des tôles enlevées Quelques pannes disparues	Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
M2	Simbaya 1	R+1 5 SC au dernier étage	Tôles dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite)	Infiltrations partielles dans 5 SC Réparées avec des bandes adhésives Dégradation importante de la toiture des escaliers	Tôles dégradées, infiltrations Trous sur le faîtage	Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée Eclairages installés	Par les activités de l'APEAE
M5	Dabompa	R+1 4 SC au dernier étage	Tôles dégradées Faitières déformées, Trous	Infiltrations importantes dans 4 SC (Utilisation impossible)	Tôles dégradées, infiltrations Tôles partiellement enlevées	Fissures sur les murs du palier des escaliers Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE Bien nettoyé par le gardien
M7	Gbessia Cité 2	R+2 3 SC au dernier étage	Tôles dégradées Faitières déformées, Trous	Infiltrations dans 3 SC	Tôles dégradées, infiltrations	Chape de mortier cassée	Par les activités de l'APEAE Bien nettoyé par le gardien
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	2 bâtiments de R+2 3 & 4 SC au dernier étage Bureau de directeur	Tôles dégradées Faitières déformées, Trous	Infiltrations importantes dans 4 SC (Utilisation impossible) Infiltrations partielles dans 3 SC	Tôles dégradées, infiltrations	Panneaux solaires installés Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
R2	Dar-es-salam	R+1 3 SC au dernier étage	Tôles très dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite)	Infiltrations importantes dans 3 SC (Utilisation impossible)	Pas de tôles de couverture	Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE
R3	Kaporo	R+1 3 SC au dernier étage	Tôles très dégradées Faitières déformées, Trous	Infiltrations importantes dans 2 SC (Utilisation impossible) Infiltrations partielles dans 1 SC	Tôles très dégradées	Chape de mortier cassée	Par les activités de l'APEAE
R7	Sonfonia Gare	2 bâtiments de R+1 4 SC au dernier étage x2 Bureau de directeur	Tôles dégradées (Tôles arrivées jusqu'au faite)	Infiltrations partielles dans 8 SC	Tôles dégradées, infiltrations	Panneaux solaires installés Chape de mortier cassée Poignée de porte cassée	Par les activités de l'APEAE Bien entretenu

Short-list des entrepreneurs des travaux (avant-projet)

N°	Nom des entrepreneurs	Numéro de téléphone (l'indicatif du pays est +224 pour tous les numéros)
1	ECR (Entreprise de Construction et de Rénovation) [FAMAY MULTI SERVICE]	669 010 763
2	ELECTE-GUI (Electricité - Commerce - Transport et Génie-Civil - Conakry)	664 423 152
3	EGUICEB (Entreprise Guinéenne de Construction et d'Entretien des Bâtiments)	664 355 500 / 622 092 998
4	EGUIMAPS (Entreprise Guinéenne Matériels Plomberie, Sanitaire et Réseaux)	622 410 100 / 664 410 100
5	PETROMAN ENGINEERING SARL	628 340 029
6	MARINEX	664 269 000 / 664 798 128
7	ECL (Entreprise de Construction LOKHMANE)	662 266 745 / 664 267 745
8	GMC (Guinéenne Mining Construction)	622 060 404
9	SOGUIBAT (Société Guinéenne du Bâtiment SARL)	663 119 692 / 669 028 286
10	SETRA (Société d'Etudes et de Travaux SARL)	664 33 31 91 / 622 21 15 43
11	CASTOR GUINEE SARL	664 282 810 / 628 681 503
12		

南

○

1411

004

Principaux points à la charge de la partie guinéenne et de la JICA

	Éléments	Points à la charge de la JICA	Points à la charge du gouvernement de la Guinée
1	Portail provisoire, clôture provisoire et montage des échafaudages dans les sites de travaux de réhabilitation des toitures et aux alentours	●	
2	Garantie d'un déchargement et de formalités douanières rapides lors du débarquement dans le port en Guinée		
	1) Transport maritime et aérien vers la Guinée des produits provenant du Japon ou de pays tiers	●	
	2) Exonération des taxes et des formalités douanières lors du débarquement au port		●
	3) Transport domestique depuis le port de débarquement jusqu'au site du Projet de coopération de suivi	●	
3	Accord pour l'entrée et le séjour, dans le pays bénéficiaire, des ressortissants Japonais travaillant à la fourniture des produits et des services relatifs au Projet de coopération de suivi		●
4	Exonérer les ressortissants Japonais des droits de douane, impôts, taxes et autres contributions qui pourraient être perçues en Guinée concernant la fourniture des produits et des services relatifs au Projet de coopération de suivi		●
5	Exonérer des taxes internes TVA et autres impôts en vigueur en République de Guinée concernant l'achat de matériaux		●
6	Effectuer la maintenance et la gestion des installations et/ou des équipements réhabilités par le Projet de coopération de suivi et utiliser ceux-ci adéquatement et efficacement		●
7	Parmi les coûts considérés nécessaires pour le Projet de coopération de suivi, prendre en charge l'intégralité des éléments autres que ceux à la charge de la JICA		●
8	Evacuation des élèves des bâtiments pendant les travaux de réparation et instructions de sécurité à donner à leur égard	●	

R

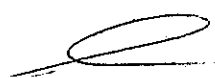
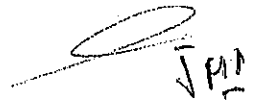
JY

Calendrier provisoire concernant le Projet de coopération de suivi

	2014-2015								
	Juillet	Août	Septembre	Octobre	Novembre	Décembre	Janvier	Février	Mars
Étude sur place	■								
Analyse au Japon		■							
Signature de l'E/T				▲					
Avis public appel d'offres				▲					
Évaluation des soumissions, contrat avec l'entrepreneur					▲				
Travaux						■			
Formation de courte durée à l'entretien et à la gestion								▲	
Inspection des travaux achevés									▲

100

有



RÉPUBLIQUE DE GUINÉE
Travail - Justice - Solidarité

Conakry, le... 19 AOUT 2014 ...20...

MINISTRE DE L'ENSEIGNEMENT
PRE-UNIVERSITAIRE ET DE L'ALPHABÉTISATION
(MEPU-A)

0929
N°/...MEPU-A/CAB/20....

Secrétaire Général

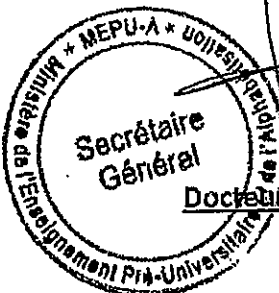
A Monsieur le chef de Bureau JICA

Objet : Enlèvement et réinstallation des panneaux salaires aux écoles d'Enta Fassa et Sonfonia Gare.

Monsieur le chef de bureau,

En réponse de votre courrier N° 4836/JICA du 07 aout 2014, j'ai l'honneur de vous informer que toutes les dispositions sont prises pour l'enlèvement et la réinstallation des panneaux solaires des deux écoles citées en objet avant le 18 aout 2014.

Vous souhaitant bonne réception Monsieur le chef de bureau, Veuillez recevoir l'expression de ma franche collaboration


Secrétaire
Général
Docteur Soriba SYLLA

104

JAD



Japan International Cooperation Agency

N°: 4836/JICA

Date : 27 2014

Objet : Enlèvement et réinstallation des panneaux solaires aux écoles d'Enta Fassa et Sonfonia Gare

Monsieur le Secrétaire Général,

Lors de l'étude de suivi du Projet de Construction et d'Equipe ment des Ecoles Primaires dans la Ville de Conakry réalisée en juillet 2014, nous avons constaté la présence de panneaux solaires installés sur la toiture des écoles d'Enta Fassa (N° de site M13) et de Sonfonia Gare (N° de site R7).

Afin de remplacer la couverture des toits des écoles dans le cadre de la coopération de suivi, il est nécessaire de les enlever et de les réinstaller. Il faut préciser que l'enlèvement des panneaux devra intervenir avant le démarrage des travaux de remplacement des couvertures des toits. Il est préférable que cette opération soit prise en charge par la partie guinéenne puisque les panneaux ont été installés en dehors des travaux relatifs au don du Japon. Ainsi, nous vous prions de bien vouloir nous faire connaître par écrit avant le lundi 18 août 2014 s'il est possible pour la partie guinéenne de réaliser l'enlèvement et la remise en place de ces panneaux solaires qui ne sont pas pris en compte dans les travaux de remplacement de couverture financés par la partie japonaise.

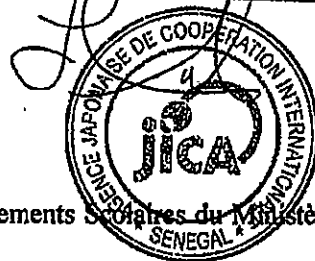
En vous remerciant d'avance de votre compréhension et diligence et espérant pouvoir compter comme par le passé sur votre bienveillante collaboration, je vous prie d'agréer, Monsieur le Secrétaire Général, l'expression de notre parfaite considération.

Monsieur Soriba SYLLA
Secrétaire Général du
Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire
et de l'Alphabétisation
République de Guinée

Ampliations :

- Directeur Général du Service National des Infrastructures et Equipements Solaires du Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation :
- Chef de la section Afrique-Asie du Ministère de la Coopération Internationale

Pour le
REPRESENTANT RESIDENT
du Bureau de la JICA
en République du Sénégal
et par Délégation.



Le Chef de Bureau

IWAMOTO Sonoko

JPD

104

(仮訳)

ギニア共和国コナクリ市小学校建設計画フォローアップ協力
に係る
Scope of Works

ギニア共和国（以下、「ギニア国」と称す）政府からの要請をうけ、国際協力機構（以下、「JICA」と称す）は、2004年に完了した無償資金協力「コナクリ市小学校建設計画」（以下、当初計画と称す）に係るフォローアップ協力の実施を決定した。

JICAは、JICAセネガル事務所次長である田中香織を団長として、フォローアップ協力に係る実施協議調査団（以下、「調査団」と称す）をギニア国に2016年1月25日から1月30日にかけて派遣した。

調査団は、2014年7月に署名交換されたF/U調査における協議議事録及びその後の国内解析結果に基づき、ギニア国政府関係者との協議を行い、その結果、ギニア国政府及び調査団は別添のとおり主要な事項を確認した。

本書類は、ギニア国及びJICAの合意に基づいて実施されるF/U協力のためのScope of Worksを示すものである。

2016年1月27日 コナクリ市

田中 香織
フォローアップ調査団長
次長
JICA セネガル事務所

Ibrahim CISSE
公立学校施設機材局長
初等中等教育・識字省
ギニア共和国

Jean Matho DORE
アフリカ・アジア総局長

計画・国際協力省
ギニア共和国

1. JICA のフォローアップ協カスキーム

- 1-1 フォローアップ協カは当初計画の完工時の状態に施設及び/または機材の機能を回復することを目的とする。従って、フォローアップ協カのスコープは当初計画により建設/調達された施設/機材に限られる。
- 1-2 フォローアップ協カは、受益国により維持管理の努力を支援することを目的とするので、その投入を小規模なものに限る。
- 1-3 フォローアップ協カは当初計画の完了後、一回のみ申請することができる。調査団は、F/U 協カプロジェクトによる屋根の修復は JICA による雨漏りに係る最後の対応策であることを説明し、ギニア側は了承した。
- 1-4 施工業者は、指名競争入札を経て JICA により選定される。
- 1-5 施工監理は、公立学校施設機材局及び計画・国際協カ省の支援のもと、JICA により選定されるコンサルタントにより行われる。
- 1-6 ギニア側は 2014 年 7 月に署名交換された F/U 調査における協議議事録附属書 4 のとおり、JICA のフォローアップ協カスキームについて理解した。
- 1-7 フォローアップ協カの終了後、ギニア側は修復された施設/機材を適切に維持管理する責任を負う。

2. フォローアップ協カの目的

フォローアップ協カの主要な目的は、当初計画により建設された教室棟及び便所棟の屋根を修復することである。F/U 協カにより施設の機能が回復されることが期待される。

3. 責任・実施機関

ギニア側の責任・実施機関は、ギニア国初等中等教育・識字省公立学校施設・機材局及び計画・国際協カ省アジア・アフリカ局である。

4. Scope of Works

F/U 協カの計画コンポーネント及び計画対象校は以下のとおりである。

4-1 計画対象校

以下のコナクリ市内の小学校 11 校に関し、当初計画（第 1 期）により建設された施設が本計画の対象である。

No.	学校名	地区名	棟数	校長室/倉庫	便所棟
D1	Dixinn Centre 1	Dixinn	1	無	1
D7	Belle-Vue Marché	Dixinn	1	無	1
MM5	Carrière Centre	Matam	1	無	1
MM14	Carrière Cité 1	Matam	1	無	1
M2	Simbaya	Matoto	1	無	1
M5	Dabompa	Matoto	1	無	1
M7	Gbessia Cité 2	Matoto	1	無	1

M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	Matoto	2	有	2
R2	Dar-es-salam	Ratoam	1	無	1
R3	Kaporo	Ratoam	1	無	1
R7	Sonfonia Gare	Ratoam	2	有	2

4-2 計画コンポーネント

- ・ 当初計画により建設された教室棟及びトイレ棟の屋根の葺き替え。屋根材としてアルミ亜鉛メッキ鋼板（6/10^{ème}）を用い、既存屋根（アスファルト含浸繊維板）を撤去し、既存小屋組みにアルミ亜鉛メッキ鋼板（6/10^{ème}）を葺くことを基本とする。
- ・ 屋根の維持管理を含む学校施設の維持管理に係るマニュアルの作成、短期研修の実施

5. ギニア側及び JICA による主要な負担事項

- 5-1 ギニア側及び JICA は、F/U 協力の実施のため付属書 1 に示されるとおり、必要な措置を講じることを合意した。
- 5-2 Enta Fassa 校（M13）及び Sonfonia Gare 校（R7）屋上部に設置されているソーラーパネルに関し、2014 年 8 月 19 日付でギニア初等中等教育・市民教育省次官名でギニア側の負担によりソーラーパネルの撤去・再設置を行う旨の回答があった。2016 年 3 月中旬までにソーラーパネルを撤去し、F/U 協力による屋根葺き替え工事後にギニア側が再設置を行うことを調査団はギニア側に要請し、ギニア側はこれを了承した。
- 5-3 F/U 協力に係る物品及びサービスの提供に関し、ギニア国内で課される関税、税、その他の徴税を日本国民から免除することに関し、2016 年 2 月中旬までに必要な措置を講じることを調査団はギニア側に要請し、ギニア側（計画・国際協力省）はこれを了承した。
- 5-4 F/U 協力に係る資機材等の調達等に関し、関税、ギニアにて調達されるあらゆる品に係る付加価値税、その他の税の免税について、工事着工が予定される 2016 年 3 月下旬までに必要な措置を講ずることを調査団はギニア側に要請し、ギニア側（計画・国際協力省）はこれを了承した。
- 5-5 F/U 協力の本邦コンサルタントのための執務室を初等中等教育・識字省内に確保すること、入札会等のための同省内の会議室の利用許可について調査団はギニア側に要請し、ギニア側はこれを了承した。
- 5-6 F/U 協力に係るカウンターパートの任命に関し、調査団はギニア側に要請し、ギニア側はこれを了承した。

6. その他の関連事項

- 6-1 入札図書の配布後に行われる施工業者によるサイト視察に関し、調査団はスケジュール及び対応をギニア側に伝達し、ギニア側はこれを了承した。

7. 暫定スケジュール

F/U 協力に係る暫定スケジュールは付属書 2 に示すとおりである。ただし、不測の事態が生じた場合、スケジュールは両者の協議のもと見直される。

2016年1月下旬： 入札図書配布
2016年2月上旬： 施工業者によるサイト視察
2016年3月上旬： 入札会
2016年3月下旬～2016年5月下旬： 本体工事
2016年6月上旬： 竣工検査

- 付属書1 ギニア側及びJICAによる主要な負担事項
- 付属書2 F/U協力に係る暫定スケジュール
- 付属書3 F/U調査における協議議事録（2014年7月）における付属書4（写）
- 付属書4 F/U調査におけるテクニカルノート（2014年7月）（写）
- 付属書5 初等中等教育・識字省レター（2014年8月19日付）（写）

ギニア側及びJICAによる主要な負担事項

	項目	JICAによる負担事項	ギニア政府による負担事項
1	屋根修復工事現場内及び周辺における仮入口及び仮囲い、足場の建設	●	
2	Enta Fassa校 (M13) 及びSonfonia Gare校 (R7) の既存屋上部に設置されているソーラーパネルの撤去及び再設置		●
3	F/U協力による工事期間中の計画対象校における児童の移転		●
4	F/U協力の本邦コンサルタントのための執務室（教育省内）の確保、教育省内の会議室の利用許可		●
5	ギニア港における陸揚げの際の迅速な積み下ろし及び通関手続の保証		
	1) 本邦または第三国からギニアへの物品の海送及び空送	●	
	2) 港陸揚げにおける免税及び通関手続		●
	3) 港陸揚げからF/U協力サイトまでの国内輸送	●	
6	F/U協力に係る物品及びサービス提供に従事する日本国民が受益国に入国し、滞在することの同意		●
7	F/U協力に係る物品及びサービスの提供に関し、ギニア国内で課される関税、税、その他の徴税を日本国民から免除すること		●
8	資機材の調達等の際にギニア国内で調達されるあらゆる財に係る関税、税、付加価値税及びその他の税金の免除		●
9	屋根葺き替え工事に係る現地企業の調達、施工監理のためのコンサルタント派遣	●	
10	F/U協力により修復された施設を維持管理し、適切かつ効果的に活用すること		●
11	F/U協力のために必要とされる費用のうち、JICAにより負担されるもの以外の全てを負担すること		●

F/U 協力の暫定スケジュール

	2016					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
S/W 署名	▲					
入札図書配布	▲					
現地企業によるサイト視察		▲				
入札評価、業者契約			▲			
工事				[Redacted]		
維持管理短期訓練						▲
竣工検査						▲

N°: 601 /JICADate : 10 FEV. 2016

Objet : Notification de la modification éventuelle de l'étendu des travaux concernant le Projet de coopération de suivi du Projet de construction d'Ecoles Primaires à Conakry

Monsieur le Secrétaire Général,

L'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA) que j'ai l'honneur de représenter en République de Guinée avec résidence au Sénégal vous présente ses compliments et vient par cette présente vous informer que le Consultant du projet en compagnie d'un Agent du SNIES ont constaté au cours de la visite de sites effectuée à la date du 29 janvier 2016 que des travaux de réparation de toits ont été déjà bien réalisés au niveau du site de Dar-es- Salam (R2).

Par conséquent, nous aurions souhaité que ce site ne soit plus pris en compte dans le cadre de la coopération de suivi, étant entendu que des travaux de réparation y ont été déjà effectués.

Par contre, des travaux de réparations ont été constatés au niveau du site de Dabompa (M5). Cependant, sur ce site les travaux qui y sont effectués, n'ont pas été bien réalisés. En conséquence, ce site sera maintenu et pris en compte dans le cadre de la coopération de suivi.

Compte tenu de cette situation, je vous prie de nous transmettre dans les meilleurs délais une réponse indiquant votre accord.

En vous remerciant d'avance de votre diligence, je vous prie d'agréer, **Monsieur le Secrétaire Général**, l'expression de notre parfaite collaboration.

Monsieur Soriba SYLLA
Secrétaire Général
Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire
et l'Alphabétisation
Conakry-Guinée

Ampliations

Directeur Général Afrique-Asie
Ministère du Plan et de la
Coopération Internationale

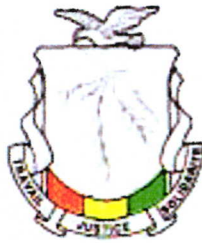
Directeur Général du SNIES
Ministère de l'Enseignement Pré Universitaire et de l'Alphabétisation

Pour le
REPRESENTANT RESIDENT
du Bureau de la JICA
en République du Sénégal
et par Délégation




Le Chef de Bureau

TANAKA Kaori



Conakry, le 6 FEV 2016 20

MINISTRE DE L'ENSEIGNEMENT
PRE-UNIVERSITAIRE ET DE L'ALPHABÉTISATION
(MEPU-A)

0153
N°...../MEPU-A/CAB/20....

Secrétaire Général




Madame Tanaka KAORI

Objet : Notification de la modification éventuelle de l'étendue des travaux
concernant le projet de coopération de suivi du projet de construction d'écoles primaires à
Conakry

Madame,

En réponse de la lettre N° 109/JICA en date du 10 février 2016, j'ai le plaisir de vous adresser mes cordiales salutations et vous informer, que je ne trouve aucune objection et je donne mon accord sur la proposition contenues dans la correspondance.

Vous souhaitant bonne réception, veuillez recevoir l'expression de ma franche collaboration

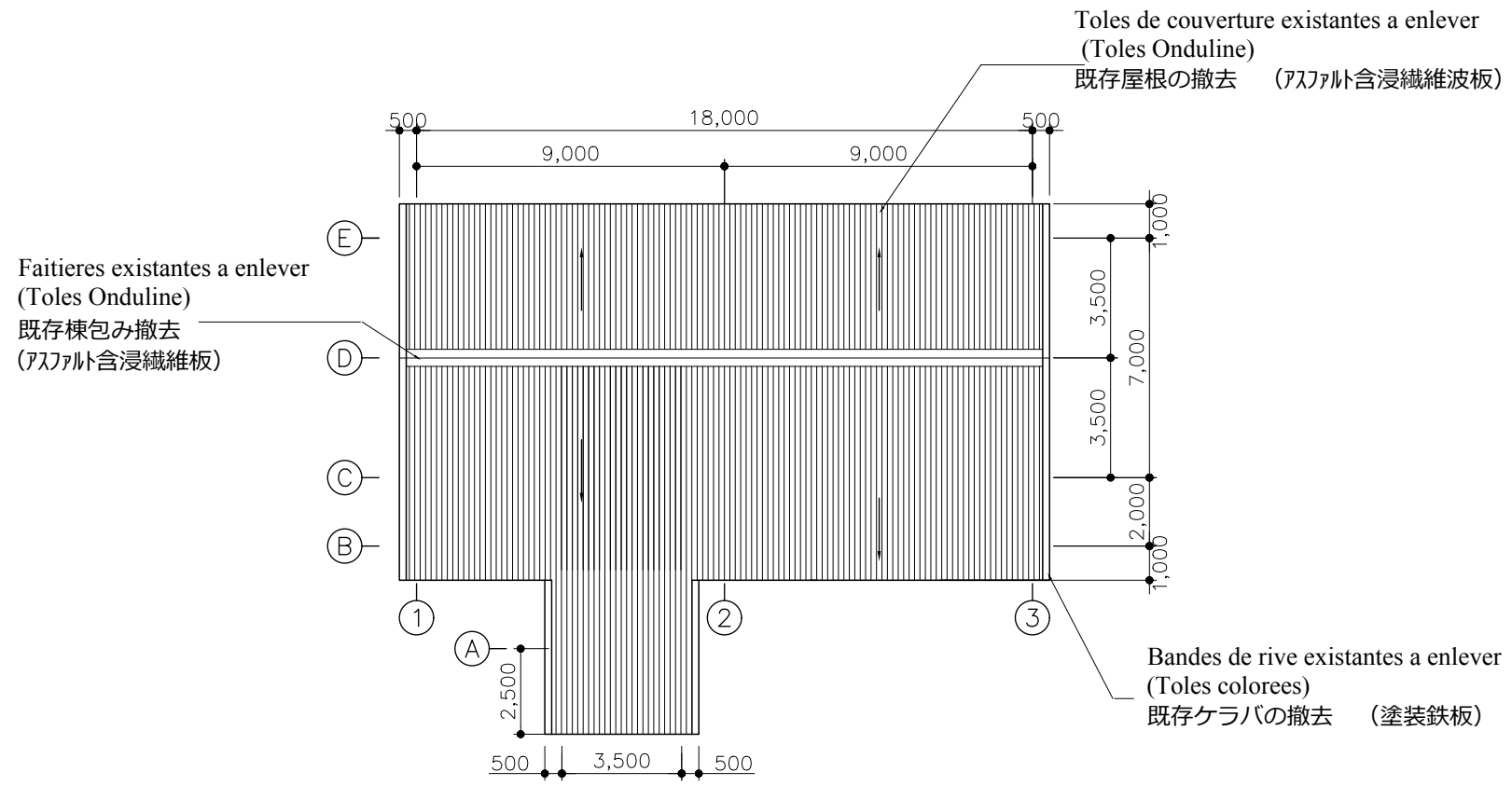

Dr Soriba SYLLA

5. 対象校の現況

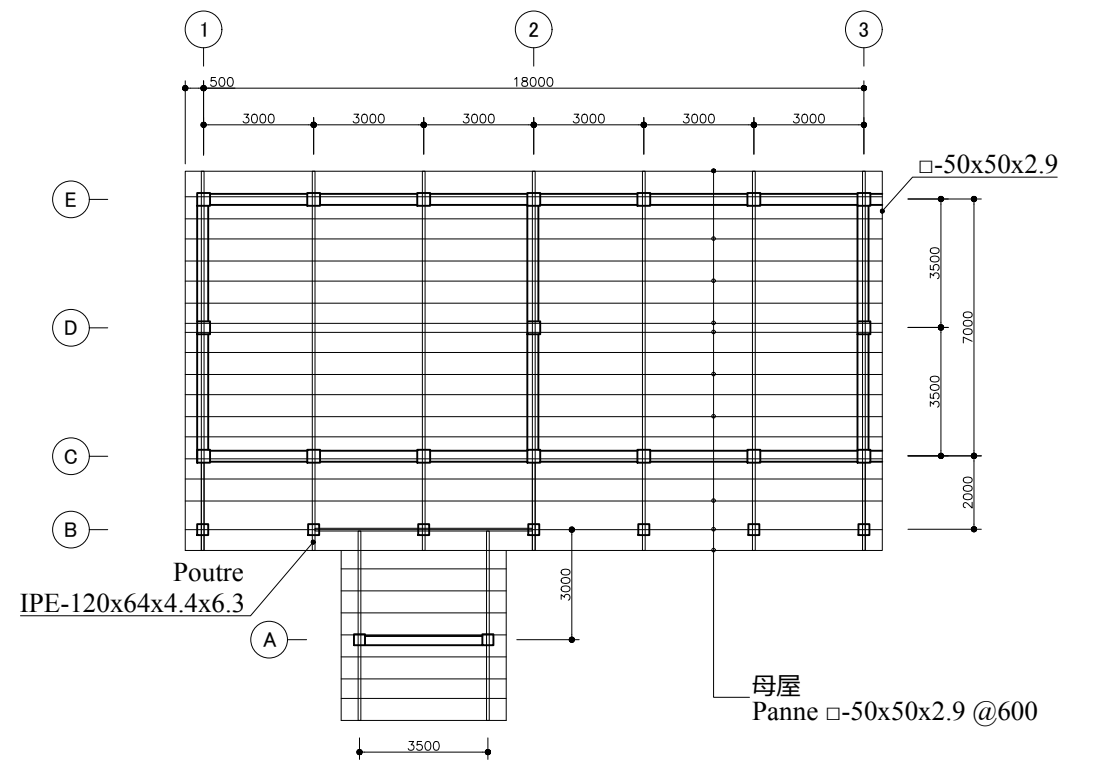
5. 対象校の現況

No.	学校名	建物の状況	屋根の状況	雨漏りの状況	トイレの状況	その他	維持管理
D1	Dixinn Centre 1	3階建 最上部4教室	屋根材劣化 棟材のたわみ・穴	4教室 大きく雨漏り (使用不能)	屋根材劣化・雨漏り	床モルタル破損 ドアノブ破損	APEAE 活動
D7	Belle-Vue Marché	3階建 最上部3教室	屋根材劣化 (屋根材棟まで)	1教室 大きく雨漏り (使用不能) 2教室 一部雨漏り	屋根材劣化・雨漏り	ドアノブ破損	APEAE 活動
MM5	Carrière Centre	3階建 最上部2教室	屋根材劣化 (屋根材棟まで)	1教室 大きく雨漏り (使用不能) 1教室 一部雨漏り	屋根材劣化・雨漏り	ドアノブ破損	APEAE 活動
MM14	Carrière Cité 1	2階建 最上部4教室	屋根材劣化 (屋根材棟まで) 棟材のたわみ・穴	1教室 大きく雨漏り (使用不能) 3教室 一部雨漏り	屋根材ほとんどなし 母屋材一部不明	床モルタル破損 ドアノブ破損	APEAE 活動
M2	Simbaya 1	2階建 最上部5教室	屋根材劣化 (屋根材棟まで)	5教室 一部雨漏り テープ補修 階段屋根劣化激しい	屋根材劣化・雨漏り 棟に穴	床モルタル破損 ドアノブ破損 電灯設置	APEAE 活動
M5	Dabompa	2階建 最上部4教室	屋根材劣化 棟材のたわみ・穴	4教室 大きく雨漏り (使用不能)	屋根材劣化・雨漏り 一部屋根材取れている	階段踊り場袖壁クラック 床モルタル破損 ドアノブ破損	APEAE 活動 用務員がいて清掃 良好
M7	Gbessia Cité 2	3階建 最上部3教室	屋根材劣化 棟材のたわみ・穴	3教室 雨漏り	屋根材劣化・雨漏り	床モルタル破損	APEAE 活動 清掃等がきちんと 行われている。
M13	Enta Fassa (Koichiro Matsuura)	3階建・2棟 最上部3・4教室 校長室	屋根材劣化 棟材のたわみ・穴	4教室 大きく雨漏り (使用不能) 3教室 一部雨漏り	屋根材劣化・雨漏り	ソーラーパネル設置 床モルタル破損 ドアノブ破損	APEAE 活動
R3	Kaporo	2階建 最上部3教室	屋根材劣化激しい 棟材のたわみ・穴	2教室 大きく雨漏り (使用不能) 1教室 一部雨漏り	屋根材劣化激しい	床モルタル破損	APEAE 活動
R7	Sonfonia Gare	2階建・2棟 最上部4教室 x2 校長室	屋根材劣化 (屋根材棟まで)	8教室 一部雨漏り	屋根材劣化・雨漏り	ソーラーパネル設置 床モルタル破損 ドアノブ破損	APEAE 活動 維持管理良好。

6. 施設改修図面



Plan indiquant les toles a enlever
屋根材撤去範囲図



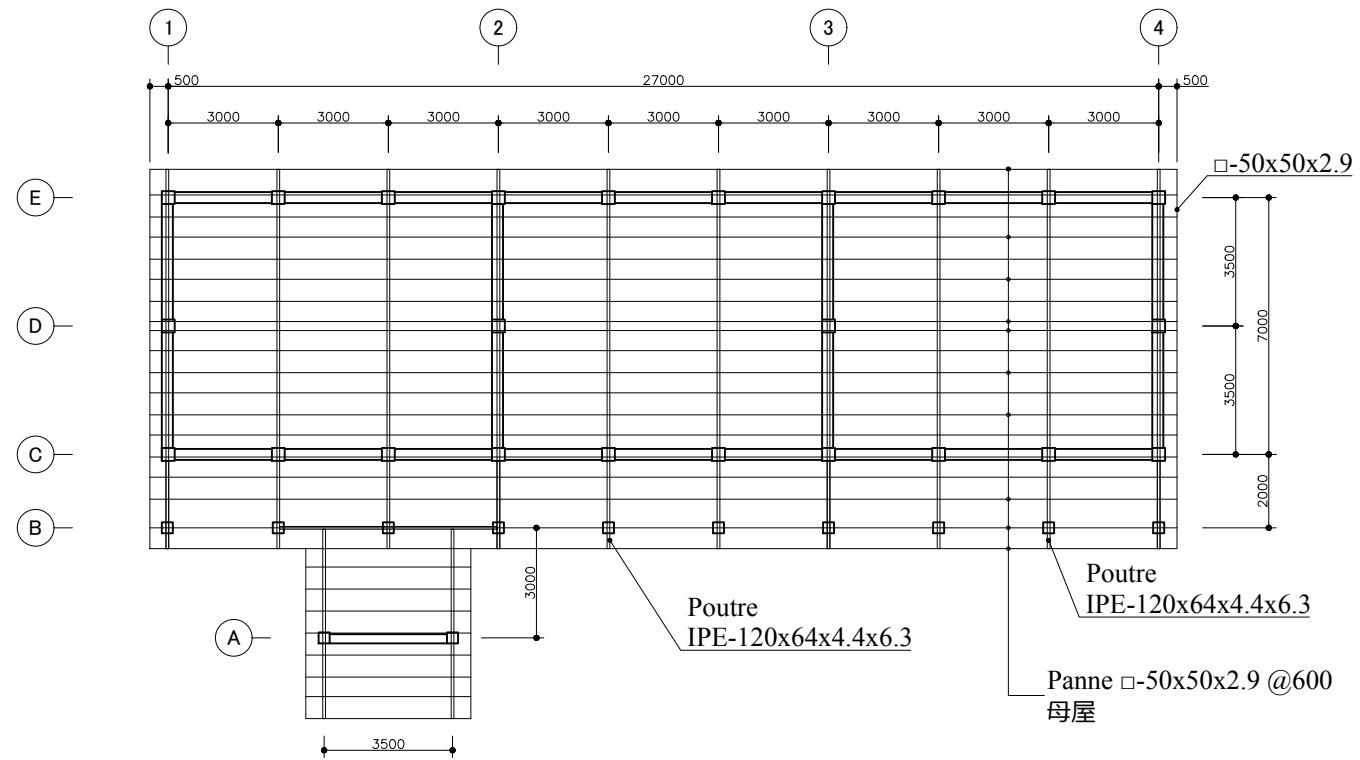
Plan indiquant les pannes a repeindre
母屋材再塗装範囲図

Nom du site avec un bâtiment R+2 à 2 salles de classe
3階2教室のサイト名
1. MM5 CARRIERE CENTRE (LOT No. 1)

Pannes a repeindre
母屋材の再塗装

TENDER PURPOSE ONLY

	LA COOPERATION DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION DES ÉCOLES PRIMAIRES DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE	ECHELLE / SCALE 1:200
	Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation	
Titre / Title Plan de réparation de couverture : bâtiment à 2 salles de classe 校舍屋根改修図 2教室タイプ		
DATE / DATE 16/OCT./15	DESSINÉ / DESIGNED T.NAKAMURA	VERIFIÉ / CHECKED T.KURUMADA
	APPROUVÉ / APPROVED N.MINAMI	N° PLAN / DWG. No. A-01
YACHIYO ENGINEERING CO., LTD. TOKYO, JAPAN		



Plan indiquant les pannes a repeindre
母屋材再塗装範囲図

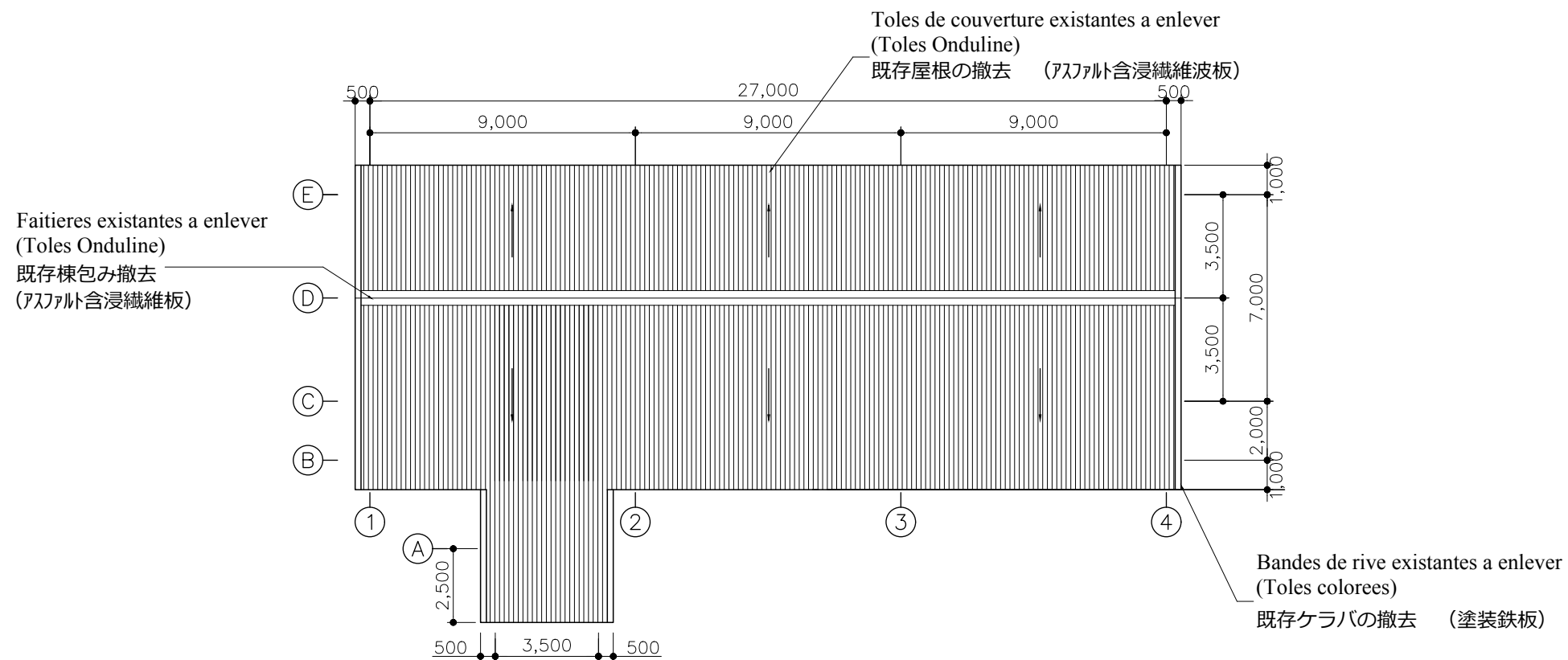
Nom du site avec un bâtiment R+1 à 3 salles de class
2階3教室のサイト名

1. R2 DAR-ES-SALAM (LOT No. 2)
2. R3 KAPORO (LOT No. 2)

Nom du site avec un bâtiment R+2 à 3 salles de class
3階3教室のサイト名



1. M13 ENTA FASSA (LOT No. 1)
2. D7 BELL-VUE MARCHÉ (LOT No. 2)
3. M7 GBESSIA CITE 2 (LOT No. 2)

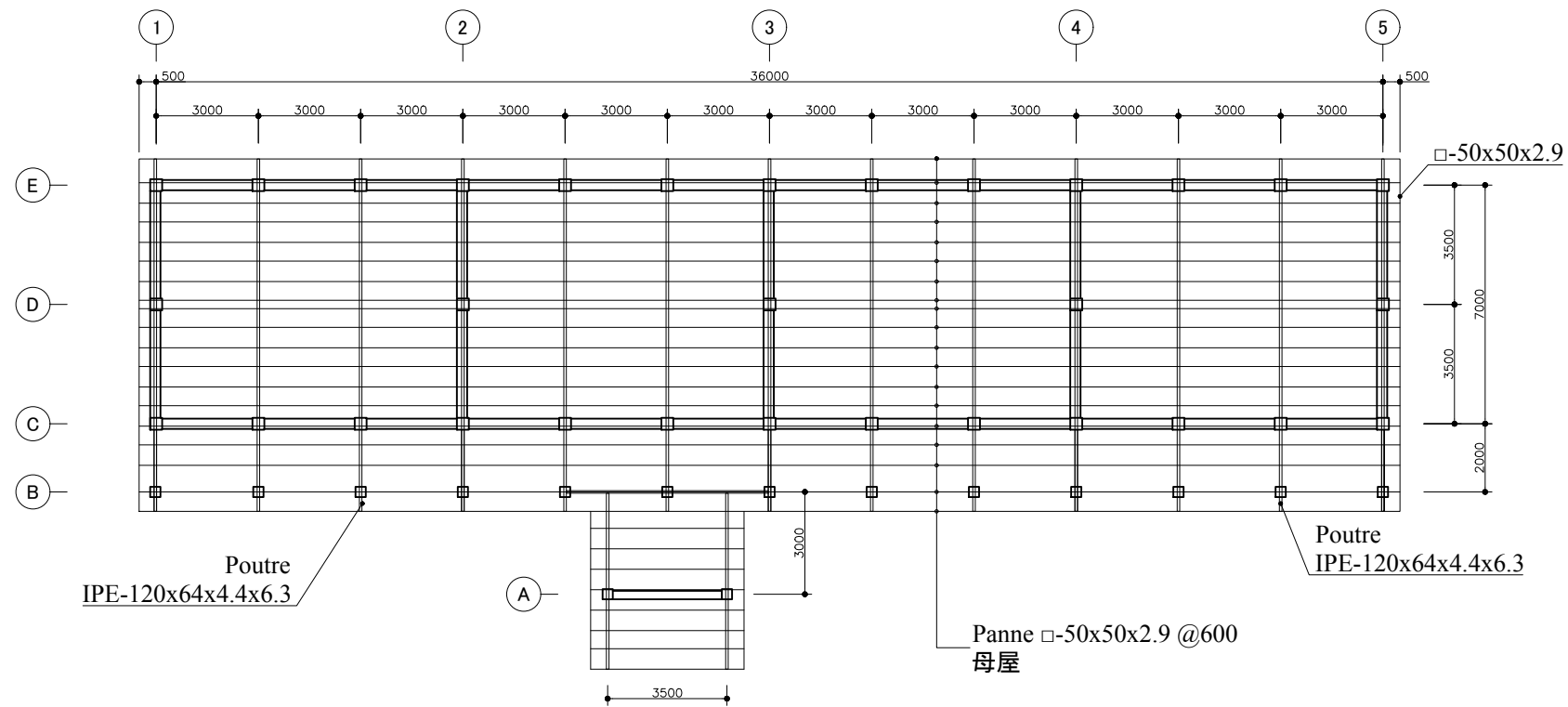
Pannes a repeindre
母屋材の再塗装



Plan indiquant les toles a enlever
屋根材撤去範囲図

TENDER PURPOSE ONLY

	LA COOPERATION DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION DES ÉCOLES PRIMAIRES DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE	ECHELLE / SCALE 1:200
	Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation	
Titre / Title Plan de réparation de couverture : bâtiment à 3 salles de classe 校舎屋根改修図 3教室タイプ		
DATE / DATE 16/OCT./15	DESSINÉ / DESIGNED T.NAKAMURA	VERIFIÉ / CHECKED T.KURUMADA
	APPROUVÉ / APPROVED N.MINAMI	N° PLAN / DWG. No. A-02
 YACHIYO ENGINEERING CO., LTD. TOKYO, JAPAN		



Plan indiquant les pannes a repeindre

母屋材再塗装範囲図

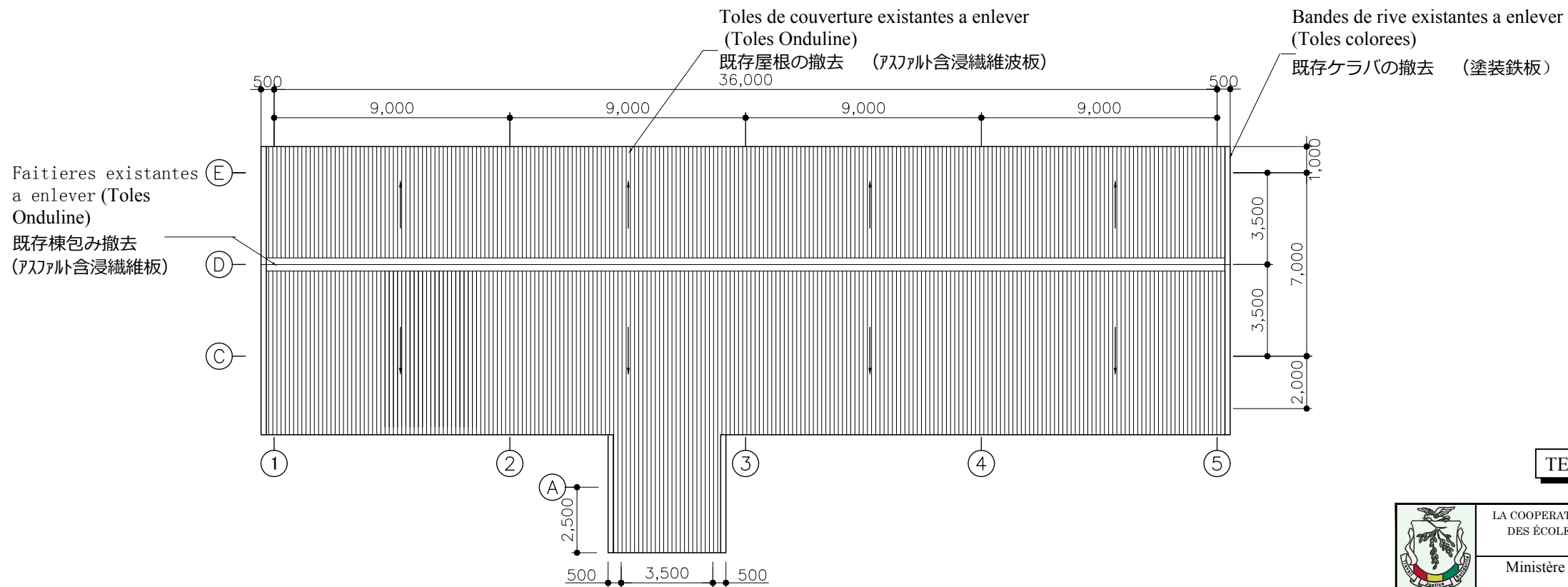
Nom du site avec un bâtiment R+1 à 4 salles de classe
2階4教室のサイト名

1. R7 SONFONIA GARE x 2 bâtiments (LOT No. 1)
2. M5 DABOMPA (LOT No. 1)
3. MM14 CARRIER CITE 1 (LOT No. 2)

Nom du site avec un bâtiment R+2 à 4 salles de classe
3階4教室のサイト名

1. M13 ENTA FASSA (LOT No. 1)
2. D1 DIXINN CENTRE 1 (LOT No. 2)

Pannes a repeindre
母屋材の再塗装

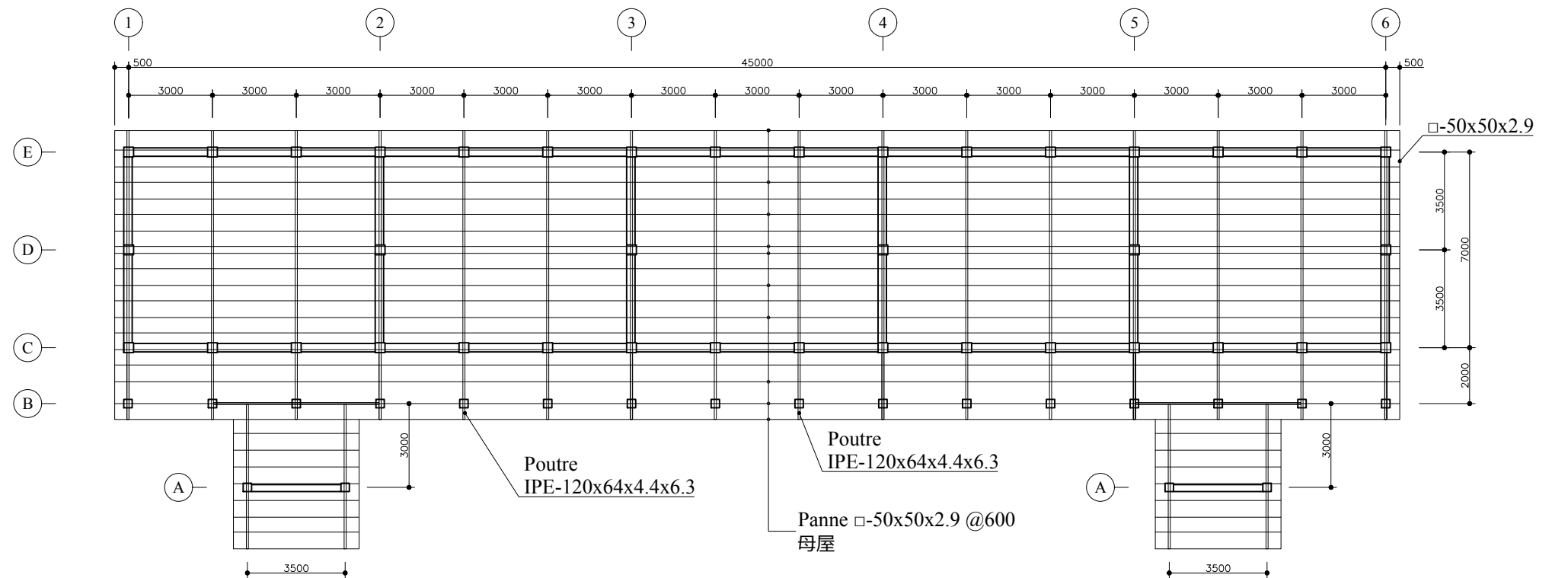


Plan indiquant les toles a enlever

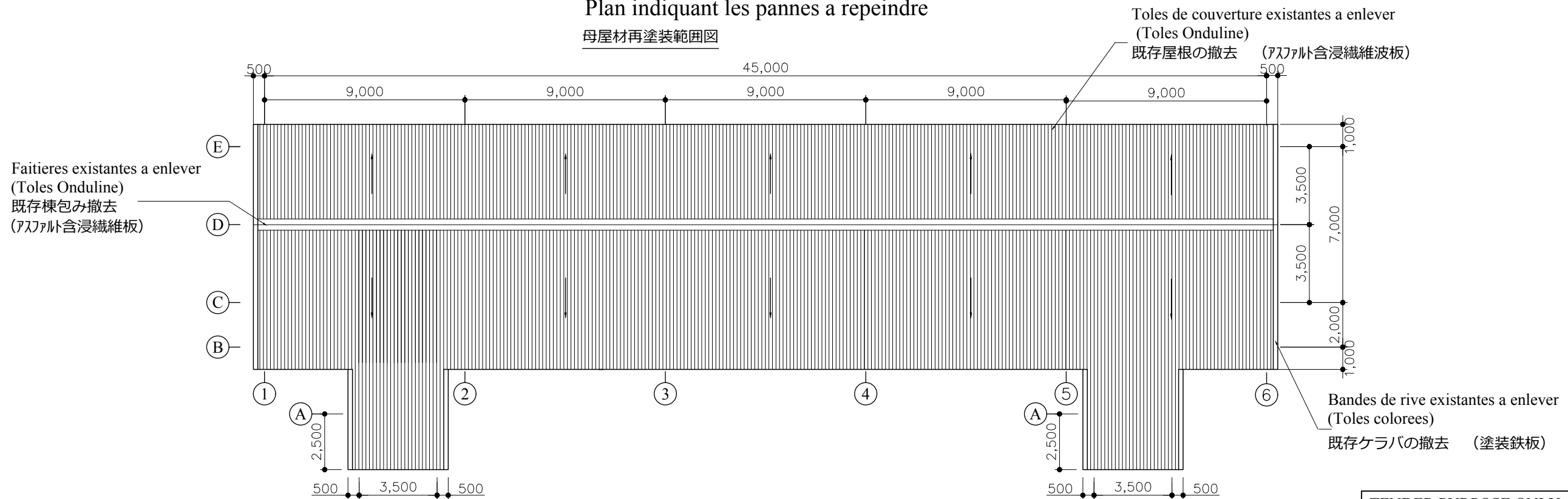
屋根材撤去範囲図

TENDER PURPOSE ONLY

	LA COOPERATION DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION DES ÉCOLES PRIMAIRES DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE	ECHELLE / SCALE 1:200
	Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation	
Titre / Title Plan de réparation de couverture : bâtiment à 4 salles de classe 校舍屋根改修図 4教室タイプ		
DATE / DATE 16/OCT./15	DESSINÉ / DESIGNED T.NAKAMURA	VERIFIÉ / CHECKED T.KURUMADA
	APPROUVÉ / APPROVED N.MINAMI	N° PLAN / DWG. No. A-03
 YACHIYO ENGINEERING CO., LTD. TOKYO, JAPAN		



Plan indiquant les pannes a repeindre
母屋材再塗装範囲図





Plan indiquant les toles a enlever
屋根材撤去範囲図

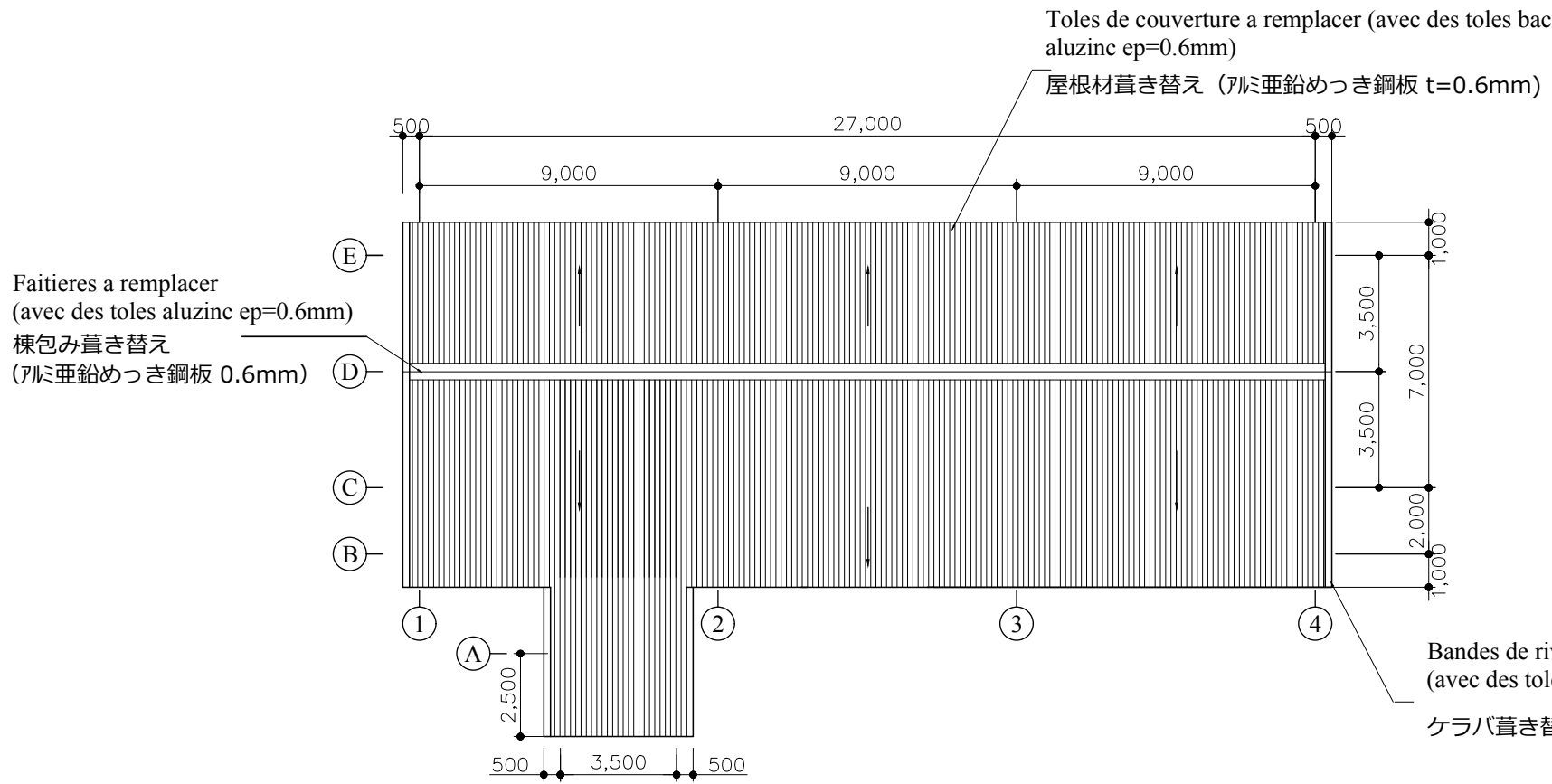
Nom du site avec un bâtiment R+1 à 5 salles de classe
2階5教室のサイト名

1. M2 SIMBAYA 1 (LOT No. 1)

Pannes a repeindre
母屋材の再塗装

TENDER PURPOSE ONLY

	LA COOPERATION DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION DES ÉCOLES PRIMAIRES DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE	ECHELLE / SCALE 1:200
	Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation	
Titre / Title Plan de réparation de couverture : bâtiment à 5 salles de classe 校舎屋根改修図 5教室タイプ		
DATE / DATE 16/OCT./15	DESSINÉ / DESIGNED T.NAKAMURA	VERIFIÉ / CHECKED T.KURUMADA
	APPROUVÉ / APPROVED N.MINAMI	N° PLAN / DWG. No. A-04
 YACHIYO ENGINEERING CO., LTD. TOKYO, JAPAN		



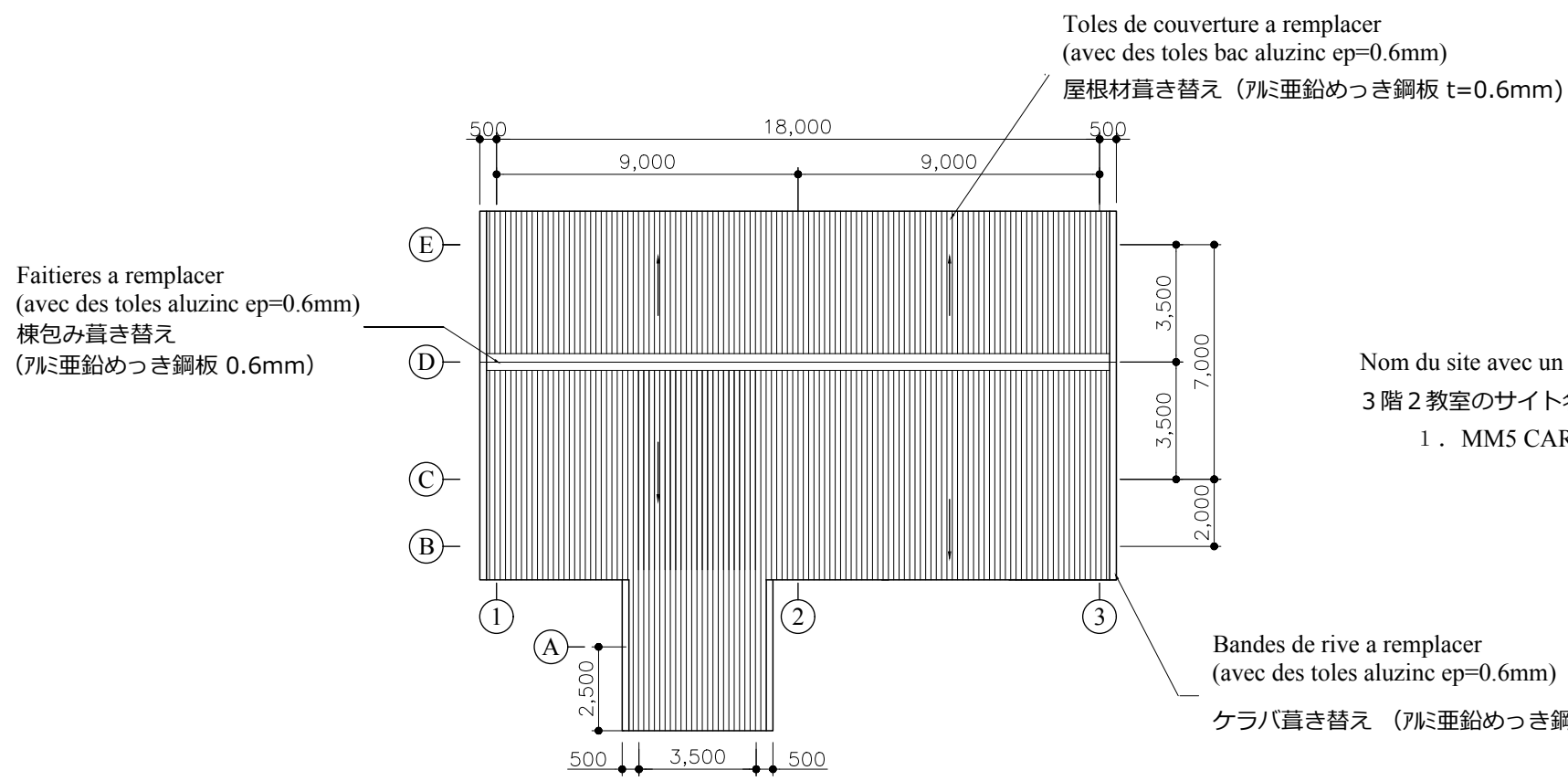
Bâtiment à 3 salles de classe
3 教室タイプ

Nom du site avec un bâtiment R+1 à 3 salles de class
2階3教室のサイト名

1. R2 DAR-ES-SALAM (LOT No. 2)
2. R3 KAPORO (LOT No. 2)

Nom du site avec un bâtiment R+2 à 3 salles de class
3階3教室のサイト名

1. M13 ENTA FASSA (LOT No. 1)
2. D7 BELL-VUE MARCHÉ (LOT No. 2)
3. M7 GBESSIA CITE 2 (LOT No. 2)



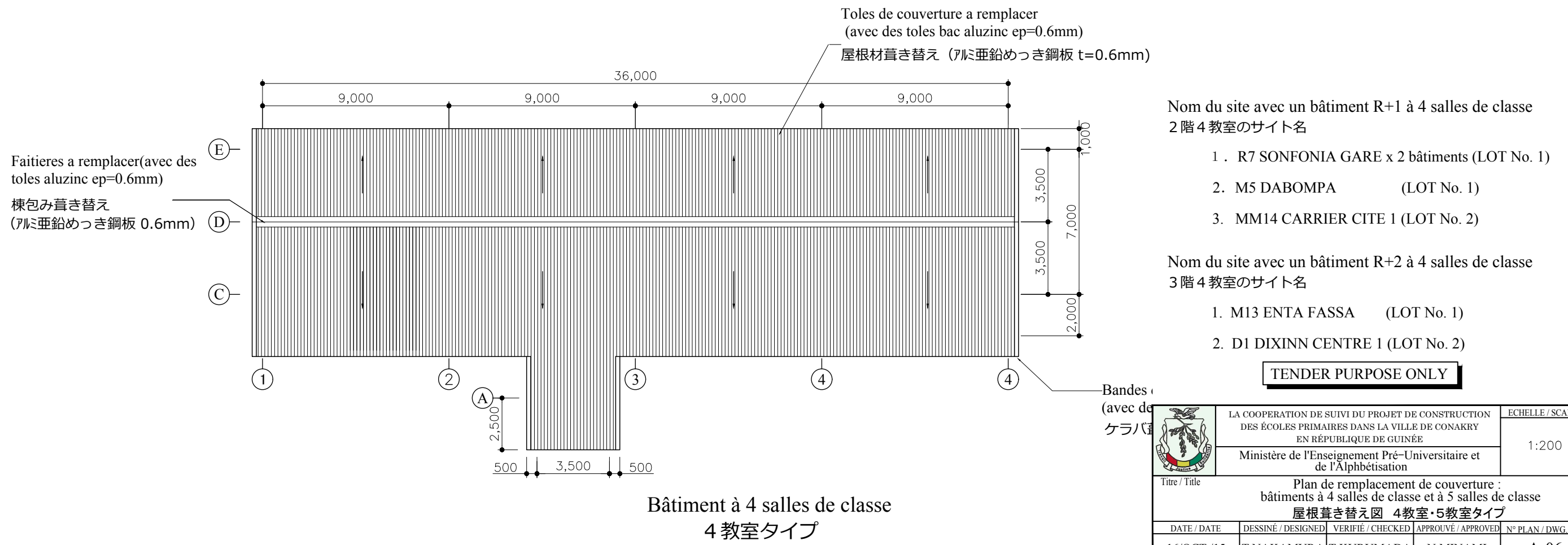
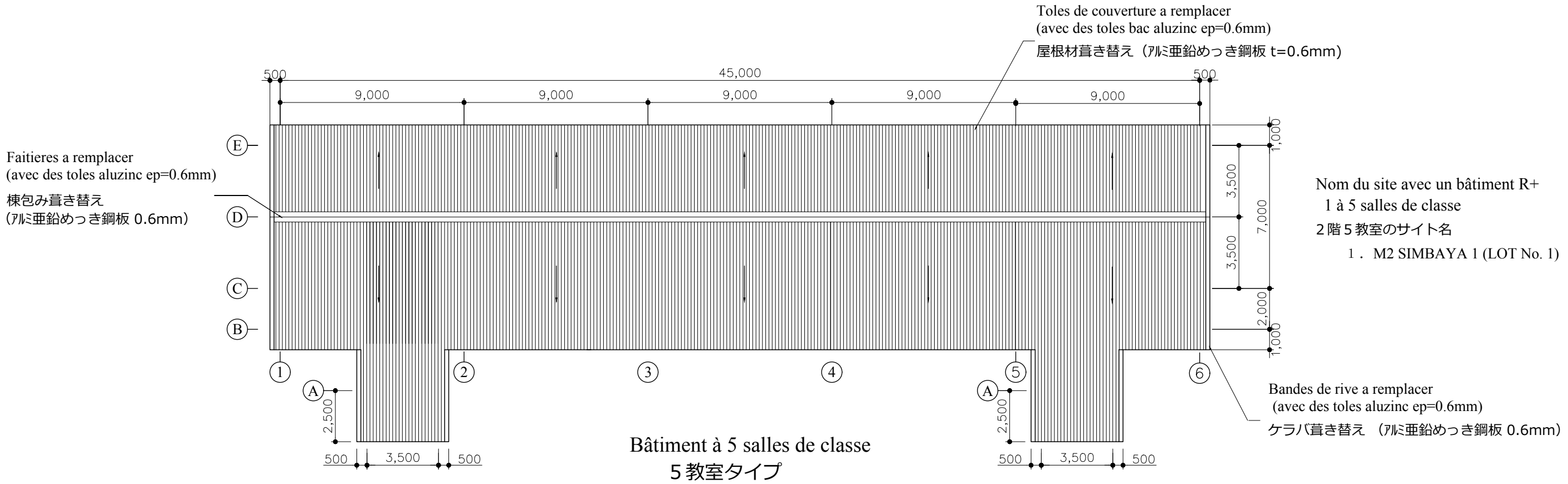
Bâtiment à 2 salles de classe
2 教室タイプ

Nom du site avec un bâtiment R+2 à 2 salles de classe
3階2教室のサイト名

1. MM5 CARRIERE CENTRE (LOT No. 1)

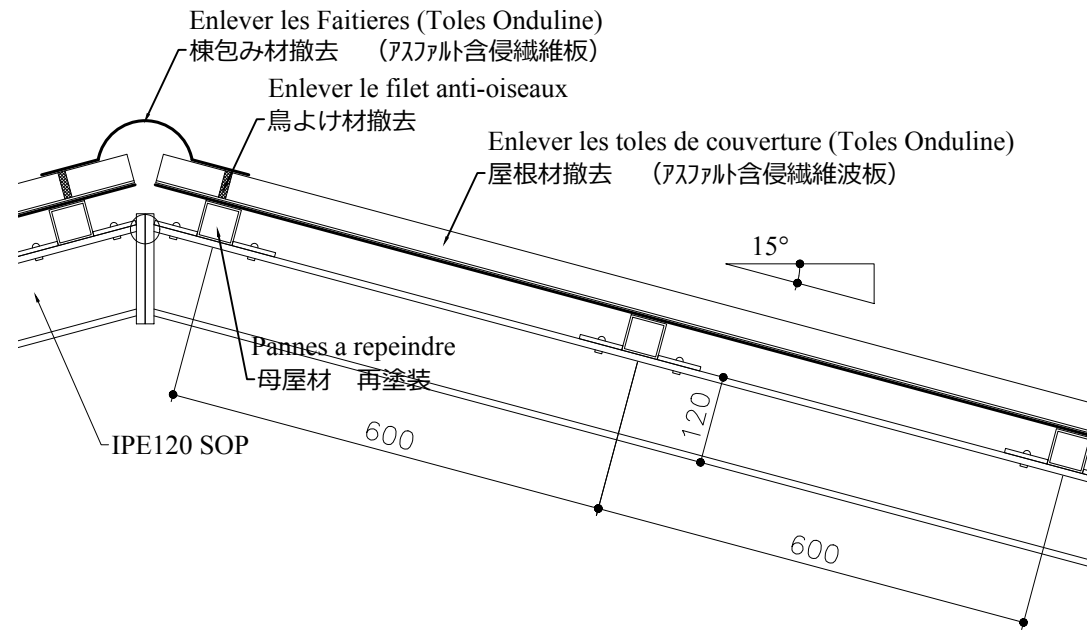
TENDER PURPOSE ONLY

	LA COOPERATION DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION DES ÉCOLES PRIMAIRES DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE	ECHELLE / SCALE 1:200
	Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation	
Titre / Title Plan de remplacement de couverture: bâtiments à 2 salles de classe et à 3 salles de classe 屋根葺き替え図 2教室・3教室タイプ		
DATE / DATE 16/OCT./15	DESSINÉ / DESIGNED T.NAKAMURA	VERIFIÉ / CHECKED T.KURUMADA
	APPROUVÉ / APPROVED N.MINAMI	N° PLAN / DWG. No. A-05
 YACHIYO ENGINEERING CO., LTD. TOKYO, JAPAN		

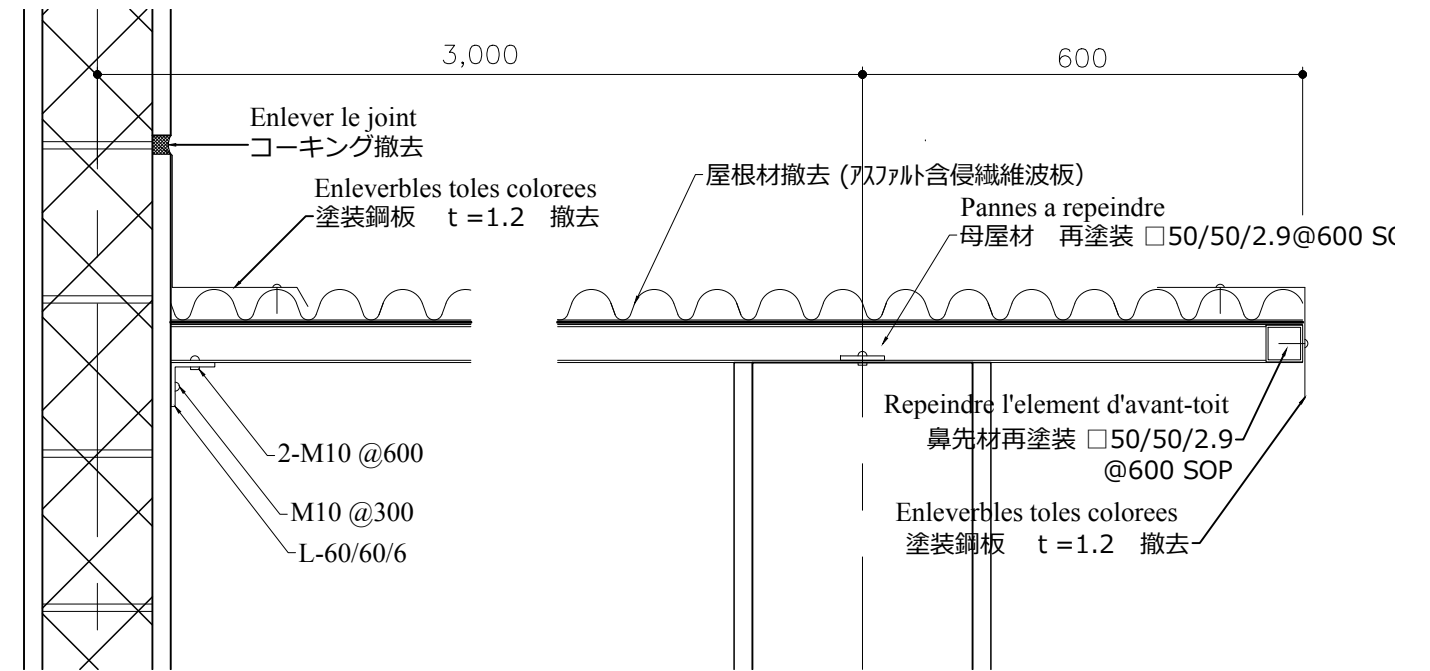


TENDER PURPOSE ONLY

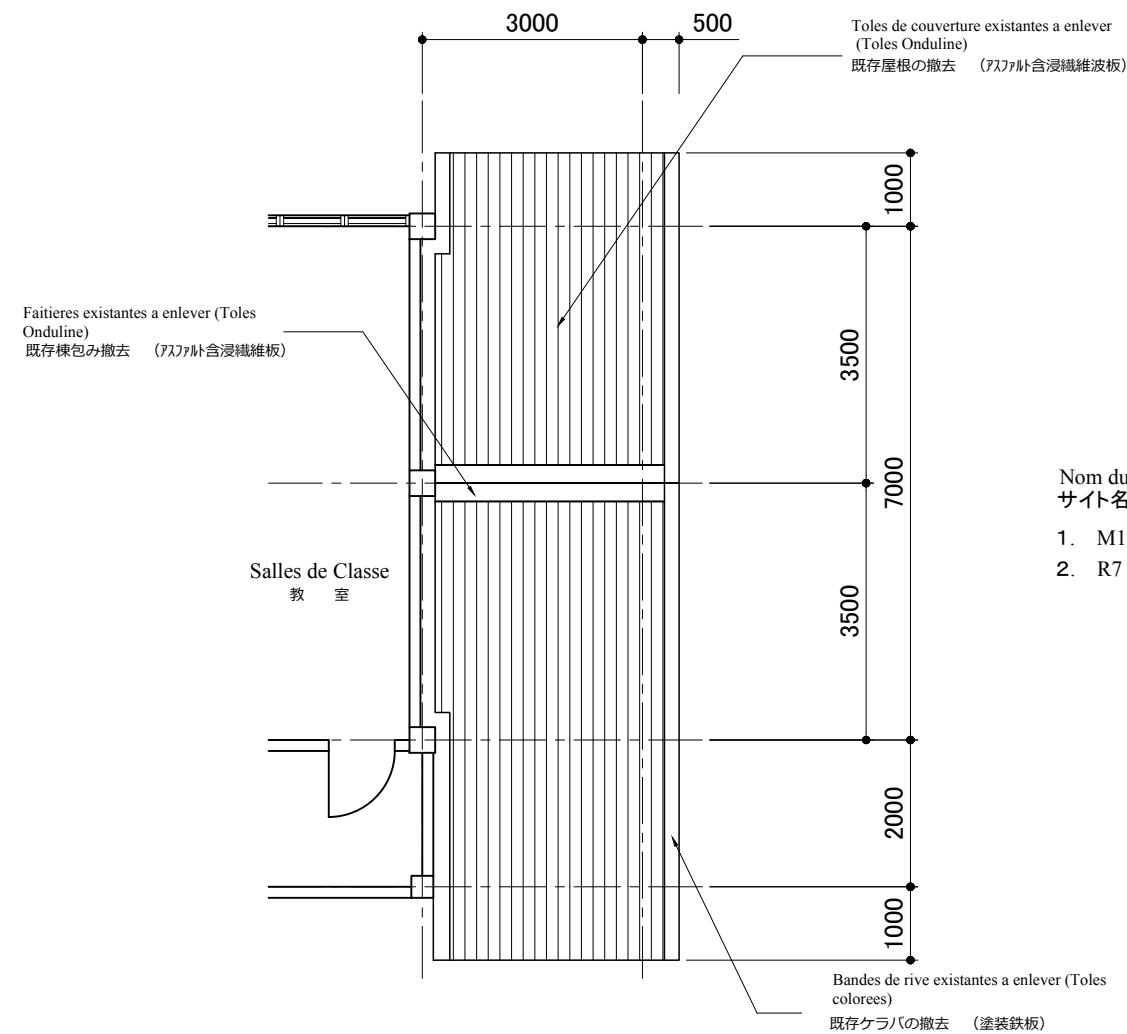
	LA COOPERATION DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION DES ÉCOLES PRIMAIRES DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE	ECHELLE / SCALE 1:200
	Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation	
Titre / Title Plan de remplacement de couverture : bâtiments à 4 salles de classe et à 5 salles de classe 屋根葺き替え図 4教室・5教室タイプ		
DATE / DATE 16/OCT/15	DESSINÉ / DESIGNED T.NAKAMURA	VERIFIÉ / CHECKED T.KURUMADA
	APPROUVÉ / APPROVED N.MINAMI	N° PLAN / DWG. No. A-06
 YACHIYO ENGINEERING CO., LTD. TOKYO, JAPAN		



DETAIL FAITIERE
棟部詳細 1:10




DETAIL DE LA TOITURE DU BUREAU DE DIRECTEUR
校長室屋根詳細 1:10

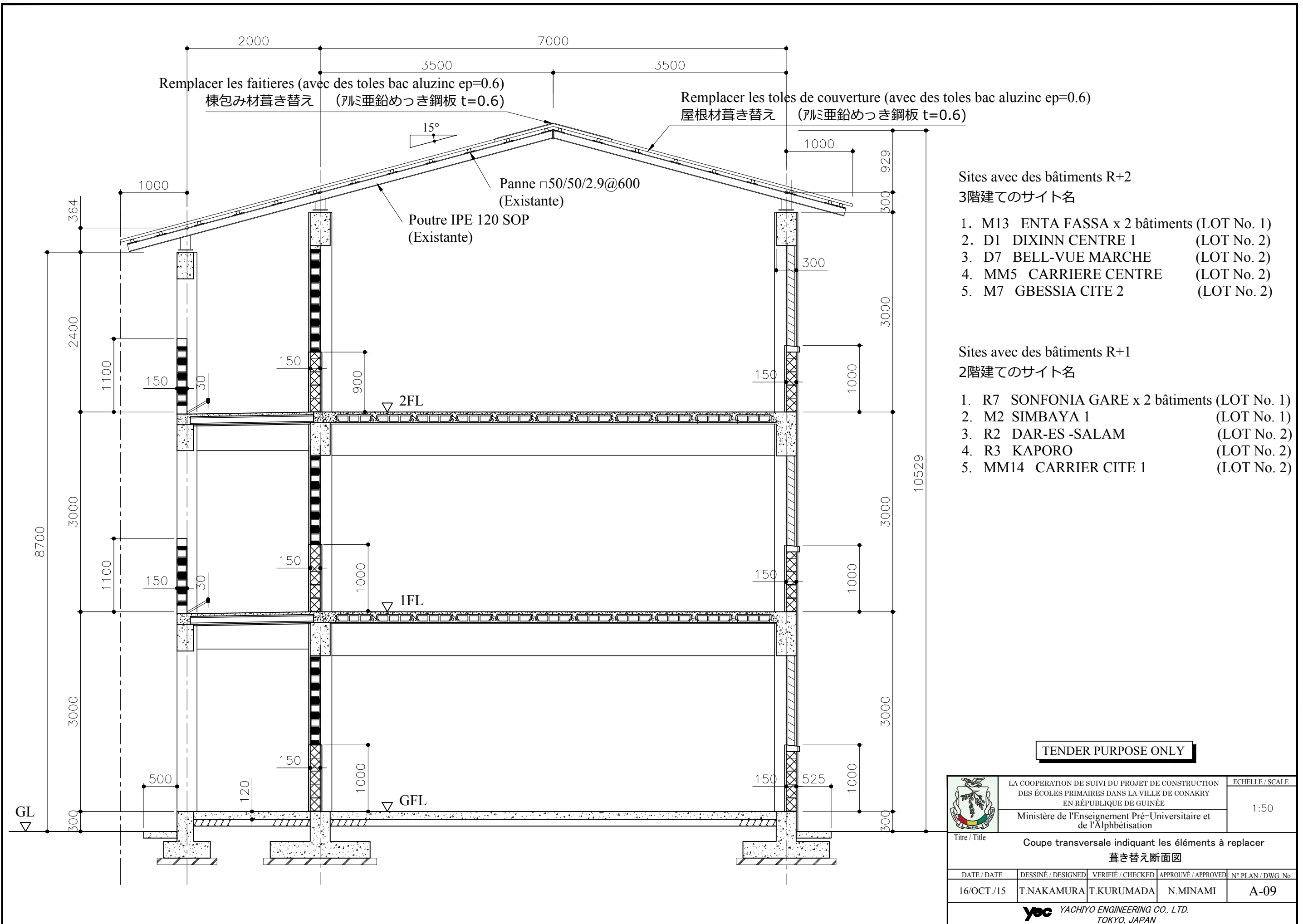


Plan indiquant les toles a enlever (salle de directeur)
屋根材撤去範囲図(校長室) 1:100

- Nom du site
サイト名
1. M13 ENTA FASSA (LOT No. 1)
 2. R7 SONFONIA GARE (LOT No. 1)

TENDER PURPOSE ONLY

	LA COOPERATION DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION DES ÉCOLES PRIMAIRES DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation			ECHELLE / SCALE 1:10, 100
	Titre / Title DETAIL DES ELEMENTS A ENLEVER 撤去詳細図			
DATE / DATE	DESSINÉ / DESIGNED	VERIFIÉ / CHECKED	APPROUVÉ / APPROVED	N° PLAN / DWG. No.
16/OCT./15	T.NAKAMURA	T.KURUMADA	N.MINAMI	A-08
 YACHIYO ENGINEERING CO., LTD. TOKYO, JAPAN				




Sites avec des bâtiments R+2
3階建てのサイト名

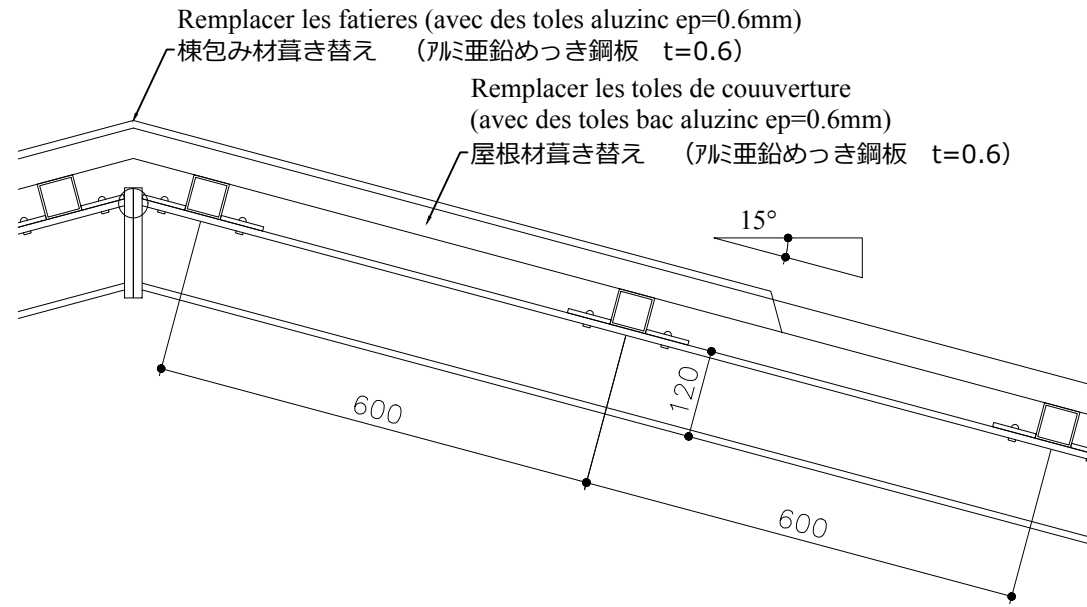
- 1. M13 ENTA FASSA x 2 bâtiments (LOT No. 1)
- 2. D1 DIXINN CENTRE 1 (LOT No. 2)
- 3. D7 BELL-VUE MARCHÉ (LOT No. 2)
- 4. MM5 CARRIERE CENTRE (LOT No. 2)
- 5. M7 GBESSIA CITE 2 (LOT No. 2)

Sites avec des bâtiments R+1
2階建てのサイト名

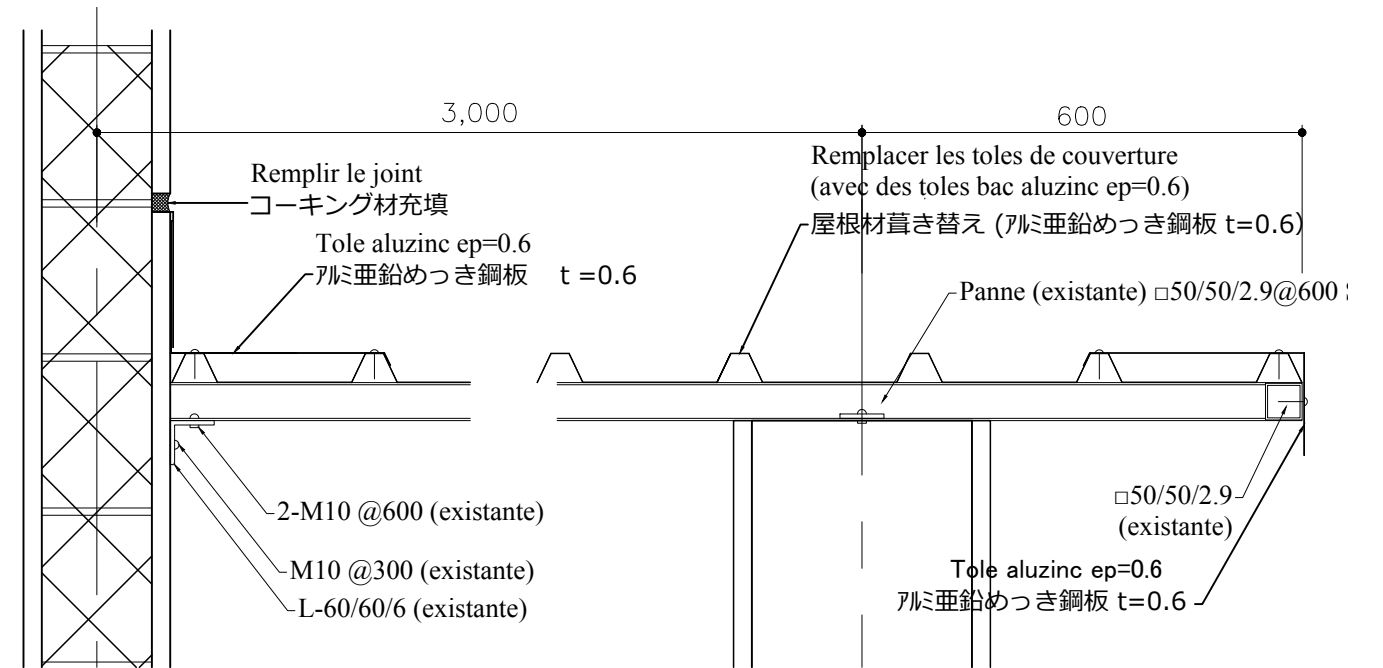
- 1. R7 SONFONIA GARE x 2 bâtiments (LOT No. 1)
- 2. M2 SIMBAYA 1 (LOT No. 1)
- 3. R2 DAR-ES -SALAM (LOT No. 2)
- 4. R3 KAPORO (LOT No. 2)
- 5. MM14 CARRIER CITE 1 (LOT No. 2)

TENDER PURPOSE ONLY

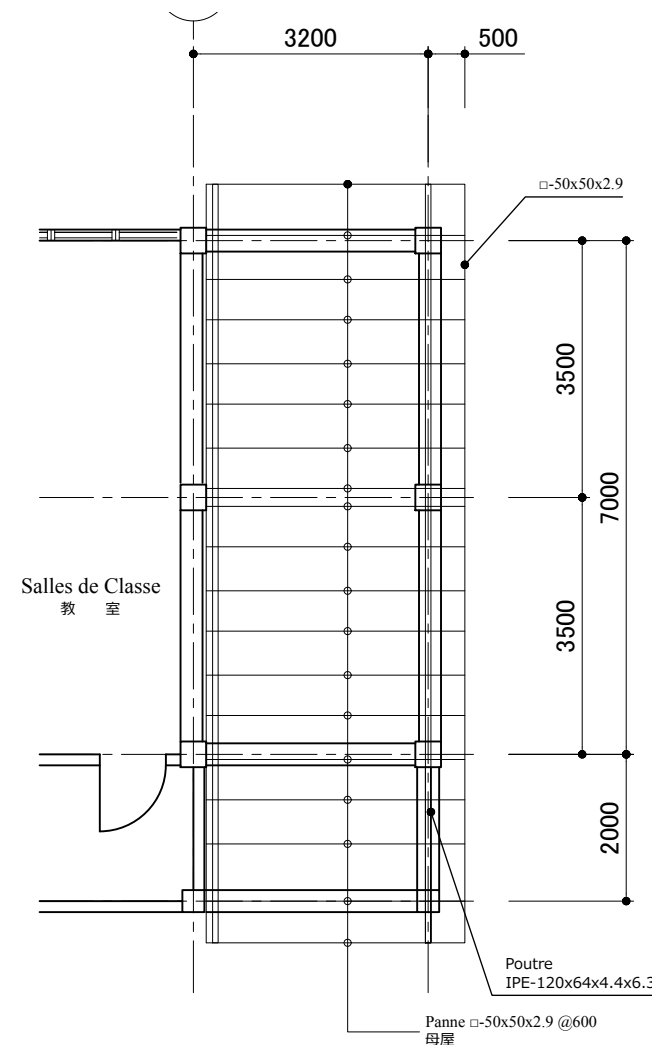
	LA COOPERATION DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION DES ÉCOLES PRIMAIRES DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation			ECHELLE / SCALE 1:50
	Titre / Title Coupe transversale indiquant les éléments à remplacer 葺き替え断面図			
DATE / DATE 16/OCT./15	DESSINÉ / DESIGNED T.NAKAMURA	VÉRIFIÉ / CHECKED T.KURUMADA	APPROUVÉ / APPROVED N.MINAMI	N° PLAN / DWG. No. A-09
 YACHIYO ENGINEERING CO., LTD. TOKYO, JAPAN				



DETAIL FAITIERE
棟部詳細 1:10

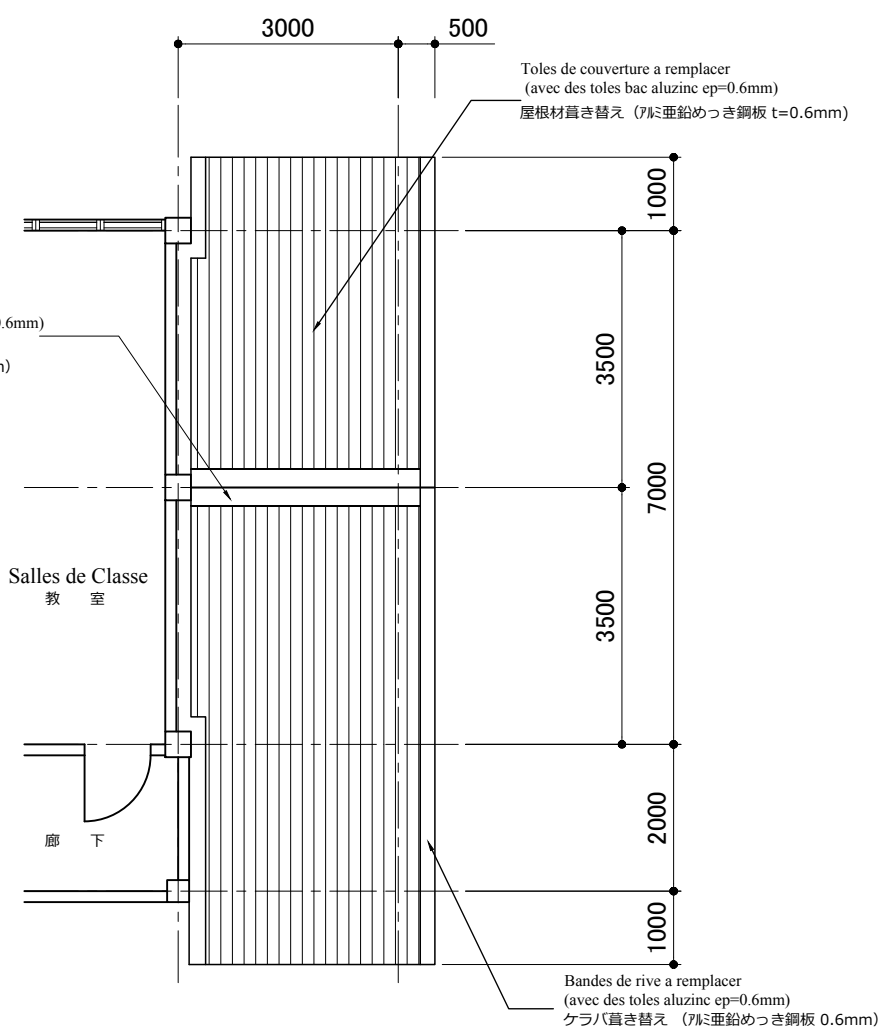


DETAIL DE LA TOITURE DU BUREAU DE DIRECTEUR
校長室屋根詳細 1:10



Plan indiquant les pannes a repeindre (salle de directeur)
母屋材再塗装範囲図 (校長室) 1:100

- Faitieres a remplacer (avec des toles aluzinc ep=0.6mm)
棟包み葺き替え (アルミ亜鉛めっき鋼板 0.6mm)
- Nom du site
サイト名
- M13 ENTA FASSA (LOT No. 1)
 - R7 SONFONIA GARE (LOT No. 1)
- Pannes a repeindre
母屋材の再塗装

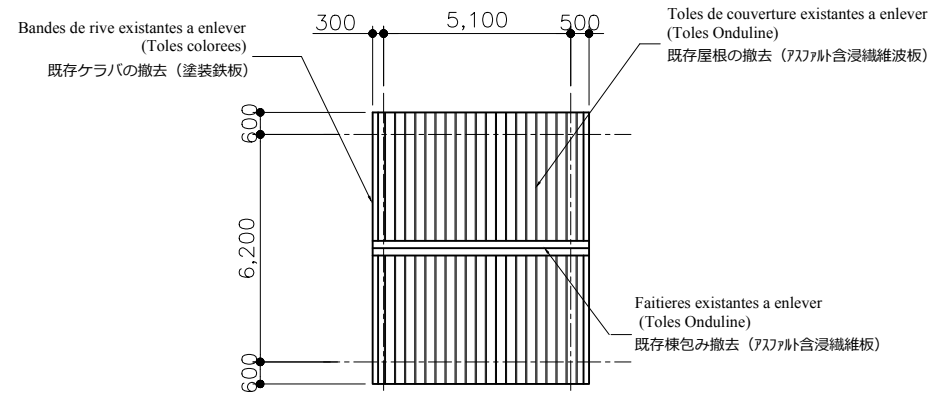


Plan des toles de couverture a remplacer (salle de directeur)
屋根葺き替え図 (校長室) 1:100

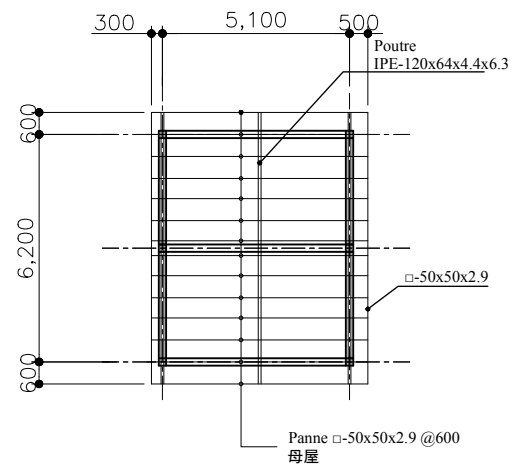
TENDER PURPOSE ONLY

	LA COOPERATION DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION DES ÉCOLES PRIMAIRES DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE	ECHELLE / SCALE 1:10, 1:100
	Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation	
Titre / Title DETAIL DES ELEMENTS A REMPLACER 葺き替え詳細図		
DATE / DATE 16/OCT./15	DESSINÉ / DESIGNED T.NAKAMURA	VERIFIÉ / CHECKED T.KURUMADA
	APPROUVÉ / APPROVED N.MINAMI	N° PLAN / DWG. No. A-10
YACHIYO ENGINEERING CO., LTD. TOKYO, JAPAN		

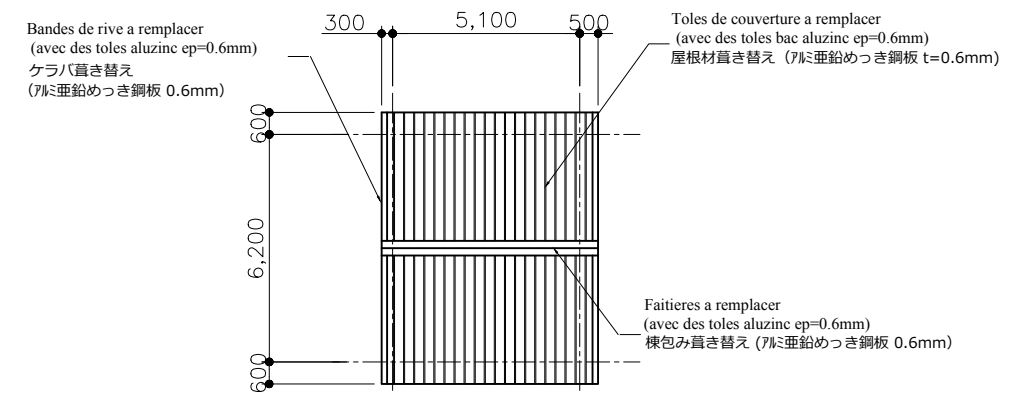
Latrines à 6 cabines 6ブースタイプ便所



Plan indiquant les toles a enlever
屋根材撤去範囲図

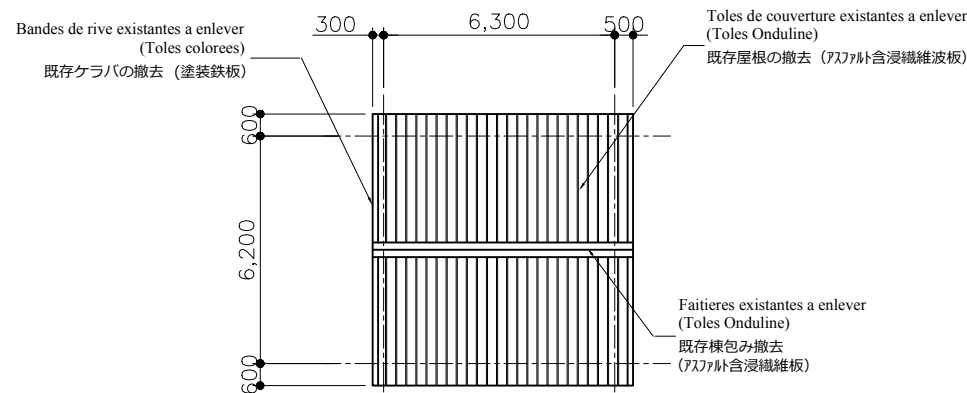


Plan indiquant les pannes a repeindre
母屋材再塗装範囲図

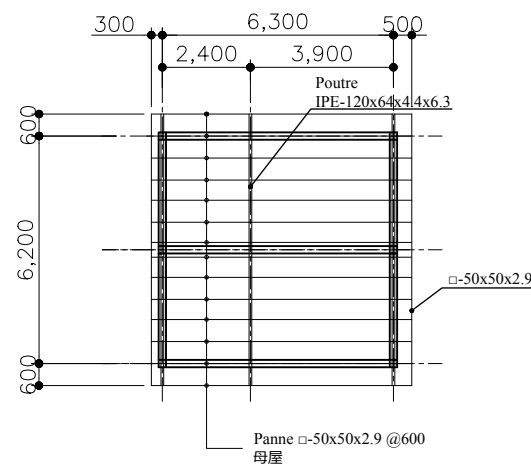


Plan des toles de couverture a remplacer
屋根葺き替え図

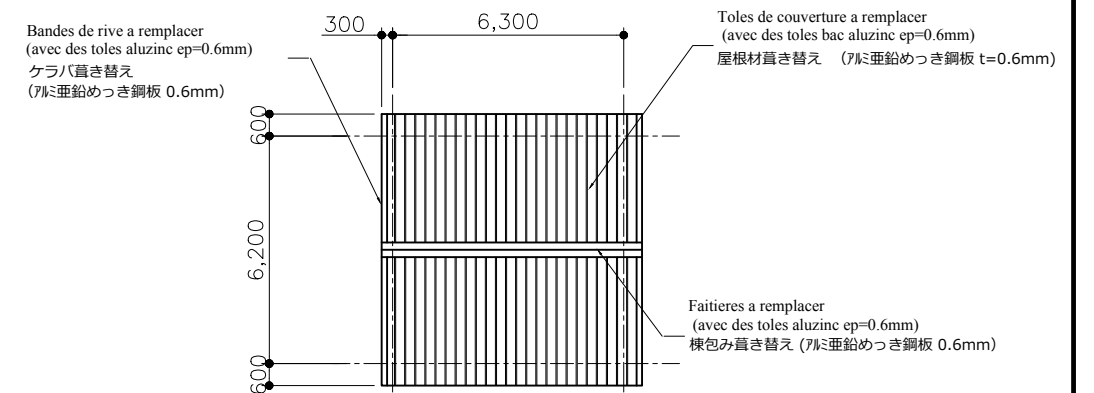
Latrines à 8 cabines 8ブースタイプ便所



Plan indiquant les toles a enlever
屋根材撤去範囲図

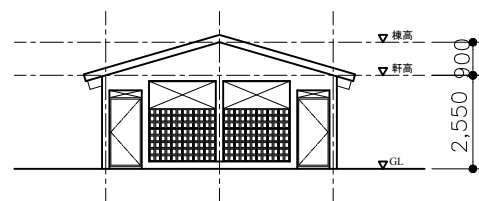


Plan indiquant les pannes a repeindre
母屋材再塗装範囲図



Plan des toles de couverture a remplacer
屋根葺き替え図

Note :
Compléter les pannes manquantes des latrines de l'école MM14 Carrière Cité 1.
注記:
1. MM14 CARRIER CITE 1の便所は落下部の母屋を追加する



Plan d'élévation côté pignon
妻側立面図

Nom du site avec des latrines à 6 cabines
6ブースタイプ便所のサイト名

1. R7 SONFONIA GARE (LOT No. 1)
2. R2 DAR-ES-SALAM (LOT No. 2)
3. R3 KAPORO (LOT No. 2)
4. MM5 CARRIERE CENTRE (LOT No. 2)

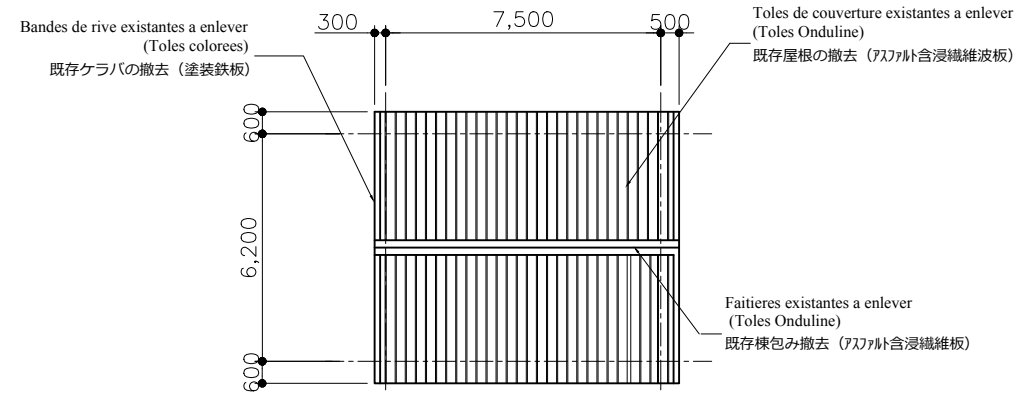
Nom du site avec des latrines à 8 cabines
8ブースタイプ便所のサイト名

1. R7 SONFONIA GARE (LOT No. 1)
2. M13 ENTA FASSA (LOT No. 1)
3. M5 DABOMPA (LOT No. 1)
4. D7 BELL-VUE MARCHÉ (LOT No. 2)
5. MM14 CARRIER CITE 1 (LOT No. 2)
6. M7 GBESSIA CITE 2 (LOT No. 2)

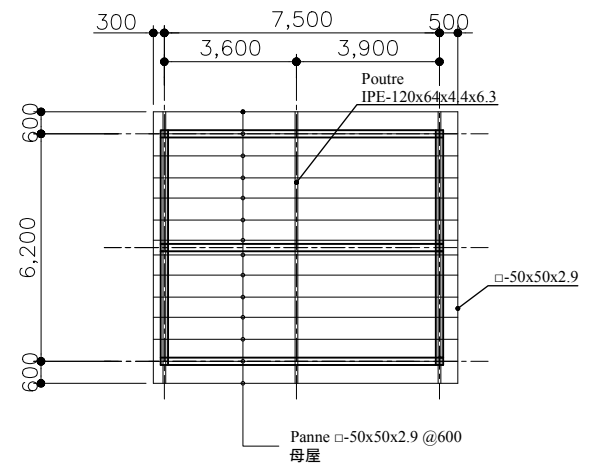
TENDER PURPOSE ONLY

	LA COOPERATION DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION DES ÉCOLES PRIMAIRES DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE	ECHELLE / SCALE
	Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation	1:200
Titre / Title Plan de réparation de couverture des latrines 1 便所屋根改修図 1		
DATE / DATE	DESSINÉ / DESIGNED	VERIFIÉ / CHECKED
16/OCT./15	T.NAKAMURA	T.KURUMADA
		APPROUVÉ / APPROVED
		N° PLAN / DWG. No.
		A-11
YEC YACHIYO ENGINEERING CO., LTD. TOKYO, JAPAN		

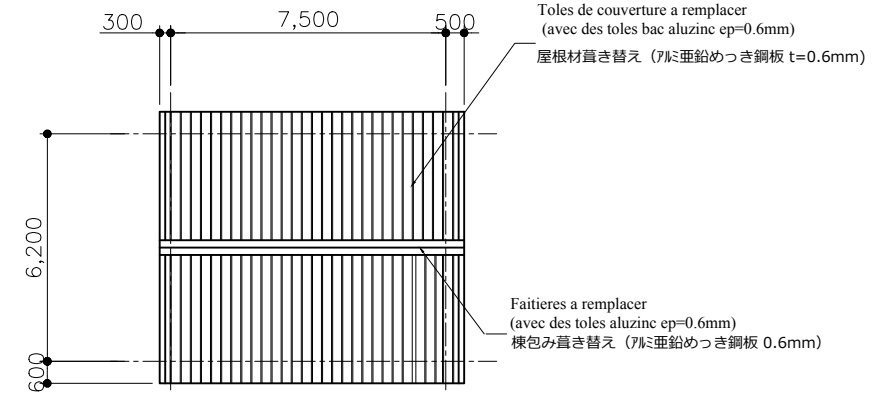
Latrines à 10 cabines 10ブースタイプ便所



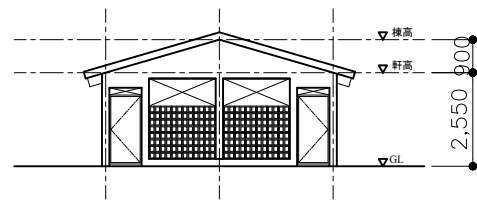
Plan indiquant les toles a enlever
屋根材撤去範囲図



Plan indiquant les pannes a repeindre
母屋材再塗装範囲図



Plan des toles de couverture a remplacer
屋根置き替え図



妻側立面図

Nom du site avec des latrines à 10 cabines
10ブースタイプ便所のサイト名

1. M13 ENTA FASSA (LOT No. 1)
2. D1 DIXINN CENTRE 1 (LOT No. 2)

TENDER PURPOSE ONLY

	LA COOPERATION DE SUIVI DU PROJET DE CONSTRUCTION DES ÉCOLES PRIMAIRES DANS LA VILLE DE CONAKRY EN RÉPUBLIQUE DE GUINÉE	ECHELLE / SCALE 1:200
	Ministère de l'Enseignement Pré-Universitaire et de l'Alphabétisation	
Titre / Title Plan de réparation de couverture des latrines 2 便所屋根改修図 2		
DATE / DATE 16/OCT./15	DESSINÉ / DESIGNED T.NAKAMURA	VERIFIÉ / CHECKED T.KURUMADA
	APPROUVÉ / APPROVED N.MINAMI	N° PLAN / DWG. No. A-12
 YACHIYO ENGINEERING CO., LTD. TOKYO, JAPAN		

7. 対象校児童数（アンケート調査結果）

Baseline Data of Project Primary School

Name of School:	Dixinn Centre 1	D1
Head Teacher (Name & Mobile No.)	Ibrahima Cherif Haisha 655694016	

1. Enrollment of Year 2013/14

Primary School	CP 1	CP 2	CE 1	CE 2	CM 1	CM 2	Total
Number of Class	7	6	5	5	6	4	33
Number of Classroom	4	5	4	4	3	4	24
Number of student (Girls)	193	171	164	103	98	91	820
Number of student (Boys)	149	113	128	117	98	75	680
Number of student (Total)	342	284	292	220	196	166	1,500

2. Enrollment of Past Five Years

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
Number of Class	34	34	34	33	33
Number of Classroom	24	24	24	24	24
Number of student (Girls)	648	680	722	776	820
Number of student (Boys)	502	575	628	774	680
Number of student (Total)	1150	1255	1350	1550	1500
Repetition Rate (%)	28.26	29.32	30.74	32.28	41.80
Dropout Rate (%)	2.31	1.43	1.03	1.67	0.80
Completion Rate (%)	41.27	49.41	55.09	63.39	
Gross Enrollment Rate (%)	8.52	9.38	10.07	13.02	13.33
Net Enrolment Rate (%)	11.30	11.02	10.66	13.69	15.00

45.5
62.5

3. Teacher of Year 2013/14

	Full-time
Number of School Manager	2
Head Teacher	1
Deputy Head Teacher	1
Number of Teacher	33
Certified Teacher	33
Noncertified Teacher	0
Others	1

42.9

Total 35

Baseline Data of Project Primary School

Name of School:	Belle Vue Marche	D7
Head Teacher (Name & Mobile No.)	Hadja N'Sira TOURE 669 02 01 95	

1. Enrollment of Year 2013/14

Primary School	CP 1	CP 2	CE 1	CE 2	CM 1	CM 2	Total
Number of Class	4	4	2	4	2	4	20
Number of Classroom	2	2	1	2	1	2	10
Number of student (Girls)	113	136	99	96	87	77	608
Number of student (Boys)	112	100	98	98	85	76	569
Number of student (Total)	225	236	197	194	172	153	1177

2. Enrollment of Past Five Years

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
Number of Class	20	20	20	20	20
Number of Classroom	10	10	10	10	10
Number of student (Girls)	457	497	600	602	608
Number of student (Boys)	350	398	508	549	569
Number of student (Total)	807	895	1108	1151	1177
Repetition Rate (%)	47.36	45.70	42.50	37.70	47.36
Dropout Rate (%)	3.15	2.50	1.25	1.02	0.95
Completion Rate (%)	40.31	48.61	66.50	68.85	
Gross Enrollment Rate (%)	22.89	21.02	16.52	16.78	18.97
Net Enrolment Rate (%)	58.51	52.38	60.77	69.89	86.66

58.9
117.7

3. Teacher of Year 2013/14

	Full-time
Number of School Manager	2
Head Teacher	1
Deputy Head Teacher	1
Number of Teacher	25
Certified Teacher	20
Noncertified Teacher	5
Others	2

43.6

Total 27

Baseline Data of Project Primary School

Name of School:	SYMBAYA 1	M2
Head Teacher (Name & Mobile No.)	TOURE MAMADOU 664654495	

1. Enrollment of Year 2013/14

Primary School	CP 1	CP 2	CE 1	CE 2	CM 1	CM 2	Total
Number of Class	4	8	8	8	5	6	39
Number of Classroom	2	4	4	4	4	2	20
Number of student (Girls)	232	356	383	266	173	155	1565
Number of student (Boys)	161	287	288	255	174	198	1363
Number of student (Total)	393	643	671	521	347	353	2928

2. Enrollment of Past Five Years

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
Number of Class	3	9	8	8	39
Number of Classroom					20
Number of student (Girls)					1565
Number of student (Boys)					1363
Number of student (Total)	225	675	600	600	2928
Repetition Rate (%)	2	30	25	23	20
Dropout Rate (%)	5	4	3	2	2
Completion Rate (%)	100	100	100	100	100
Gross Enrollment Rate (%)	64	69	70	71	74
Net Enrolment Rate (%)	68	70	72	75	80

75.1
146.4

3. Teacher of Year 2013/14

	Full-time
Number of School Manager	2
Head Teacher	1
Deputy Head Teacher	1
Number of Teacher	53
Certified Teacher	53
Noncertified Teacher	0
Others	

53.2

Total 55

Baseline Data of Project Primary School

Name of School:	DABOMPA	M5
Head Teacher (Name & Mobile No.)	AMARA FOFERNA 664465407	

1. Enrollment of Year 2013/14

Primary School	CP 1	CP 2	CE 1	CE 2	CM 1	CM 2	Total
Number of Class	6	6	6	8	4	6	36
Number of Classroom	3	3	3	4	2	3	18
Number of student (Girls)	163	256	201	315	158	212	1305
Number of student (Boys)	186	250	180	285	165	222	1288
Number of student (Total)	349	506	381	600	323	434	2593

2. Enrollment of Past Five Years

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
Number of Class	36	36	36	36	36
Number of Classroom	18	18	18	18	18
Number of student (Girls)	803	847	986	1051	1305
Number of student (Boys)	987	1006	1113	1294	1288
Number of student (Total)	1790	1853	2099	2345	2593
Repetition Rate (%)	30	25	23	20	15
Dropout Rate (%)	5	4	3	2	2
Completion Rate (%)	100	100	100	100	100
Gross Enrollment Rate (%)	69	70	73	75	80
Net Enrolment Rate (%)	65	69	70	71	70

72.0
144.1

3. Teacher of Year 2013/14

	Full-time
Number of School Manager	2
Head Teacher	1
Deputy Head Teacher	1
Number of Teacher	66
Certified Teacher	66
Noncertified Teacher	0
Others	1

38.1

Total 68

Baseline Data of Project Primary School

Name of School:	GBESSIA CITE 2	M7
Head Teacher (Name & Mobile No.)	Ramatoulaye CAMARA 628529381	

1. Enrollment of Year 2013/14

Primary School	CP 1	CP 2	CE 1	CE 2	CM 1	CM 2	Total
Number of Class	4	4	4	4	5	5	26
Number of Classroom	2	2	2	2	2	3	13
Number of student (Girls)	102	135	128	134	100	145	744
Number of student (Boys)	112	93	106	101	104	133	649
Number of student (Total)	214	228	234	235	204	278	1393

2. Enrollment of Past Five Years

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
Number of Class	23	26	26	26	26
Number of Classroom	13	13	13	13	13
Number of student (Girls)	608	596	739	822	744
Number of student (Boys)	531	532	584	605	649
Number of student (Total)	1139	1128	1323	1427	1393
Repetition Rate (%)	40.10				
Dropout Rate (%)	0.70	4.07	0.75	0.84	
Completion Rate (%)	90.60	100.00	98.86	99.29	
Gross Enrollment Rate (%)	61.83	65.27	76.74	61.24	
Net Enrolment Rate (%)	38.36	34.72	23.25	38.75	

53.6
107.2

3. Teacher of Year 2013/14

	Full-time
Number of School Manager	2
Head Teacher	1
Deputy Head Teacher	1
Number of Teacher	36
Certified Teacher	36
Noncertified Teacher	0
Others	1

36.7

Total 38

Baseline Data of Project Primary School

Name of School:	ENTA FASSA (KOICHIRO MATSUURA)	M13
Head Teacher (Name & Mobile No.)	ELH SEKOU TRAORE 655687594	

1. Enrollment of Year 2013/14

Primary School	CP 1	CP 2	CE 1	CE 2	CM 1	CM 2	Total
Number of Class	6	8	8	8	6	4	40
Number of Classroom	3	4	4	4	3	2	20
Number of student (Girls)	231	250	237	165	167	95	1,145
Number of student (Boys)	169	221	226	147	176	116	1,055
Number of student (Total)	400	471	463	312	343	211	2,200

2. Enrollment of Past Five Years

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
Number of Class	34	38	38	38	40
Number of Classroom	17	18	18	19	20
Number of student (Girls)	819	821	891	959	1145
Number of student (Boys)	714	811	830	881	1055
Number of student (Total)	1533	1632	1721	1840	2200
Repetition Rate (%)	43.00	42.00	41.00	36.00	33.00
Dropout Rate (%)	5.00	4.00	3.00	3.00	2.00
Completion Rate (%)	95.00	96.00	97.00	97.00	95.00
Gross Enrollment Rate (%)	75.00	78.00	75.00	82.00	96.00
Net Enrolment Rate (%)					

55.0
110.0

3. Teacher of Year 2013/14

	Full-time
Number of School Manager	2
Head Teacher	1
Deputy Head Teacher	1
Number of Teacher	54
Certified Teacher	54
Noncertified Teacher	0
Others	1

39.3

Total 56

Baseline Data of Project Primary School

Name of School:	CARRIERE CENTRE	MM5
Head Teacher (Name & Mobile No.)	KARIFA CAMARA	

1. Enrollment of Year 2013/14

Primary School	CP 1	CP 2	CE 1	CE 2	CM 1	CM 2	Total
Number of Class	3	3	4	4	3	3	20
Number of Classroom	2	2	2	2	2	2	12
Number of student (Girls)	117	107	136	113	78	46	597
Number of student (Boys)	113	102	96	107	109	61	588
Number of student (Total)	230	209	232	220	187	107	1185

2. Enrollment of Past Five Years

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
Number of Class	20	20	21	21	20
Number of Classroom	14	14	12	12	12
Number of student (Girls)	546	696	690	648	597
Number of student (Boys)	652	620	664	658	588
Number of student (Total)	1198	1316	1354	1306	1185
Repetition Rate (%)	15.25	15.45	63.36	47.03	40.42
Dropout Rate (%)	2.50	2.20	3.50	3.50	1.50
Completion Rate (%)	70.20	75.50	75.15	60.11	60.30
Gross Enrollment Rate (%)	56.12	54.10	56.12	55.08	55.12
Net Enrolment Rate (%)	53.45	52.55	56.14	53.09	54.45

59.3

98.8

3. Teacher of Year 2013/14

	Full-time
Number of School Manager	2
Head Teacher	1
Deputy Head Teacher	1
Number of Teacher	23
Certified Teacher	23
Noncertified Teacher	0
Others	

47.4

Total 25

Baseline Data of Project Primary School

Name of School:	CARRIERE CITE 1	MM14
Head Teacher (Name & Mobile No.)	ALMAMY SEKOU MANSARE	

1. Enrollment of Year 2013/14

Primary School	CP 1	CP 2	CE 1	CE 2	CM 1	CM 2	Total
Number of Class	2	2	3	3	2	3	15
Number of Classroom	1	1	1	1	2	2	8
Number of student (Girls)	106	80	77	79	48	95	485
Number of student (Boys)	54	43	87	93	62	72	411
Number of student (Total)	160	123	164	172	110	167	896

2. Enrollment of Past Five Years

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
Number of Class	17	17	16	15	15
Number of Classroom	10	10	8	8	8
Number of student (Girls)	421	468	480	458	485
Number of student (Boys)	495	440	490	480	411
Number of student (Total)	916	908	970	938	896
Repetition Rate (%)	18.16	20.01	47.74	23.80	20.89
Dropout Rate (%)	2.50	1.75	3.50	3.50	2.80
Completion Rate (%)	54.25	52.00	52.20	55.60	55.20
Gross Enrollment Rate (%)	65.15	55.60	55.22	65.12	64.25
Net Enrolment Rate (%)	52.85	52.30	51.20	51.15	60.12

59.7
112.0

3. Teacher of Year 2013/14

	Full-time
Number of School Manager	2
Head Teacher	1
Deputy Head Teacher	1
Number of Teacher	24
Certified Teacher	24
Noncertified Teacher	0
Others	

34.5

Total 26

Baseline Data of Project Primary School

Name of School:	DAR-ES-SALAM	R2
Head Teacher (Name & Mobile No.)	ALSEINY FOFANA 665366281	

1. Enrollment of Year 2013/14

Primary School	CP 1	CP 2	CE 1	CE 2	CM 1	CM 2	Total
Number of Class	6	4	4	4	4	4	26
Number of Classroom	3	2	2	2	2	2	13
Number of student (Girls)	120	135	158	125	194	235	967
Number of student (Boys)	122	70	85	102	125	196	700
Number of student (Total)	242	205	243	227	319	431	1,667

2. Enrollment of Past Five Years

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
Number of Class	26	26	26	26	26
Number of Classroom	13	13	13	13	13
Number of student (Girls)	596	675	745	834	967
Number of student (Boys)	484	485	465	663	700
Number of student (Total)	1080	1160	1210	1497	1667
Repetition Rate (%)	22.21	20.07	17.42	13.25	10.94
Dropout Rate (%)	6.26	4.45	3.01	3.04	2.43
Completion Rate (%)	47.33	52.26	63.08	62.75	
Gross Enrollment Rate (%)	65.38	74.39	77.15	79.15	80.35
Net Enrolment Rate (%)	47.03	51.28	57.37	61.32	65.33

64.1
128.2

3. Teacher of Year 2013/14

	Full-time
Number of School Manager	2
Head Teacher	1
Deputy Head Teacher	1
Number of Teacher	35
Certified Teacher	35
Noncertified Teacher	0
Others	

45.1

Total 37

Baseline Data of Project Primary School

Name of School:	KAPORO	R3
Head Teacher (Name & Mobile No.)	Mme. M'MAH RANGOURA 628795410	

1. Enrollment of Year 2013/14

Primary School	CP 1	CP 2	CE 1	CE 2	CM 1	CM 2	Total
Number of Class	5	5	4	6	4	6	30
Number of Classroom	2	2	2	3	2	4	15
Number of student (Girls)	127	137	124	154	116	150	808
Number of student (Boys)	137	184	136	184	111	142	894
Number of student (Total)	264	321	260	338	227	292	1,702

2. Enrollment of Past Five Years

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
Number of Class	25	27	30	30	30
Number of Classroom	15	15	15	15	15
Number of student (Girls)	671	814	730	841	808
Number of student (Boys)	668	761	888	823	894
Number of student (Total)	1,339	1,575	1,618	1,664	1,702
Repetition Rate (%)	25.30	21.65	18.46	15.36	12.40
Dropout Rate (%)	11.20	9.36	6.84	4.46	3.19
Completion Rate (%)	76.30	71.38	77.39	75.21	
Gross Enrollment Rate (%)	77.29	76.52	78.66	79.05	80.33
Net Enrolment Rate (%)	49.21	51.03	55.42	61.09	65.19

56.7
113.5

3. Teacher of Year 2013/14

	Full-time
Number of School Manager	2
Head Teacher	1
Deputy Head Teacher	1
Number of Teacher	35
Certified Teacher	35
Noncertified Teacher	0
Others	

46.0

Total 37

Baseline Data of Project Primary School

Name of School:	SONFONIA GARE	R7
Head Teacher (Name & Mobile No.)	IBRAHIMA KALIL SYLLA 628215792, 669006491	

1. Enrollment of Year 2013/14

Primary School	CP 1	CP 2	CE 1	CE 2	CM 1	CM 2	Total
Number of Class	4	7	8	4	4	5	32
Number of Classroom	1	3	3	3	3	3	16
Number of student (Girls)	120	198	229	246	261	259	1,313
Number of student (Boys)	116	214	279	257	264	285	1,415
Number of student (Total)	236	412	508	503	525	544	2,728

2. Enrollment of Past Five Years

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14
Number of Class	32	32	32	32	32
Number of Classroom	16	16	16	16	16
Number of student (Girls)	991	1,104	1,135	1,226	1,313
Number of student (Boys)	1,118	1,119	1,260	1,400	1,415
Number of student (Total)	2,109	2,223	2,395	2,626	2,728
Repetition Rate (%)					
Dropout Rate (%)					
Completion Rate (%)					
Gross Enrollment Rate (%)					
Net Enrolment Rate (%)					

85.3
170.5

3. Teacher of Year 2013/14

	Full-time
Number of School Manager	2
Head Teacher	1
Deputy Head Teacher	1
Number of Teacher	46
Certified Teacher	46
Noncertified Teacher	
Others	

56.8

Total 48